



クラス		受験番号	
出席番号		氏名	

2014年度

第1回 全統高2模試

# 学習の手引き

(解答・解説集)

2014年5月実施

英語	1
数学	34
国語	90

※本冊子巻末に「自己採点シート」と「学力アップ・志望校合格のための復習法」を掲載していますので、志望校合格へむけた効果的な復習のためにご活用下さい。

河合塾



1464910329501000



# 【英語】

『学習の手引き』を読むにあたって

## 1 『学習の手引き』について

この『学習の手引き』はすべての問題に対し  
て、原則として、問題がそのまま印刷されてい  
ます。したがって、この『学習の手引き』を読  
むことで、問題をもう一度やり直し、自分のわ  
からなかつたところをチェックできるようにな  
っています。どうか、皆さんの学習に十分役  
立ててください。その際、この『学習の手引き』  
で用いた記号・略号について理解した上で、読  
み進んでください。

## 2 『学習の手引き』の組み立て

【設問解説】 【解答】と【配点】に続いて、設問を  
解く際の合理的な手順を解説しています。

☆☆☆ 各小問の難易度は、以下のように表示し  
ています。

★☆☆ 基本（現段階でぜひとも解いてほしい  
設問）

★★☆ 標準（現段階でできれば解いてほしい  
設問）

★★★ 発展（現段階で解ければ学習が十分に  
進んでいることを示す設問）

**重要** 設問を解くのに最も重要な知識、または解  
法に直接つながる考え方を示しています。この  
**重要**に続いて団で解法の手順を示しています。

**手がかり** 解法の手がかりを示しています。**重要**が  
解法の出発点にならない場合に、設問の糸口が  
どこにあるのかを示すものです。必ず読んでく  
ださい。

**研究** 設問のポイントに関する詳細な解説です。  
できるだけ読んでください。

▶ 正解のポイントや設問文に用いられている語  
句や表現に関する解説です。

▷ 誤った解答に関する解説です。なぜそれが間  
違っているのかを書いています。

（） 出題者からのアドバイスを示しています。

**File** 設問を解くための基本的知識のまとめ、ま  
たはより深い理解のための発展的知識のまとめ  
です。

**【要旨】** 長文問題の各段落の内容をまとめていま  
す。

**【本文解説】** 長文問題での英文本体の文ごとの解  
説です。1), 2), 3) ... は文番号を示します。

## 3 『学習の手引き』で用いた略号

S 主語

V 動詞

O(O<sub>1</sub> / O<sub>2</sub>) 動詞の目的語

C 補語

M 修飾要素

（形容詞[句 / 節]または副詞[句 / 節]）

A / B 名詞または名詞相当表現

X / Y 文法的に同じ働きをする要素

to do to 不定詞

do 原形不定詞(to のつかない不定詞)

doing 現在分詞または動名詞

done 過去分詞

did 過去形

have done 完了形

イタリック体(斜体)の部分には様々な動詞  
がくることを示す。

one's 人称代名詞の所有格

oneself 再帰代名詞

that節 接続詞 that によって導かれる節  
(that S V ...)

wh-節 what / when / where / why / how /  
whether などに導かれる節

cf. 参照例文

[ ] 言いかえることができる語句

( ) 省略することができる語句

## ① リスニング

### 【解答】

- A 1. a. wrote b. about  
2. a. feel b. like  
3. can't
- B 1. イ 2. エ 3. イ
- C 1. エ 2. エ 3. イ

【配点】(20点)

A 各1点×5 B 各2点×3

C 各3点×3

### A ディクテーション

1. ★☆☆

### 【放送された英文】

Yesterday at school, we <sup>(a)</sup>wrote <sup>(b)</sup>about things we can do to protect the earth.

### 【放送された英文の訳】

昨日学校で、地球を守るために私たちにできることについて書いた。

### 【語句】

- protect O 「Oを守る」

### 【設問解説】

wrote の語末の子音 /t/ が、 about の語頭の母音 /ə/ と連結して、 wrote about が /rəʊtəbaut/ と聞こえる。

### 音の連結

語末の子音が、語頭の母音と連結されて発音される。

〈例〉 an orange /ənɔ:(:)rindʒ/ /  
walk around /wɔ:kəraund/

File

2. ★★☆

### 【放送された英文】

It's raining heavily and very cold, so I don't <sup>(a)</sup>feel <sup>(b)</sup>like going out today.

### 【放送された英文の訳】

雨が強く降っていて、とても寒い。だから、今日は外出する気がしない。

### 【語句】

- feel like doing 「…したい気がする」

### 【設問解説】

feel の語末の子音 /l/ と like の語頭の子音 /l/ という同じ音が連続するので、前の子音 /l/ が発音されず、 feel like が /fi:læk/ のように聞こえる。

### 音の脱落(1)

同じ子音が連続する場合、前の子音が発音されずに脱落する。

〈例〉 get together /getəgeðər/  
good driver /gudraɪvər/

File

3. ★★☆

### 【放送された英文】

My teacher has told us to memorize all the words in the list, but I just can't do it.

### 【放送された英文の訳】

先生は私たちにリストの単語をすべて覚えるように言ったが、そんなことは私にはとてもできない。

### 【語句】

- tell O to do 「Oに…するように言う」
- memorize O 「Oを暗記する[覚える]」
- just 「(否定語の前で)とても(…ない)」

### 【設問解説】

can't の語末の子音 /t/ はほとんど聞こえないが、まず文の前半で My teacher has told us to memorize all the words in the list と言っているのを聞き取り、次に but がそれに続いているのを聞き取れば、後半の内容が前半の内容とは逆接の関係であるとわかる。したがって、正解は can't である。

## 音の脱落(2)

can't のような〈助動詞+not〉の短縮形の語末の子音 /t/ は、ほとんど聞こえなくなる。

File

### B ダイアローグ

#### 1. ★★☆

##### 【放送された英文】(M: 男性, W: 女性, Q: 質問)

M: Mom, I want this blue T-shirt, this green one, and this yellow one.

W: Honey, you don't need that many.

M: But if you buy two \$25 T-shirts, the third one is only \$10.

W: All right, then. Let's get three.

Q: How much will they pay for the T-shirts?

##### 【放送された英文の訳】

男性: ママ、僕はこの青いTシャツと、緑のと、黄色のが欲しいな。

女性: ねえ、そんなにたくさんは必要ないでしょ。

男性: でも、25ドルのTシャツを2枚買ったら、3枚目はたったの10ドルだって。

女性: それなら、いいわ。3枚買いましょう。

質問: 彼らはTシャツにいくら支払うか。

##### 【語句】

・ all right 「よろしい」

##### 【設問解説】

まず男性が if you buy two \$25 T-shirts, the third one is only \$10. と言っているのを聞き取り、次に女性が Let's get three. と言っているのを聞き取れば、彼らは合計60ドル(25ドル×2 + 10ドル)を支払うことがわかる。したがって、イガ正解。

#### 2. ★☆☆

##### 【放送された英文】

M: How may I help you?

W: I'm looking for a birthday present for my

father.

M: How about this handkerchief with diamonds above the stripes?

Q: Which handkerchief is the man showing the woman?

##### 【放送された英文の訳】

男性: ご用件を承りましょうか。

女性: 父の誕生日プレゼントを探しているんです。

男性: しま模様の上に、ひし形のあるこのハンカチはいかがですか。

質問: 男性はどのハンカチを女性に見せているか。

##### 【語句】

・ How may I help you? 「ご用件を承りましょうか」

・ diamond 「ダイヤモンド形 / ひし形」

・ above A 「Aの上に」

・ stripe 「ストライプ / しま模様」

##### 【設問解説】

男性が this handkerchief with diamonds above the stripes と言っているのを聞き取れば、ハンカチの模様は複数のしま模様の上に複数のひし形があるものとわかる。したがって、エが正解。

#### 3. ★★☆

##### 【放送された英文】

W: Excuse me, I'm lost. Could you tell me the way to the theater?

M: Sure. Do you mean the one on Main Street?

W: I think so. I heard it's across the street from a restaurant.

M: That's the one. Go past the post office. It's right before a supermarket.

Q: Where is the theater?

##### 【放送された英文の訳】

女性: すみません。道に迷っています。劇場への道順を教えていただけますか。

男性: いいですよ。大通りにある劇場のことですか。

女性：そうだと思います。レストランの向かいにあると聞いています。

男性：そうです。郵便局を通り過ぎて歩いてください。劇場は、スーパーのすぐ手前になります。

質問：劇場はどこにあるか。

#### 【語句】

- be lost 「道に迷っている」
- mean O 「Oのことを言う」
- across the street from A 「(通りをはさんで) Aの向かいに」
- past A 「A(のそば)を通り過ぎて」
- right 「ちょうど / すぐ」
- before A 「Aの手前に」

#### 【設問解説】

女性が、劇場を探していることを理解する。男性が Go past the post office. It's right before a supermarket. と言っているのを聞き取れば、劇場は郵便局を通り過ぎて、スーパーの手前にあることがわかる。したがって、イが正解。

#### 【研究】

▷ ウ right が、明確な時・位置を表す副詞(句)とともに用いられている場合は、「右に」という意味ではなく、「ちょうど / すぐ」という意味である。

（） リスニング試験では、位置を問う問題が頻出！

## C モノローグ

#### 【放送された英文】

Around the world, mothers tell their children, "Dress warmly or you'll catch a cold." This is a common belief. But is it true? Can cold weather cause a cold?

The answer is basically no. Colds are caused by viruses. A cold always comes — directly or indirectly — from another person with the virus. However, there is a connection with the weather. In fact, you are more likely to catch a cold in the winter. One reason is that windows are closed, which

makes it easier for the cold virus to spread from one person to another. Another reason is that the body prefers to stay warm. If you get cold — particularly your feet — your body can't fight viruses as well, and you are more likely to get sick.

If you do catch a cold, you should be careful not to spread it. Try not to sneeze or cough onto other people, into the air, or into your hands. If your hands have the virus on them, you will leave it on everything you touch. Instead, you should sneeze or cough into a tissue that you throw away.

Q1: What causes colds?

Q2: When it is cold, are you more likely to catch a cold?

Q3: If you do catch a cold, what shouldn't you do?

#### 【放送された英文の訳】

世界中で、母親は子どもに「暖かい服装をしなさい。そうしないと、風邪をひきますよ」と言う。これは、一般的に信じられていることだ。しかし、それは本当だろうか。寒い天候が、風邪の原因になることがありうるのか。

答えは、基本的には、ノーである。風邪はウィルスが原因である。風邪はいつも、直接的にあるいは間接的に、ウィルスを持っている他の人からうつるのだ。しかし、天候との関係はある。実は、冬の方が風邪をひきやすい。一つの理由は、窓が閉め切られていて、それで人から人へと風邪のウィルスがうつりやすくなるということだ。もう一つの理由は、身体は温かい状態でいる方が好むということだ。人が冷えると、特に足が冷えると、身体は温かい状態のときと比べてうまくウィルスと戦えず、温かい状態のときよりも人は体調を悪くする可能性が高い。

実際に風邪をひいたら、それをまき散らさないように気をつけるべきである。他の人に向かって、または空気中に、または自分の手の中に、くしゃみや咳をしないようにしなさい。もしもあなたの手にウィルスがついていたら、あなたが触れるあらゆる物にウィルスを残すこと

になる。そうではなく、ティッシュペーパーの中にくしゃみや咳をし、それを捨てるべきである。

#### 【語句】

- ・ or 「(命令文の後で) そうしないと」
- ・ common 「普通の / 一般的な」
- ・ cause O 「Oの原因となる」
- ・ basically 「基本的に(は)」
- ・ virus 「ウィルス」
- ・ directly 「直接的に」
- ・ indirectly 「間接的に」
- ・ connection 「関係」
- ・ be likely to do 「…しそうである」
- ・ make it C for A to do 「Aが…することをCにする」
- ・ spread 「広がる / (病気が) うつる」
- ・ prefer to do 「…する方を好む」
- ・ stay C 「Cのままでいる / Cでい続ける」
- ・ particularly 「特に」
- ・ fight O 「Oと戦う」
- ・ spread O 「Oを広げる / O(病気)をまき散らす」
- ・ sneeze 「くしゃみをする」
- ・ cough 「咳をする」
- ・ instead 「その代わりに / そうではなく」
- ・ tissue 「ティッシュペーパー」

### 1. ★☆☆

#### 【質問の訳】

何が風邪の原因なのか。

#### 【選択肢の訳】

- ア. 不注意。
- イ. 寒い天候。
- ウ. 人間。

**エ. ウィルス。**

#### 【設問解説】

【放送された英文】の第2段落第2文の Colds are caused by viruses. を聞き取れば、風邪の原因はウィルスだとわかる。したがって、エが正解。

### 2. ★★★

#### 【質問の訳】

寒いときの方が、人は風邪をひきやすいか。

#### 【選択肢の訳】

- ア. 基本的に違う。天候と、自分が風邪を持っているかどうかに関係がある。
- イ. 一般的にそうである。風邪は常に、ウィルスを持っている他の人からうつる。
- ウ. 多くの人はそれが正しいと思っているが、違う。

**エ. そうである。人は冷えると、温かい状態のときと比べてうまくウィルスと戦えない。**

#### 【設問解説】

【放送された英文】の第2段落最終文の If you get cold ... your body can't fight viruses as well, and you are more likely to get sick. を聞き取れば、寒いときに身体が冷えると人はウィルスと戦えず風邪をひくことがわかる。したがって、エが正解。

### 3. ★★☆

#### 【質問の訳】

実際に風邪をひいたら、何をすべきでないか。

#### 【選択肢の訳】

ア. ティッシュペーパーの中に咳をする。

**イ. 手の中にくしゃみをする。**

ウ. それをまき散らさないように気をつける。

エ. ティッシュペーパーを捨てる。

#### 【設問解説】

【放送された英文】の第3段落第2文の Try not to sneeze ... into your hands. を聞き取れば、手の中にくしゃみをするべきでないことがわかる。したがって、イが正解。

## ② 発音・アクセント

【解答】

- |        |      |
|--------|------|
| A 1. エ | 2. イ |
| B 1. ウ | 2. ア |

【配点】(8点)

A 2点×2 B 2点×2

【設問解説】

A 母音・子音の発音

1. ★☆☆

重要 police や technique の -i- は, / r:/ と発音する。

police	
ア. environment	イ. image
ウ. minister	エ. technique

police / pəlɪ:s / (名) 警察  
ア. environment / ɪnvərnmənt / (名) 自然環境 / 環境  
イ. image / ɪmɪdʒ / (名) 映像 / イメージ  
ウ. minister / mɪnəstər / (名) 大臣 / 牧師

エ. technique / tekni:k / (名) 技術 / テクニック

【重要】より、エが正解。

【研究】

▷ア environment の -i- は, / aɪ / と発音する。  
▷イ, ウ image, minister の -i- は, / i / と発音する。

### -i- の発音

主に以下のようになる。

(1) / r:/ と発音する場合

〈例〉 machine / məʃɪ:n / (名) 機械  
unique / ju(:)nɪ:k / (形) 独特の / ユニークな

(2) / aɪ / と発音する場合

〈例〉 horizon / hərəɪzn / (名) 地平線 / 水平線  
vital / vártl /

(形) 生命の / きわめて重要な

(3) / i / と発音する場合

〈例〉 differ / dífər / (動) 異なる  
limit / límət / (名) 制限  
(動) …を制限する

File

## 2. ★☆☆

重要 disease や news の -s- は, / z / と発音する。

disease

ア. isolate

イ. news

ウ. seize

エ. vision

disease / dízí:z / (名) 病気

ア. isolate / áisəlèit /

(動) …を孤立させる / …を分離させる

イ. news / n(j)ú:z /

(名) ニュース / 便り / 知らせ

ウ. seize / sí:z / (動) …を急にぐいとつかむ

エ. vision / víʒən /

(名) 視力 / 空想 / 見通す力

【重要】より、イが正解。

【研究】

▷ア, ウ isolate, seize の -s- は, / s / と発音する。

▷エ vision の -s- は, / z / と発音する。

### -s- の発音

主に以下のようになる。

(1) / z / と発音する場合

〈例〉 advise / ədváɪz / (動) 助言する  
museum / mju(:)zí:əm / (名) 博物館 / 美術館

(2) / s / と発音する場合

〈例〉 soil / sí:l / (名) 土  
solve / sá:lv / (動) …を解決する

(3) / ʒ / と発音する場合

〈例〉 measure / méʒər / (動) …を測る  
(名) 寸法 / 測定

pleasure / pléʒər / (名) 楽しみ

(4) /ʃ/ と発音する場合

〈例〉 dimension / dímɛnʃən /

(名) 寸法 / 次元 / 大きさ

sure / ʃúər / (形) 確信して

## File

### B アクセントの位置

#### 1. ★☆☆

**重要** keyboard は、第1音節にアクセントがある。

ア. ca-reer

イ. ho-tel

ウ. **key-board**

エ. per-cent

ア. ca-reer / kərɪər /

(名) キャリア / 経歴 / 職業

イ. ho-tel / houtél / (名) ホテル

ウ. **key-board** / kí:bɔ:d /

(名) (ピアノなどの)鍵盤 /  
(パソコンなどの)キーボード

エ. per-cent / pərsént / (名) パーセント

☞ **重要**より、keyboard は第1音節にアクセントがある。

☞ それ以外のものは第2音節にアクセントがあるので、ウが正解。

#### 研究

▷ア career のように、-eer で終わる語は、原則として、その音節にアクセントがある。

▶右下向きのアクセント(◦)は第2アクセントで、2番目に強く発音される。通常「アクセント」と言えば、第1アクセントを指す。

### 〈名詞+名詞〉の合成語のアクセントの位置

〈名詞+名詞〉の合成語は、前の名詞にアクセントがある。

〈例〉 airport / éərpɔ:t / (名) 空港

bookshelf / bükʃelf / (名) 本棚

## File

### -eer で終わる語のアクセントの位置

-eer で終わる語は、その音節にアクセントがある。

〈例〉 pioneer / pàɪənɪər /

(名) パイオニア / 開拓者

volunteer / və:ləntíər /

(名) ボランティア

(動) 進んで引き受ける

## File

☺ カタカナ語(外来語)の英語本来のアクセントの位置に注意しよう！

#### 2. ★★☆

**重要** -eaus で終わる語は、原則として、その直前の音節にアクセントがある。

ア. cou-ra-geous

イ. def-i-nite

ウ. in-di-cate

エ. or-gan-ize

ア. cou-ra-geous / kəréidʒəs /

(形) 勇気のある

イ. def-i-nite / défənət /

(形) 限定された / 明確な

ウ. in-di-cate / índəkèit /

(動) …を指し示す / …の徵候である

エ. or-gan-ize / ɔ:rgənàiz /

(動) …を組織する / …を計画する

☞ **重要**より、courageous は第2音節にアクセントがある。

☞ それ以外のものは第1音節にアクセントがあるので、アが正解。

#### 研究

▷イ definite のように、-ite で終わる語は、原則として、その2つ前の音節にアクセントがある。

▷ウ indicate のように、-ate で終わる語は、原則として、その2つ前の音節にアクセントがある。

▷エ organize のように, -ize で終わる語は, 原則として, その 2 つ前の音節にアクセントがある。

### -eouS で終わる語のアクセントの位置

-eouS で終わる語は, 原則として, その直前の音節にアクセントがある。

〈例〉 *advantageous* / ædvəntɪdʒəʊs /  
(形) 有利な

〈例〉 *gorgeous* / ɡɔːrdʒəʊs /  
(形) 豪華な

**File**

### -ite, -ate, -ize で終わる語のアクセントの位置

次の綴りで終わる語は, 原則として, その 2 つ前の音節にアクセントがある。

#### (1) -ite

〈例〉 *infinite* / ɪnfənət /  
(形) 無限の  
opposite / ə:pəzɪt /  
(形) 正反対の / 反対側の

#### (2) -ate

〈例〉 *accurate* / əkkjərət /  
(形) 正確な  
*imitate* / ɪməteɪt /  
(動) …をまねる  
ただし, *private* / prəvɪt /  
(形) 「私的な」  
のような 2 音節の語の場合には, 第 1 音節にアクセントがある。

#### (3) -ize

〈例〉 *criticize* / krítɪsàɪz /  
(動) …を批評する / …を非難する  
*exercise* / éksərsàɪz /  
(名) 運動 / 練習  
(動) 運動する / …を運動させる /  
…を練習させる

**File**

☺ アクセントのルールを覚えよう!

## ③ 文法・語法・熟語

### 【解答】

- A 1. イ 2. ウ 3. エ 4. イ  
5. ウ 6. イ 7. イ 8. エ  
9. ウ 10. ア

- B 1. ア 2. ア

- C 1. ウ 2. ウ 3. ア 4. ア

【配点】 (32点)

A 2 点×10 B 2 点×2 C 2 点×4

### 【設問解説】

A

1. ★☆☆

重要 enter O には, 「O(建物など)に入る」という意味がある。

It is dangerous to ( ) this building.  
because it is under reconstruction.

- A. approach to **イ. enter**  
ウ. enter into エ. go

(訳) 改築中なので, この建物に入るには危険です。

手がかり It が形式主語で, to ( ) this building  
が真主語であり, 文全体は, 「改築中なので, この建物に入るには危険です」という意味になると考えられる。

☞ 重要より, イが正解。

### 研究

► under reconstruction は, 「改築中で」という意味。

▷ ア approach to A は, 「A(場所)に近づく」という意味では用いることができない。

▷ ウ enter into A は, 「A(建物)に入る」という意味では用いることができない。

▷ エ go は, go to A 「Aに行く」という形で用いる。

### 自動詞と間違いやすい他動詞

自動詞と間違いやすい他動詞には, 主に以下のようなものがある。

answer O 「Oに答える」

approach O 「Oに近づく」  
 attend O 「Oに出席する」  
 consider O 「Oを考える」  
 discuss O 「Oを議論する」  
 enter O 「O(建物など)に入る」  
 inhabit O 「Oに住む」  
 marry O 「Oと結婚する」  
 mention O 「Oについて言う」  
 reach O 「Oに到着する」  
 resemble O 「Oに似ている」  
 search O 「O(場所など)を検索する / Oの所持品検査をする」  
 survive O 「Oより長生きする / Oを切り抜けて生き残る」  
 visit O 「Oを訪れる」

### File

## 2. ★☆☆

**重要 1** visit O は、「Oを訪問する[訪ねる]」という意味。

**重要 2** 過去の事柄は過去形で表す。

I ( ) my grandmother in Hokkaido three times a year when I was young.

- ア. had visited イ. have visited  
**ウ. visited** エ. was visited

(訳) 私は、若かった頃、1年に3回北海道の祖母を訪ねたものだ。

**手がかり** 文全体は、「私は、若かった頃、1年に3回北海道の祖母を訪ねたものだ」という意味で、過去の事柄を表していると考えられる。

**□ 重要 1, 2 より、ウが正解。**

▷ ア, イ 「私は1年に3回北海道の祖母を訪ねた」は、when I was young と同時にでなければならぬので、過去完了や現在完了を用いることはできない。

## 3. ★☆☆

**重要** If S' did ..., S would do ~. 「もし S' が…すれば、Sは～するだろう」は、仮定法過去の表現で、現在の事実に反する事柄や、実現する可能性が低い事柄を表す場合に用いられる。

This laptop computer would be perfect if it ( ) a little lighter.

- ア. had イ. had been  
 ウ. is エ. **were**

(訳) もう少し軽ければ、このラップトップ型パソコンは申し分ないのだが。

**手がかり** 文全体は、「もう少し軽ければ、このラップトップ型パソコンは申し分ないのだが」という意味で、現在の事実に反する事柄を表していると考えられる。

**□ 重要** より、エが正解。

### 研究

▶ 仮定法過去では、was を were で表すことができる。

▶ a little 「少し」は、形容詞 light 「軽い」の比較級 lighter を修飾している副詞句。

▷ ア 文の後半が「このラップトップ型パソコンが小さなライターを備えていれば」という意味になり、文意が通じない。

▷ イ 「(過去に)もう少し軽かったならば、(今)このラップトップ型パソコンは申し分ないのだが」という意味になり、文意が通じない。

## 4. ★★☆

**重要 1** avoid doing は、「…するのを避ける」という意味。

**重要 2** laugh at A 「Aを笑う」の受動態は、A is laughed at となる。

**重要 3** in the presence of A は、「Aのいる前で」という意味。

There is nobody who doesn't try to avoid ( ) the presence of other people.

- ア. being laughed at  
**イ. being laughed at in**

- ウ. to be laughed at  
 エ. to be laughed in

(訳) 人前で笑われるのを避けようとしている人はいない。

**手がかり** 文全体は、「人前で笑われるのを避けようとしない人はいない」という意味になると考えられる。

 **重要** 1, 2, 3 より、イが正解。

### 句動詞の受動態

2語あるいは3語からなる句動詞は、全体で1つの他動詞のように扱って受動態にする。

〈例1〉 Everybody **laughed at** him.

He **was laughed at** by everybody.  
「彼はみんなに笑われた」

〈例2〉 A babysitter **took care of** the children.

The children **were taken care of** by a babysitter.  
「子どもたちはベビーシッターによつて世話された」

〈例3〉 My classmates often **made fun of** my name.

My name **was often made fun of** by my classmates.  
「私の名前はよく同級生にバカにされた」

### File

## 5. ★☆☆

**重要** see A **doing** 「Aが…しているのを見る」

の受動態は、A is seen **doing** となる。

Joe was seen ( ) a present for his girlfriend.

ア. bought イ. buy

ウ. **buying** エ. to have bought

(訳) ジョーは、ガールフレンドのプレゼントを買っているのを見られた。

 文全体は、「ジョーは、ガールフレンドのプレゼントを買っているのを見られた」という意味になると考えられる。

 **重要** より、ウが正解。

**研究**

▷イ see A **do** 「Aが…するのを見る」の受動態は、A is seen **do** ではなく、A is seen to **do** となる。

▷エ be seen to have **done** という形はない。

## 6. ★☆☆

**重要** **be pleased to do** は、「…してうれしい」という意味。

Mr. Ericson was ( ) to meet his old classmates at the reunion party.

ア. pleasant

イ. **pleased**

ウ. pleasing

エ. pleasure

(訳) エリクソン氏は、同窓会でかつての級友に会えてうれしかった。

 文全体は、「エリクソン氏は、同窓会でかつての級友に会えてうれしかった」という意味になると考えられる。

 **重要** より、イが正解。

**研究**

▶ pleased は、「(人が)喜んだ[うれしい]」という意味の分詞形容詞。

▷ア pleasant は、「(人にとって)楽しい[愉快な]」という意味の形容詞。

▷ウ pleasing は、「(人にとって)喜びを与える[楽しい]」という意味の分詞形容詞。

▷エ pleasure は、「喜び/楽しさ」という意味の名詞。

### 分詞形容詞

現在分詞・過去分詞の中には、形容詞として用いられるものがある。分詞から派生したこれらの形容詞を分詞形容詞と呼ぶ。このような分詞形容詞で特に重要なのは、「(人を)…させる」という感情を表す他動詞から派生した分詞の場合である。

#### 1. 現在分詞の場合

「(人を)…させる」の意味から、「(人を)…させるような」という意味になる。

#### 2. 過去分詞の場合

「(こと・人によって)…させられる」の意味から、「(人が)…している」という意味になる。

〈例1〉 excite 「…を興奮させる」の場合

(a) The exciting show was over.

(わくわくするような[←(人を)興奮させるような]ショーは終わった)

(b) The excited spectators ran onto the field.

(興奮している[←興奮させられた]観客がグラウンドに乱入した)

\*分詞が名詞を修飾している場合、修飾されている名詞が、「…する」側なのか、「…される」側なのかを考える。

〈例2〉 surprise 「…を驚かせる」の場合

(a) I was surprised at the news.

(私はその知らせに驚いた[←驚かされた])

(b) I found the news surprising.

(私はその知らせを驚くべき[←(人を)驚かせるような]ものだと思った)

\*分詞が補語で用いられている場合、第2文型の文であれば主語が、第5文型の文であれば目的語が、「…する」側なのか、「…される」側なのかを考える。

なお、分詞形容詞には例文で見たもの以外に主なものとして、以下のようなものがある。

amazing 「驚くべき[←驚かせる]」

amazed 「驚いた[←驚かされた]」

boring 「退屈な[←退屈させる]」

bored 「退屈した[←退屈させられた]」

disappointing 「失望する[←失望させる]」

disappointed 「失望した[←失望させられた]」

frightening 「ぎょっとする[←ぎょっとさせる]」

frightened 「ぎょっとした[←ぎょっとさせられた]」

pleasing 「楽しい[←楽しませる]」

pleased 「喜んだ[←喜ばされた]」

satisfying 「満足のいく[←満足させる]」

satisfied 「満足した[←満足させられた]」

tiring 「疲れる[←疲れさせる]」

tired 「疲れた[←疲れさせられた]」



## File

### 7. ★★☆

**重要** not ... just because S V ~ は、「～からといって…ない」という意味。

Just ( ) it's written in books, it doesn't mean that you should believe everything.

ア. as

**イ. because**

ウ. for

エ. since

(訳) 本に書かれているからといって、すべてを信じるべきだというわけではない。

**手がかり** 文全体は、「本に書かれているからといって、すべてを信じるべきだというわけではない」という意味になると考えられる。

**□ 重要** より、イが正解。

### 研究

▶ 1つ目の it は主節中の everything を受け、2つ目の it は従属節の内容を受けている。

▷ ア just as S V ... は、「ちょうど…ように / ちょうど…ときに」という意味。

▷ ウ 接続詞 for は、等位接続詞なので、〈接続詞 + S' V' ... S V ~〉という形で用いることはできない。

▷ エ since S V ... を、「…ので」という意味で用いる場合、副詞 just で修飾することはできない。

### 8. ★★☆

**重要 1** 等位接続詞を用いた X and [but / or] YのXとYには、文法的に対等な表現がくる。

**重要 2** be useful to A は、「Aに役立つ」という意味。

**重要 3** be essential for A は、「Aに不可欠である」という意味。

A great many minerals are ( ) proper health.

ア. essential and useful with

イ. essential with and useful

ウ. useful and essential

**エ. useful to and essential for**

(訳) 非常に多くのミネラルは、適切な健康状態に役立ち、不可欠である。

**手がかり** 文全体は「非常に多くのミネラルは、適切な健康状態に役立ち、(適切な健康状態に)不可欠である」という意味になると考えられる。

⌚ **重要 1, 2, 3** より、エが正解。

研究

- ▶〈a great many+A(複数名詞)〉は、「非常に多くのA」という意味。  
▶proper health は, be useful to A と be essential for A のAにあたる。

9. ★☆☆

**重要 1** Why don't we do...? は, 「(一緒に)…しませんか」という意味で, 勧誘・提案を表すときの定型表現。

**重要 2** That's a good idea. は, 「それはよい考えですね」という意味で, 相手の勧誘や提案に応じるときの定型表現。

A: Grandma sounded lonely when I called her yesterday.

B: Why don't we visit her this weekend?

A: ( )

- ア. Because she lived alone.  
イ. Because we were busy.

**ウ. That's a good idea.**

エ. That's right.

(訳) A: 昨日, 電話したとき, おばあちゃんが寂しそうだったわ。

B: 今週末, 一緒におばあちゃんに会いに行かない?

A: それはいい考えね。

⌚ **重要 1** より, 空所の直前で, Bが今週末に祖母を訪ねるのを提案していることがわかる。

⌚ 空所でAがBの提案に応じたと考えれば, 自然な対話になるので, **重要 2** より, ウが正解。

研究

▷ア 「おばあちゃんは一人暮らしだったから」という意味。

▷イ 「私たちは忙しかったから」という意味。

▷エ That's right. は, 「その通りです」という意味で, Why don't we do ...? の返答として用いることはできない。

10. ★☆☆

**重要 1** What's new? は, 「変わりないです」

という意味で, 知人にあいさつをするときの定型表現。

**重要 2** Nothing special. には, 「変わりありません」という意味がある。

A: Hi, Toshio. What's new?

B: Hi, Tom. ( ) How's it going?

A: Fine. Thank you.

**ア. Nothing special.**

イ. See you.

ウ. Take it easy.

エ. You're welcome.

(訳) A: やあ, トシオ。変わりない?

B: やあ, トム。変わりないよ。調子はどう。

A: いいよ。ありがとう。

⌚ **重要 1** より, 空所の前で, Aが知人であるBにあいさつをしていることがわかる。

⌚ 空所でBがAのあいさつに応えていると考えれば, 自然な対話になるので, **重要 2** より, エが正解。

研究

▶ How's it going? は, 「調子はどうですか」という意味で, 知人にあいさつをするときの定型表現。

▷イ See you. は, 「じゃあまた」という意味で, 別れ際に用いる定型表現。

▷ウ Take it easy. は「落ち着けよ」という意味。

▷エ You're welcome. は, 「どういたしまして」という意味で, お礼の言葉に応える定型表現。

B

1. ★☆☆

**重要** 分詞構文では, 主文の主語と分詞の間に受動関係が成立する場合, 過去分詞を用いる。

Seeing from the top of the mountain, that castle looked like a fairy palace floating on a great white ocean.

(正しい英文)

**Seen** from the top of the mountain, that castle looked like a fairy palace floating on a

great white ocean.

(訳) 山の頂上から見ると、その城は白い大海原に浮かんでいるおとぎの宮殿のように見える。

**手がかり** 主文の主語は that castle である。

Ⓐ 文の前半は、分詞構文であり、「(その城が)山の頂上から見られると」という意味になると考えられる。

Ⓑ **重要**より、下線部アの Seeing を Seen とすれば正しい文になる。

**研究**

▷イ look like A 「Aのように見える」を用いた表現の一部。

▷ウ float on A 「A(の上)に浮かぶ」を用いた表現の一部。floating on a great white ocean は、a fairy palace を修飾する現在分詞句。

▷エ great 「大きな」は、ocean を修飾する形容詞。

## 2. ★★☆

**重要** 「特定の日の朝[午後・夜など]に」という意味では、前置詞は on を用いる。

In Sunday mornings Kaori usually sleeps late, and prepares a big breakfast for a change. She watches her favorite DVDs all day until she feels hungry at night.  
(正しい英文)

On Sunday mornings Kaori usually sleeps late, and prepares a big breakfast for a change. She watches her favorite DVDs all day until she feels hungry at night.

(訳) 日曜日の朝はたいてい、カオリは遅くまで寝て、普段と違って朝食をたっぷり準備する。夜になってお腹が空くまで一日中好きなDVDを見る。

Ⓐ Sunday mornings 「日曜日の朝」は特定の日の朝のことなので、**重要**より、下線部アの In を On とすれば正しい文になる。

**研究**

▷ for a change は、「気分転換に / 普段と違って」という意味。

▷イ late は、「遅く(まで)」という意味の副詞。

▷ウ 通例、breakfast は不可算名詞であるが、形容詞をつけた場合は、可算名詞として用いることができる。

▷エ until S V ... 「…まで(ずっと)」を用いた表現の一部。

C

## 1. ★☆☆

**重要** 1 look up to A は、「Aを尊敬する」という意味。

**重要** 2 respect O は、「Oを尊敬する」という意味。

It is important that a child should be able to look up to his parents.

ア. follow イ. love

Ⓑ. **respect** エ. support

(訳) 子どもが親を尊敬できるというのは大切なことである。

Ⓐ **重要** 1, 2 より、ウが正解。

**研究**

▷ア, イ, エ follow O は「Oの後について行く」、love O は「Oを愛している」、support O は「Oを支える」という意味。

## 2. ★☆☆

**重要** 1 come by A は、「Aを手に入れる」という意味。

**重要** 2 get O は、「Oを手に入れる」という意味。

How did Thomas come by such an expensive car?

ア. crush イ. drive

Ⓑ. **get** エ. repair

(訳) トーマスはそんなに高価な車をどのようにして手に入れたのか。

Ⓐ **重要** 1, 2 より、ウが正解。

**研究**

▷ア, イ, エ crush O は「Oをぶつけてこわす」、drive O は「Oを運転する」、repair O は「Oを修理する」という意味。

### 3. ★★☆

重要 1 next to は、「ほとんど」という意味。

重要 2 almost は、「ほとんど」という意味。

It is next to impossible to find a parking space around here at this hour.

A. almost

イ. barely

ウ. completely

エ. perhaps

(訳) この時間にこの辺りで駐車する場所を見つけるのはほとんど不可能である。



重要 1, 2 より、アが正解。

研究

▷イ, ウ, エ barely は「かろうじて」, completely は「完全に」, perhaps は「ひょっとしたら」という意味。

### 4. ★★☆

重要 1 on and on は、「(続けて)ずっと」という意味。

重要 2 continually は、「(続けて)ずっと」という意味。

The girls were chatting on and on about their favorite singers.

A. continually

イ. happily

ウ. loudly

エ. together

(訳) その女の子たちは自分たちのお気に入りの歌手についてずっとしゃべっていた。



重要 1, 2 より、アが正解。

研究

▷イ, ウ, エ happily は「楽しく」, loudly は「大声で」, together は「一緒に」という意味。

## ④ 整序作文・和文英訳

【解答】

A

1. A — ウ B — イ
2. A — ア B — エ
3. A — ウ B — ア
4. A — イ B — エ

B

### 1.

【解答例 1】

When the Tokyo Olympic Games are held in 2020, I will be twenty years old.

【解答例 2】

When the Tokyo Olympic Games take place in 2020, I will be twenty.

### 2.

【解答例 1】

I will remember to finish reading these two papers by tomorrow noon.

【解答例 2】

I will not forget to finish reading these two papers by tomorrow noon.

### 3.

【解答例 1】

You can get to the concert hall by subway much faster than by taxi, because there is a lot of traffic in the center of Tokyo.

【解答例 2】

You will reach the concert hall far faster if you take the subway than if you take a taxi, since there are a lot of cars in downtown Tokyo.

【配点】(40点)

A 5点×4

B 1. 4点 2. 6点 3. 10点

【設問解説】

A 整序作文

1. ★☆☆

重要 「AをB(場所など)へ連れて行く」は, take A to B で表せる。

2, 3 分歩くと最寄りの駅に着きますよ。

(A few minutes') (walk) (will) (take)  
ア ウ エ オ

(you) to the nearest station.

オ

手がかり 文全体は、「2, 3分歩くことが、あなたを最寄りの駅へと連れて行くだろう」と読みかえることができる。

□ 重要 より, A few minutes' walk will take you となる。

## 2. ★★☆

- 重要 1** 「…した後」は, after doing で表せる。
- 重要 2** 「事故を起こす」は, have an accident で表せる。
- 重要 3** have O done には, 「Oを…される」という意味で用いる用法がある。
- 重要 4** 「O(権利など)を奪う」は, take O away / take away O で表せる。

ジョージは自動車事故を起こした後, 運転免許を取り上げられた。

After (having) (a car accident),  
ウ パ

(George had) (his driver's license) (taken)  
イ (ト) オ  
away.

〔〕 「自動車事故を起こした後」は, **重要 1, 2** より, After having a car accident となる。

〔〕 「ジョージは運転免許を取り上げられた」は, **重要 3, 4** より, George had his driver's license taken away となる。

## 3. ★☆☆

- 重要** 「A と何らかの関係がある」は, have something to do with A で表せる。

逮捕された男は, 別の事件にも関与していることがわかった。

It was found that the arrested man (had)  
イ  
(something) (to) (do) (with) another case.  
〔〕 エ パ オ

〔〕 文全体は, 「逮捕された男は, 別の事件と何らかの関係があることがわかった」と読みかえることができる。

〔〕 **重要** より, had something to do with となる。

### 研究

► It is found that S V ... は, 「…ということがわかる」という意味で, It が形式主語であり, that S V ... が真主語。

## 4. ★★☆

- 重要 1** 「はじめて～するとき, …する」は, S V

... the first time S' V' ~. で表せる。

- 重要 2** 「AをBだと思う」は, take A for B で表せる。

はじめてタカオを見たとき, 先生だと思った。

I (took Takao) (for) (a teacher)  
オ 〔〕 ア  
(the first time) (I saw) him.  
〔〕 ウ

〔〕 文全体は, 「はじめてタカオを見たとき, 私はタカオを先生だと思った」と読みかえることができる。

〔〕 **重要 1, 2** より, took Takao for a teacher the first time I saw となる。

## B 和文英訳

### 1. ★☆☆

- 重要 1** 時を表す副詞節内では, 未来の事柄は現在時制で表す。

- 重要 2** 「(会・式など)が開催される」は, be held で表せる。

2020年に東京オリンピック (the Tokyo Olympic Games)が開催されるとき, 私は20歳になっているだろう。【When で始めて】

【解答例 1】 When the Tokyo Olympic Games are held in 2020, I will be twenty years old.

【解答例 2】 When the Tokyo Olympic Games take place in 2020, I will be twenty.

► 「2020年に東京オリンピックが開催されるとき」は, **重要 1, 2** より, When the Tokyo Olympic Games are held in 2020 となる。また, take place 「開催される」を用いて, 【解答例 2】のように表してもよい。

► 「私は20歳になっているだろう」は, 「私は20歳であるだろう」と読みかえて, I will be twenty (years old) とするのが自然。

## 2. ★★☆

- 重要 1** 「忘れずに…する」は, remember to do で表せる。

- 重要 2** 「…するのを終える」は, finish doing で

表せる。

**重要 3** 「この 2 つの A」は, **these two A**(複数名詞)で表せる。

**重要 4** 「A までには(は)」は, **by A** で表せる。

明日正午までにはこの 2 つの論文(paper)を忘れずに読み終えておきます。【I will で始めて】

**【解答例 1】** I will remember to finish reading these two papers by tomorrow noon.

**【解答例 2】** I will not forget to finish reading these two papers by tomorrow noon.

▶「(私は)忘れずに…を読み終えておきます」は,  
**重要 1, 2** より, I will remember to finish reading ... となる。また, forget to do 「…するのを忘れる」を用いて, 【解答例 2】のように表してもよい。

▶「論文」という意味では, paper は可算名詞なので, 「この 2 つの論文」は, **重要 3** より, these two papers となる。

▷ this で複数名詞を修飾することはできないので, this two papers とすることはできない。

▶「明日正午までには」は, **重要 4** より, by tomorrow noon となる。

▷「明日正午までには」は期限を示しているので, 「…まで(ずっと)」という意味の until [till] を用いて表すことはできない。

### 3. ★★★

**重要 1** 「到着する」ことに主眼がある場合, 「行く」は「着く」と読みかえる必要がある。

**重要 2** 「A(交通手段)で」は, **by A**(無冠詞単数名詞)で表せる。

**重要 3** 比較級を強調する「ずっと」は, **much [far]** で表せる。

**重要 4** 比較構文では文法的・意味的に対等なものの同士を比較する。

**重要 5** 「…に S がある」は, 〈There be S+場所を表す副詞表現.〉で表せる。

**重要 6** 「多くの交通量」は, **a lot of traffic** で表せる。

**重要 7** 「A の中心部では」は, **in the center of A** で表せる。

東京の中心部は車が多いので, そのコンサートホールへはタクシーよりも地下鉄の方がずっと速く行けます。【You で始めて】

**【解答例 1】** You can get to the concert hall by subway much faster than by taxi, because there is a lot of traffic in the center of Tokyo.

**【解答例 2】** You will reach the concert hall far faster if you take the subway than if you take a taxi, since there are a lot of cars in downtown Tokyo.

▶「そのコンサートホールへはタクシーよりも地下鉄の方がずっと速く行けます」は, 「そのコンサートホールへはタクシーでよりも地下鉄の方がずっと速く行けます」と読みかえて, **重要 1, 2, 3, 4** より, You can get to the concert hall by subway much faster than by taxi となる。また, 「タクシーよりも地下鉄の方がずっと速く行けます」を「タクシーを利用する場合よりも地下鉄を利用する場合の方がずっと速く行けます」と読みかえて, 【解答例 2】のように表してもよい。

▶「東京の中心部は車が多いので」は, 「東京の中心部では多くの交通量があるので」と読みかえて, **重要 5, 6, 7** より, because there is a lot of traffic in the center of Tokyo となる。また, 「東京の中心部では多くの車があるので」と読みかえ, downtown 「中心部の」を用いて, 【解答例 2】のように, since there are a lot of cars in downtown Tokyo と表してもよい。

## 5 長文総合

### 【解答】

問 1 environment

問 2 工

問 3

**【解答例 1】** それ以降, インターネットビジネスの新たな波が現れ, 無限と言つていいほどの製品の品揃えを提供するようになった。

**【解答例 2】** それ以来, インターネットビジネ

スの新しい波が出現し、ほぼ無限の選択範囲の製品が提供されることになった。

#### 問4

【解答例1】二酸化炭素を宇宙に反射放出する太陽光がない夜間は、飛行機が排出する大量の二酸化炭素が大気中に留まり熱を逃がさないから。(59字)

【解答例2】太陽光がない夜には、飛行機が排出する二酸化炭素が宇宙に反射放出されずに大気中に留まり、熱が逃げないから。(52字)

#### 問5

【解答例1】さらに悪いのは、顧客がこの方針を悪用し、1足の靴だけを残し、他のすべての靴は返品するつもりで、3足から4足の靴を注文する場合である。

【解答例2】顧客がこの方針を悪用し、1足の靴だけを持ち続け、他のすべての靴は返品するつもりで、3足から4足の靴を注文するときはさらに悪いのである。

#### 問6 イ

#### 問7 ウ、オ(順不同)

### 【配点】(55点)

問1 5点 問2 5点 問3 8点

問4 12点 問5 10点 問6 5点

問7 5点×2

### 【設問解説】

以下の解説に記されている「第〇文」という通し番号は、p.20以降の【本文解説】を参照。

#### 問1 ★☆☆

本文全体の趣旨を考え、空所( 1 )に入る最も適当な語を、本文中から1語で抜き出せ。

- 1) Each day, more and more people try online shopping.
- 2) Business analysts say that online sales have doubled in the last ten years.
- 3) Americans alone spend well over \$150 billion a year buying goods and services on the web.
- 4) But not everyone shares their excitement.
- 5) Many scientists are now arguing that all this online shopping is bad for the ( 1 ).

重要 I be bad for A は、「Aにとって悪い」という意味。

重要 2 the environment は、「(自然)環境」という意味。

④ 重要 I より、空所を含む第5)文 Many scientists are now arguing that all this online shopping is bad for the ( 1 ). は、「多くの科学者は今、こうしたオンラインショッピングはすべて、( 1 )にとって悪いものであると主張している」という意味だとわかる。

④ 第2段落では、オンラインショッピングが大気汚染を増やしていること、第3段落では、買う物が大きければ大きいほど、多くの無駄が出ること、第4段落では、夜間飛行が必要な翌日配達はいっそうの温暖化や環境問題を招くこと、第5段落では、オンラインでの製品の返却が包装用資材と飛行機の運行数を2倍にすることが述べられている。

④ 第6段落では、第2～5段落の内容から、「オンラインショッピングは速くて簡単だが、それが環境に与える長期的に見たマイナスの影響を忘れてはならない」という結論が導かれている。

④ 第1段落では、この文章の導入として、「オンラインショッピングは、環境にとって悪いものである」という内容が述べられていると考えると、文章全体の論理が成立し文意も通じる。

④ したがって、重要 2 より、空所には第6段落の environment を入れればよい。

#### 問2 ★★☆

下線部(2)が表す内容として最も適当なものを、次のア～エの中から1つ選び、記号で答えよ。

- 6) This seems to go against conventional wisdom.
- 7) "With online shopping, people think, 'I don't need to drive, and the business doesn't need to build a store, so there will be less pollution,'" says Nuria Prost, an environmental scientist.
- 8) "But it really is not so simple. The truth is that online shopping generates a lot of waste. It also

adds to air pollution."

- ア. オンラインショッピングをすることは、大気汚染を減らすことほど簡単ではない。
- イ. 大気汚染を減らすことは、オンラインショッピングをすることほど簡単ではない。
- ウ. 出かける必要もないし企業が店を構える必要もないと言っても、オンラインショッピングは意外と単純ではない。

エ. オンラインショッピングをすれば、環境汚染は少なくなると考えるのは早計である。

**重要 1** **but** は、通例、逆接を表す接続詞である。

**重要 2** **it** には、漠然と発話時点の状況・事態・事情を示す用法がある。

**重要 3** 比較表現では、文脈から明らかな場合は比較対象が省略される。

⌚ **重要 1, 2** より、第8)文は、第7)文での「オンラインショッピングがあり、『車を運転する必要はないし企業は店を構える必要はないのだから、汚染は減るだろう』」という一般の人々の考えに対し、「しかし事態は本当はそれほど単純ではない」という科学者の意見が述べられていることがわかる。

⌚ **重要 3** より、第8)文での省略された比較対象は、第7)文の「オンラインショッピングがあり、車を運転する必要はないし企業は店を構える必要はないのだから、汚染は減るだろう」という一般の人々の考えだとわかる。

⌚ 第8)文は、「オンラインショッピングがあり、『車を運転する必要はないし企業は店を構える必要はないのだから、汚染は減るだろう』という一般の人々の考え方ほど、事態は単純ではない」、すなわち「オンラインショッピングをすれば、環境汚染は少なくなると考えるのは早計である」という趣旨になるので、エが正解。

問3 ★★☆

下線部(3)を和訳せよ。

12) But since then a new wave of Internet businesses has appeared, offering an almost

unlimited selection of products.

**【解答例1】** それ以降、インターネットビジネスの新たな波が現れ、無限と言っていいほどの製品の品揃えを提供するようになった。

**【解答例2】** それ以来、インターネットビジネスの新しい波が出現し、ほぼ無限の選択範囲の製品が提供されることになった。

**重要 1** **since A** は、「A以来 / A 以降」という意味。

**重要 2** 文末の分詞構文は、主文の補足説明である。

⌚ **重要 1** より、since then は、「それ以降」という意味になる。a new wave of Internet businesses has appeared は、「インターネットビジネスの新たな波が現れた」という意味である。

⌚ **重要 2** より、offering an almost unlimited selection of products は、「(そしてそれは)無限と言っていいほどの製品の品揃えを提供するようになった」という意味である。

問4 ★★★

下線部(4)に関して、overnight flights(夜間飛行)が地球のさらなる温暖化をもたらす原因を、この段落の内容に即して、具体的に50字以上60字以内の日本語で説明せよ。ただし、句読点も字数に含む。

18) Airplanes use much more fuel than cars and produce more carbon dioxide. 19) Next-day delivery, which requires overnight flights, causes particular problems. 20) Studies show that night flights create twice as much pollution as day flights. 21) Without sunlight to reflect carbon dioxide into space, it stays in the atmosphere and traps heat. 22) This leads to greater warming and further environmental problems.

**【解答例1】** 二酸化炭素を宇宙に反射放出する太陽光がない夜間は、飛行機が排出する大量の二酸化炭素が大気中に留まり熱を逃がさないから。(59字)

**【解答例2】** 太陽光がない夜には、飛行機が排

出す二酸化炭素が宇宙に反射放出されずに大気中に留まり、熱が逃げないから。(52字)

**重要** this は、通例、前文の内容を受ける。

**手がかり** 第18)文及び下線部(4)を含む第19)文は、「飛行機は自動車よりはるかに多くの燃料を使用し、より多くの二酸化炭素を生み出す。翌日配達は、夜間飛行を必要とし、特有の問題を引き起こす」という意味である。

⌚ 続く第20)~21)文は、「研究によって、夜間の飛行は昼間の飛行の2倍の汚染を生み出すことがわかっている。二酸化炭素を宇宙空間に反射放出する太陽光がない場合、二酸化炭素は大気中に留まり、熱を閉じこめる」という意味であり、第19)文の particular problems の具体的な内容であるとわかる。

⌚ 第22)文は、「このことはよりいっそうの温暖化とさらなる環境問題を引き起こすのである」という意味であり、**重要**より第22)文の This は、第21)文の内容を受けるとわかる。

⌚ したがって、第21)文およびそれと関連のある第18)~20)文の内容を制限字数の範囲内にまとめればよい。

## 問5 ★★☆

下線部(5)を和訳せよ。

26) Even worse is when customers abuse the policy and order three to four pairs of shoes with the intention of keeping only one pair and returning all the others.

**【解答例1】**さらに悪いのは、顧客がこの方針を悪用し、1足の靴だけを残し、他のすべての靴は返品するつもりで、3足から4足の靴を注文する場合である。

**【解答例2】**顧客がこの方針を悪用し、1足の靴だけを持ち続け、他のすべての靴は返品するつもりで、3足から4足の靴を注文するときはさらに悪いのである。

**重要** 1 S is C が、C is S 「CなのはSである」の語順になることがある。

**重要** 2 even には、「さらに」という意味で、比較級を強調する用法がある。

**重要** 3 when S V ... には、「…するとき[場合]」という意味の名詞節になる用法がある。

**重要** 4 abuse には、「…を乱用[悪用]する」という意味がある。

**重要** 5 order には、「…を注文する」という意味がある。

**重要** 6 with the intention of doing は、「…するつもりで」という意味。

⌚ **重要** 1, 3 より、文全体の構造は、Even worse (C) is (V) when customers abuse ... all the others (S). とわかり、**重要** 1, 2, 3 より「さらに悪いのは、…場合である」という意味になる。

⌚ **重要** 4, 5, 6 より、customers abuse ... the others は、「顧客がこの方針を悪用し、1足の靴だけを残し、他のすべての靴は返品するつもりで、3足から4足の靴を注文する」という意味である。

▶ the others は、the other pairs of shoes のこと。

## 問6 ★☆☆

空所( 6 )に入れるのに最も適当な語を、次のア~エの中から1つ選び、記号で答えよ。

29) Online shopping is fast and easy. ( 6 ) we can't forget the long-term negative effect it has on the environment.

ア. because

イ. but

ウ. if

エ. so

**重要** 1 have ... effect on A は、「Aに…な影響を与える」という意味。

**重要** 2 目的格の関係代名詞は、省略されることがある。

**重要** 3 negative は、「否定的な / マイナスの」という意味。

**重要** 4 but は、通例、逆接を表す接続詞である。

⌚ **重要** 2 より、it has on the environment は the long-term negative effect を先行詞とする関係代名詞節で、直前に目的格の関係代名詞が省略されているとわかる。

⌚ **重要** 1, 3 より、Online shopping is fast and easy, ( 6 ) we can't forget the long-

term negative effect it has on the environment. は、「オンラインショッピングは速くて簡単だ、( )それが環境に与える長期的に見たマイナスの影響を忘れてはならない」という意味になり、「速くて簡単だ」というオンラインショッピングの利点に対し、「環境に与える長期的に見たマイナスの影響がある」というオンラインショッピングの欠点を述べているとわかる。

Ⓐ 空所の前後は逆接の関係にあると考えると、オンラインショッピングは人々には利点があるが環境にはよくないという第1～5段落の趣旨とも合致するので、**重要4**より、イが正解。

#### 問7 ★★☆

本文の内容と一致するものを、次のア～オの中から2つ選び、記号で答えよ。ただし、解答の順序は問わない。

- ア. アメリカ人の中には、一人でオンラインショッピングに1,500億ドル使う人もいる。
- イ. インターネットでの商品やサービスの購入は、多くの無駄を省き、大気汚染の減少に貢献する。

ウ. インターネットで購入する電化製品が大型であればあるほど、紙やビニールの無駄が増える。

エ. オンラインでの商品の返品を無料にするサービスは、包装や輸送費を2倍にするだけで、利点は何もない。

オ. インターネットでの商品やサービスの購入を控えた方が、環境悪化の原因を減らすことになる。

手がかり

▶ウ 第13)～15)文の内容に一致する。

▶オ 本文全体の趣旨から読み取れる。

研究

▷ア 第3)文の内容に矛盾する。第3)文は「アメリカ人だけで1,500億ドルを優に超える金を使っている」と述べているが、「アメリカ人の中には、一人で1,500億ドル使う人もいる」とは述べられていない。

▷イ 本文全体の趣旨に矛盾する。

▷エ 第25)文の内容に矛盾する。「顧客を満足させる」とあるので、「利点は何もない」というわけではない。

#### 【要旨】

テーマ：オンラインショッピングが環境に与えるマイナスの影響。

第1段落：オンラインショッピングがますます盛んになっているが、多くの科学者は環境にとって悪いものであると主張する。

第2段落：オンラインショッピングは無駄を生み、大気汚染を増やしている。

第3段落：テレビや家具のように、買う物が大きければ大きいほど、多くの無駄が生じる。

第4段落：夜間飛行が必要な翌日配達は、より多くの二酸化炭素を大気中に留めることになり、いっそうの温暖化や環境問題を招く。

第5段落：オンラインでの製品の返品にも、包装用資材と飛行機の運行数を2倍にするなどの問題がある。

第6段落：オンラインショッピングは速くて簡単だが、それが環境に与える長期的に見たマイナスの影響を忘れてはならない。

#### 【本文解説】

##### 〔第1段落〕

- 1) Each day, more and more people try online shopping.
- 2) Business analysts say that online

- 1) 毎日、オンラインショッピングを試す人が増えている。
- 2) オンラインでの販売高がこの10

sales have doubled in the last ten years. 3) Americans alone spend well over \$150 billion a year buying goods and services on the web. 4) But not everyone shares their excitement. 5) Many scientists are now arguing that all this online shopping is bad for the ( 1 ).

年間で2倍になったと経営アナリストは言う。3) アメリカ人だけで、ウェブでの商品やサービスの購入に年に1,500億ドルを優に超える金を使っている。4) しかしそのすべての人と同じように興奮を味わっているわけではない。5)多くの科学者は今、こうしたオンラインショッピングはすべて、環境にとって悪いものであると主張している。

- 1) • more and more people try ... は、more and more A V ... 「ますます多くのAが…する / …するAが増えている」を用いた表現。
- 2) • that online sales ... last ten years は、say の目的語となる名詞節。in the last ten years は、「この10年間で」という意味。
- 3) • spend O *doing* 「…するのにOを使う」と a year 「1年につき / 年に」を用いた表現で、well over \$150 billion が spend O *doing* のOにあたる。well は「十分 / 優に」という意味の副詞。数詞の前に置かれる over は「超えて」という意味。
- 4) • not everyone V は、部分否定を用いた表現で、「すべての人が…するというわけではない」という意味。not everyone shares their excitement は、「すべての人が彼らの興奮を共有するわけではない」が直訳だが、ここでは「すべての人が同じようにオンラインショッピングにわくわくしているわけではない」ということを表している。
- 5) • that all this online shopping is bad for the ( 1 ) は、are arguing の目的語となる名詞節。  
• 空所( 1 )は【設問解説】参照。

- online 「オンラインで(の)」
- business 「企業 / 経営」
- analyst 「分析者 / アナリスト」
- sale 「販売(高)」
- double 「2倍になる」
- goods 「商品」
- service 「サービス」
- on the web 「ウェブ上で(の)」
- share O 「Oを共有する」
- excitement 「興奮」
- argue that S V ... 「…と主張する」

## 〔第2段落〕

6) This seems to go against conventional wisdom. 7) "With online shopping, people think, 'I don't need to drive, and the business doesn't need to build a store, so there will be less pollution,'" says Nuria Prost, an environmental scientist. 8) "But <sup>(2)</sup> it really is not so simple. The truth is that online shopping generates a lot of waste. It also adds to air pollution."

6) これは従来の考えにそぐわないようである。  
7) 「オンラインショッピングがあり、人々は『私は車を運転する必要はないし、企業は店を構える必要はないのだから、汚染は減るだろう』と考えます」と環境科学者のヌリア・プロストは言う。  
8) 「しかし事態は本当はそれほど単純ではありません。実際は、オンラインショッピングは多くの無駄を生み出すのです。それは大気汚染を増やしもするのです」

- 6) • This は、第5)文中の「こうしたオンラインショッピングはすべて、環境にとって悪いものである」という主張のことである。

- seem to do 「…するようである」
- go against A 「Aに反する / Aにそぐわない」

- 7) • an environmental scientist は, Nuria Prost と同格関係にある。
- 8) • 下線部(2)は【設問解説】参照。
- The truth is ... lot of waste. は, The truth is that S V ... 「実際は, …」を用いた表現。
  - It also adds ... の It は, online shopping のこと。

- conventional 「従来の」
- wisdom 「英知 / 考え」
- pollution 「汚染」
- environmental 「環境の」
- simple 「単純な」
- generate O 「Oを生み出す」
- waste 「浪費 / 無駄」
- add to A 「Aを増やす」
- air pollution 「大気汚染」

### 〔第3段落〕

9) Part of the problem is what people are buying these days. 10) In the past, people bought things on the Internet that did not require much packing material. 11) Many of the first generation of online stores sold small goods. 12) But <sup>(3)</sup>since then a new wave of Internet businesses has appeared, offering an almost unlimited selection of products. 13) People now shop online for large, heavy products such as computers, televisions, even furniture. 14) These products require tremendous amounts of plastic and paper shipping materials. 15) The larger the product, the more waste is created.

9) 問題の一部は, 近頃人々が購入している物である。10) かつて人々は, インターネットでは, 包装用資材をあまり必要としない物を購入していた。11) オンラインストアの第1世代の多くは, 小さい商品を販売していた。12) しかしそれ以降, インターネットビジネスの新たな波が現れ, 無限と言っていいほどの製品の品揃えを提供するようになった。13) 今では人々は, コンピューターやテレビやさらには家具のような大きく重い製品をオンラインで買物する。14) こうした製品は途方もない量のビニールや紙の運送用資材を必要とする。15) 製品が大きければ大きいほど, それだけいっそう多くの無駄が生み出されるのである。

- 9) • what people are buying these days は, is の補語となる名詞節。
- 10) • on the Internet は, bought を修飾する副詞句で, that did ... packing material は, things を先行詞とする関係代名詞節。
- 12) • 下線部(3)は【設問解説】参照。
- 13) • large, heavy ... even furniture は, A such as B 「(たとえば)BのようなA」を用いた表現。
- 15) • 〈The + 比較級 + S' V' ... , the + 比較級 + S V ~.〉「…すればするほど, それだけいっそう～」を用いた表現。ここでは, The larger the product is の is が省略されている。

- these days 「近頃」
- in the past 「過去には / かつて」
- the Internet 「インターネット」
- not ... much 「あまり…ない」
- require O 「Oを必要とする」
- packing 「包装用の」
- material 「材料 / 資材」
- generation 「世代」
- online store 「オンラインストア」
- wave 「波」
- appear 「現れる」
- offer O 「Oを提供する」
- almost 「ほとんど / …と言っているほど」
- unlimited 「無限の」
- selection 「選ばれたもの / 品揃え」
- product 「製品」
- shop for A 「Aを買物する」
- furniture 「家具」
- tremendous 「途方もない」
- ... amounts of A 「…な量のA」
- plastic 「プラスチック / ビニー

- ル」
- shipping 「運送用の / 輸送」
  - create O 「Oを創り出す [生み出す]」

—[第4段落]—

16) Perhaps the biggest drawback of online shopping is its link to air pollution. 17) As online shopping has grown in popularity, companies have increased their air shipping. 18) Airplanes use much more fuel than cars and produce more carbon dioxide. 19) Next-day delivery, which requires <sup>(4)</sup>overnight flights, causes particular problems. 20) Studies show that night flights create twice as much pollution as day flights. 21) Without sunlight to reflect carbon dioxide into space, it stays in the atmosphere and traps heat. 22) This leads to greater warming and further environmental problems.

16) ことによるとオンラインショッピングの最大の欠点は、それが大気汚染とつながっていることかもしれない。17) オンラインショッピングの人気が高まるにつれ、企業は空輸を増加させてきた。18) 飛行機は自動車よりはるかに多くの燃料を使用し、より多くの二酸化炭素を生み出す。19) 翌日配達は、夜間飛行を必要とし、特有の問題を引き起こす。20) 研究によって、夜間の飛行は昼間の飛行の2倍の汚染を生み出すことがわかっている。21) 二酸化炭素を宇宙空間に反射放出する太陽光がない場合、二酸化炭素は大気中に留まり、熱を閉じこめる。22) このことはよりいっそうの温暖化とさらなる環境問題を引き起こすのである。

- 17) · Asは、「…つれて」という意味の比例を表す接続詞。
- 18) · muchは比較級を強める副詞で、「はるかに」という意味。
- 19) · which requires overnight flightsは、Next-day deliveryを先行詞とする非制限用法の関係代名詞節。
  - 下線部(4)は【設問解説】参照。
- 20) · that night flights ... as day flightsは、showの目的語となる名詞節。
  - night flights ... day flightsは、twice as ... as 「～の2倍…」を用いた表現。
- 21) · to reflect carbon dioxide into spaceは、sunlightを修飾する形容詞用法の不定詞句。
- 22) · Thisは第21)文の内容を指す。

- perhaps 「ことによると…かもしれない」
- link to A 「Aとの連結 / Aとつながっていること」
- popularity 「人気」
- air shipping 「空輸」
- fuel 「燃料」
- delivery 「配達」
- overnight 「夜通しの / 夜間の」
- flight 「飛行」
- cause O 「Oを引き起こす」
- particular 「特定の / 特有の」
- day 「昼間」
- sunlight 「日光 / 太陽光」
- space 「宇宙(空間)」
- the atmosphere 「大気」
- heat 「熱」
- lead to A 「Aに至る / Aを引き起こす」
- warming 「温暖化」
- further 「さらなる」

—[第5段落]—

23) Online product returns are also a factor in the problem. 24) For example, an online shoe store may allow customers to return shoes

23) オンラインでの製品の返品もまたこの問題の1つの要因である。24) たとえば、あるオンライン上の靴屋は、靴のサイズが合わない場合に

for free if they are the wrong size. 25) While this pleases customers, it doubles the packing materials and number of airplane trips required to sell one pair of shoes. 26) <sup>(5)</sup> Even worse is when customers abuse the policy and order three to four pairs of shoes with the intention of keeping only one pair and returning all the others.

は、顧客が無料で靴を返品することを認めるかもしれない。25) このことは顧客を満足させるが、1足の靴を売るのに必要な包装用資材と飛行機の運行数を2倍にする。26) さらに悪いのは、顧客がこの方針を悪用し、1足の靴だけを残し、他のすべての靴は返品するつもりで、3足から4足の靴を注文する場合である。

- 24) • an online ... for free は、allow O to do 「Oが…するのを許す[認める]」と for free 「無料で」を用いた表現。  
 • they は、客が注文した靴のこと。
- 25) • While は、「…だが」という意味の譲歩を表す接続詞。  
 • this は第24)文の内容を指し、it は this を指す。  
 • required to sell one pair of shoes は、the packing materials and number of airplane trips を修飾する過去分詞句。
- 26) • 下線部(5)は【設問解説】参照。

- return 「返品」
- factor 「要因」
- customer 「顧客」
- return O 「Oを返却[返品]する」
- please O 「Oを喜ばせる[満足させる]」
- airplane trip 「飛行機の運行」
- one pair of shoes 「1足の靴」
- abuse O 「Oを乱用[悪用]する」
- policy 「方針」
- order O 「Oを注文する」
- with the intention of doing 「…するつもりで」

### 〔第6段落〕

27) “If people want to protect the environment, they need to think before they shop,” says Prost. 28) “People need to put things in perspective: Is this the exact thing I want? Is this thing so important that I really need it tomorrow, or will I be OK if I wait?”  
 29) Online shopping is fast and easy, ( 6 ) we can’t forget the long-term negative effect it has on the environment.

27) 「人々が環境を保護したいと思うのなら、買物する前に考える必要があります」とプロストは言う。28) 「人々は物事を総合して考える必要があります。これはまさに私がほしい物なのか。これは私が本当に明日必要とするほど重要なものなのか、それとも待っても大丈夫なのか、などです」29) オンラインショッピングは速くて簡単だが、それが環境に与える長期的に見たマイナスの影響を忘れてはならないのである。

- 28) • People need ... in perspective は、put O in perspective 「Oを総体的に[総合して]考える」を用いた表現。  
 • I want は、the exact thing を先行詞とする関係代名詞節で、直前に目的格の関係代名詞が省略されている。  
 • Is this thing so important は、this thing が主語、is が動詞、so important が補語という構造。  
 • Is this thing so ... need it tomorrow は、so ... that S V ~ 「たいへん…ので～ / ～するほど…」を用いた表現。
- 29) • 空所( 6 )は【設問解説】参照。  
 • the long-term ... the environment は、have ... effect on A 「Aに…な影響を与える」を用いた表現。it has on the environment は、the long-term negative effect を先行詞

- protect O 「Oを保護する」
- the environment 「環境」
- exact 「正確な / まさにその」
- long-term 「長期間の / 長期的に見た」
- negative 「消極的な / マイナスの」
- effect 「影響」

とする関係代名詞節で、直前に目的格の関係代名詞が省略されている。

### 【出典】

Real Reading 4: A Cleaner Way to Shop

## ⑥ 長文総合

### 【解答】

問1 1. エ 2. エ 3. ア

4. イ 5. ア

問2 イ, エ, キ(順不同)

### 【配点】(45点)

問1 6点×5

問2 5点×3

### 【設問解説】

以下の解説に記されている「第〇文」という通り番号は、p.27以降の【本文解説】を参照。

#### 問1

1. ★☆☆

When Mr. Barnes made a comment on the length of a lady's skirt, ( ) .

- ア. all the students laughed
- イ. he handed out the first homework
- ウ. he said it should be very long or very short

**工. the author felt upset**

(訳)

バーンズ先生が女性のスカートの丈について発言したとき、( )。

- ア. すべての生徒が笑った
- イ. 彼は最初の宿題を配った
- ウ. 彼はそれはとても長いか、あるいはとても短くなければならないと言った

**工. 筆者は心穏やかではなかった**

**(手がかり)** 第1段落の内容から判断する。

2. ★☆☆

Mr. Barnes was the kind of person who

( ) .

- ア. always thought about how to make students happy

- イ. gave a lot of homework to the class
- ウ. liked teaching a Middle English collection of stories

**エ. often made girls feel uncomfortable**

(訳)

バーンズ先生は( )のような人であった。

- ア. 常に生徒を幸せにする方法について考えている

- イ. クラスに多くの宿題を出す

- ウ. 中世英語の説話集を教えるのを好む

**エ. しばしば少女たちを居心地悪くさせる**

**(手がかり)** 第9)~10), 21)文の内容から判断する。

3. ★☆☆

When Mr. Barnes told the students about the Wife of Bath, the author ( ) .

**ア. could not control her anger**

- イ. regarded herself as a typical girl
- ウ. saw most of the students' heads hanging down

- エ. thought he needed someone to cook and clean

(訳)

バーンズ先生がバースの女房について生徒に話したとき、筆者は( )。

**ア. 怒りをコントロールすることができなかつた**

- イ. 自分自身が典型的な少女だと考えた

- ウ. 生徒の大半がうなだれているのを見た

- エ. 彼が料理人兼掃除人を必要としていると思った

**(手がかり)** 第16)~19), 21)~22)文の内容から判断する。

#### 4. ★★☆

After the author said, "Hmm!" ( ) .

ア. she crawled underneath her desk

**イ. she was too embarrassed**

ウ. someone said she was "Miss Quiet and

Shy"

エ. the clock on the wall began to move

(訳)

筆者が「ふん！」と言った後、( )。

ア. 彼女は机の下にもぐり込んだ

**イ. 彼女はあまりに恥ずかしかった**

ウ. 誰かが彼女は「無口で内気なお嬢さん」

であると言った

エ. 壁の時計が動き出した

**手がかり** 第28) ~ 35) 文の内容から判断する。

#### 5. ★★☆

At the end of the day when the author stood up to the teacher, ( ) .

**ア. she was treated as a hero among the girls**

イ. someone hit her on the back

ウ. the teacher told her that she would go far in life

エ. there was no one who knew what had happened

(訳)

筆者がその教師に立ち向かった日の夕方には、( )。

**ア. 彼女は少女たちの間でヒーローとして扱われていた**

イ. 誰かが彼女の背中を殴った

ウ. その教師は彼女が人生で成功するだろうと言った

エ. 何があったかを知っている人は誰もいなかった

**手がかり** 第44) ~ 47) 文の内容から判断する。

#### 問2 ★★☆

本文の内容と一致するものを、次のア～クの中から3つ選び、記号で答えよ。ただし、解答の順序は問わない。

ア. The students were surprised to find that the first homework their teacher gave them would take a very long time.

**イ. The way the boys responded to Mr. Barnes' comment seemed to satisfy him.**

ウ. Mr. Barnes was good at turning anything students studied into something instructive to them.

**エ. When Mr. Barnes made inappropriate comments, the author used to keep silent because she feared him.**

オ. Mr. Barnes was a stand-up comedian before becoming an English teacher.

カ. When Mr. Barnes asked who had spoken, the author didn't hesitate to answer, "I said it."

**キ. After the author's protest, Mr. Barnes did not make inappropriate comments in the author's class.**

ク. Nobody except the author seemed to think that she would express herself in class.

(訳)

ア. 生徒たちは、自分たちの教師が出した最初の宿題はとても長い時間がかかるだろうとわかって驚いた。

**イ. 少年たちがバーンズ先生の発言に反応した様子は、彼を満足させているように思われた。**

ウ. バーンズ先生は、生徒たちが学ぶどんなことも彼らにとってためになるものに変えるのが得意だった。

**エ. バーンズ先生が不適切な発言をしたとき、筆者は彼を恐れていたのでかつては黙っていた。**

オ. バーンズ先生は、英語教師になる前は独演のコメディアンだった。  
カ. バーンズ先生が誰が声を出したのか尋ねたときに、筆者はためらわずに「私が言いました」と答えた。

**キ. 筆者の抗議の後、バーンズ先生は筆者のクラスでは不適切な発言をしなかった。**

ク. 筆者以外の誰も、筆者がクラスで自分の考えを表明するとは思っていなかったように思われた。

#### 手がかり

イ 第5)~6)文の内容から判断する。

エ 第11)文の内容から判断する。

キ 第48)~49)文の内容から判断する。

#### 研究

- ▷ ア 第2)文の内容に関連するが、宿題に長い時間がかかるとも、生徒たちがその長さに驚いたとも述べられてはいない。
- ▷ ウ 第9)文の内容に矛盾する。
- ▷ オ 第20)文の内容に矛盾する。
- ▷ カ 第25)~33)文の内容に矛盾する。筆者が“*I said it.*”と言ったのは、しばらくためらった後である。
- ▷ ク 第53)文の内容に矛盾する。筆者を含めて誰も、筆者が自分の意見を表明するとは想えていなかった。

## 【要旨】

テーマ：無口で内気な少女が、不適切な発言を繰り返す教師に敢然と立ち向かい、ヒーローとなる。

**第1段落：**英語教師のバーンズが課題の長さを女性のスカートの丈にたとえて冗談めかして言ったとき、筆者はいらだった。

**第2段落：**バーンズの女性に対する失礼な発言はエスカレートしていき、彼がそのような発言をするたびに、筆者は何か言いたかったが、怖くて言えなかつた。

**第3段落：**授業で『カンタベリー物語』の登場人物の女性についてバーンズがまたもや不適切な発言をしたときに、筆者はがまんできなくなつた。

**第4~5段落：**突然筆者は「ふん！」と声を上げてしまい、「誰が言ったのか」というバーンズに対し、自分が言ったと名乗り出た。

**第6~8段落：**何か言いたいことがあるのかとバーンズに聞かれ、筆者はバーンズの発言が陳腐で失礼なものであると言つた。バーンズは謝罪し感謝した。

**第9~10段落：**筆者は自分のしたことが信じられなかつたが、夕方までにこの事件は学校中に知れ渡り、筆者は女子生徒の間でヒーローになった。

**第11~12段落：**その後、バーンズの発言はおとなしくなり、最終試験を提出する際に筆者はバーンズが自分を本当に認めていることを知り、驚くとともに誇らしく思った。

## 【本文解説】

### [第1段落]

1) I'll never forget the first time I heard my English teacher, Mr. Barnes, make an inappropriate comment in class. 2) He'd just handed out our first assignment and someone

1) 英語教師のバーンズ先生が授業で不適切な発言をするのを初めて聞いたときのことを私は決して忘れないだろう。2) 彼は私たちの最初の課題をちょうど配ったところだったが、誰かがそれ

asked how long it should be. 3) "Like the length of a lady's skirt," he said. 4) "Long enough to cover everything, but short enough to keep it interesting." 5) The guys laughed. 6) Mr. Barnes just sat there with a little smile on his face. 7) It made me irritated.

はどのくらいの長さにすべきかと尋ねた。3) 「女性のスカートの丈のようにね」と彼は言った。4) 「すべてをカバーするほどの長さだが、それを興味深いものにしておくほどの短さにすべきだよ」 5) 男子生徒たちが笑った。6) バーンズ先生は顔に少し笑みを浮かべ、ただそこに座っていた。7) それが私をいらいらさせた。

- 1) • I heard my ... comment in class は、the first time を先行詞とする関係副詞節。直前に関係副詞が省略されている。
- I heard ... in class は、hear O do 「Oが…するのを聞く」を用いた表現。
- Mr. Barnes は、my English teacher と同格関係にある。
- 3) • Like the length of a lady's skirt は、like A 「Aのように」を用いた表現。
- 4) • Long enough to cover everything は、直前に It should be を補って考えるとよい。この cover は、「Oを含む」と「Oを覆う」の意味の掛詞で、「課題の作文は必要な内容のすべてを含んでいるほどの長さであるべきだ」という意味と、「スカートの丈は足を十分に覆い隠すほどの長さであるべきだ」という 2 つの意味を表している。
- short enough to keep it interesting は、「課題の作文は内容が退屈にならないほどの短さであるべきだ」という意味と、「スカートの丈はある程度足が見えるくらいの短さであるべきだ」という 2 つの意味を表している。keep it interesting は、keep O C 「OをCにしておく」を用いた表現。
- 5) • the guys は、筆者のクラスの男子生徒のこと。
- 6) • with a little smile on his face は、〈with A + 前置詞句〉「A が…の状態で」を用いた表現。

## 〔第2段落〕

8) As the year went by, his comments became more and more inappropriate. 9) He could turn anything we studied into something negative and degrading to women. 10) It was humiliating. 11) Each time he made one of his comments, I wanted to say something, but I was too afraid of him. 12) Besides, everyone called me "Miss Quiet and Shy." 13) I didn't like speaking in front of other people and I would never talk back to a teacher.

8) その年が過ぎていくうちに、彼の発言はますます不適切になっていった。9) 彼は、私たちが学ぶいかなることも女性に対して否定的で侮辱的なものに変えることができた。10) それは屈辱的であった。11) 彼がいつもの発言を一つ言うたびに、私は何か言いたいと思ったが、彼のことが恐すぎた。12) そのうえ、皆は私のことを「無口で内気なお嬢さん」と呼んでいた。13) 私は人前で発言することが好きでなかったし、教師に口答えしようなんて一度も思わなかった。

- 8) • As は、「…つれて」という意味の比例を表す接続詞。 | • go by 「(年月が)過ぎる」

- more and more inappropriate は、〈比較級 + and + 比較級〉「ますます…」を用いた表現。
- 9) turn anything we studied into something negative and degrading to women は、turn A into B 「AをBに変える」を用いた表現。anything we studied が A, something negative and degrading to women がBにあたる。
- we studied は、anything を先行詞とする関係代名詞節。直前に目的格の関係代名詞が省略されている。
  - negative and degrading to women は、something を修飾する形容詞句。negative と degrading は and によって結ばれ、共通関係にあり、ともに to women につながっている。
- 11) Each time he made one of his comments は、each time S V … 「…するたびに」を用いた表現。one of his comments は、「彼の女性に対するいつもの失礼な発言の1つ」ということ。I was too afraid of him の後には、to say anything が省略されている。
- 12) Miss Quiet and Shy は、「無口で内気なお嬢さん」という意味で、クラスの皆が筆者につけたあだ名。
- 13) would never は、過去の強い否定の意志を表す。
- negative 「否定的な」
  - besides 「そのうえ」
  - talk back to A 「Aに口答えする」

### [第3段落]

14) Toward the end of the year, we started studying *The Canterbury Tales*, a Middle English collection of stories about a group of travelers. 15) Mr. Barnes made a generic, stereotypical comment about the traveler in each tale we were reading. 16) When we came to the tale about the "Wife of Bath," I braced myself. 17) Just as I suspected, he told us about how this woman was a typical wife. 18) They only brought her along because they needed someone to cook and clean, he said. 19) I just couldn't take it anymore. 20) The guys were laughing and acting like Mr. Barnes was a stand-up comedian. 21) I looked at the girls and most of them just sat there with their arms crossed and their heads hanging down. 22) I felt like I was going to explode.

14) その年の終わり頃に、私たちは旅人の一団についての中世英語の説話集である『カンタベリー物語』を勉強し始めた。15) バーンズ先生は、私たちが読んでいる一つ一つの話の旅人について一般的で型にはまった発言をした。16) 私たちが「バースの女房」の話のところまで読み進めたとき、私は身がまえた。17) 案の定、彼はこの女性が典型的な女房である様子について私たちに話した。18) 彼らは料理人兼掃除人が必要だという理由だけでこの女を連れてきたのだ、と彼は言った。19) もはや私には、とても耐えられなかった。20) 男子生徒たちは、まるでバーンズ先生が独演のコメディアンであるかのように笑ったり、振る舞ったりしていた。21) 女子生徒たちを見ると、彼女らの大半は腕を組み、うなだれていっとそこに座っていた。22) 私は自分が怒りで爆発しそうになっていると感じた。

- 14) a Middle English collection ... group of travelers は、*The Canterbury Tales* と同格関係にある。
- 15) we were reading は、each tale を先行詞とする関係代名

- toward A 「A頃(に)」
- The Canterbury Tales* 「カンタベリー物語」 (Geoffrey Chaucer)

詞節。直前に目的格の関係代名詞が省略されている。

- 16) • I braced myself. とは、バースの女房についてバーンズ先生がまた不適切な発言をするのではないかと筆者が身がまえたということ。
- 17) • Just as I suspected の as は、文内容を先行詞とする関係代名詞。ここでは後続する he told us ... a typical wife が先行詞である。
- how this woman was a typical wife は、前置詞 about の目的語になる名詞節。
- 18) • only は because they needed someone to cook and clean を修飾する。to cook and clean は someone を修飾する形容詞用法の不定詞句。
- 19) • I just couldn't take it anymore. は、just cannot do 「とても…できない」と can take it 「耐えることができる」と not ... anymore 「これ以上…ない」を用いた表現。it は、バーンズ先生の発言内容のこと。
- 20) • like Mr. Barnes was a stand-up comedian は、like S V ... 「まるで…のように」を用いた表現。
- 21) • with their arms crossed and their heads hanging down は、with A done 「Aが…された状態で」と with A doing 「Aが…している状態で」を用いた表現。their arms crossed と their heads hanging down は and によって結ばれ、共通関係にあり、ともに with とつながっている。
- 22) • feel like S V ... 「…ように感じる」を用いた表現。

(1340?–1400) 作)

- Middle English collection of stories 「中世英語の説話集」
- suspect (that) S V ... 「…ではないかと思う / …と思う」
- typical 「典型的な」
- bring O along / bring along O 「Oを連れてくる」
- stand-up 「独演の」
- comedian 「喜劇役者 / コメディアン」
- hang down 「垂れ下げる」
- explode 「(怒りなどで)爆発する」

#### [第4～5段落]

23) Suddenly, I blurted out, "Hmm!" 24) My teacher's head jerked up.  
25) He looked around the room and asked, "Who said that?" 26) No one said a word. 27) It was so quiet that I heard the clock on the wall ticking for the first time ever. 28) I could feel my face getting hotter as the blood rushed to my cheeks. 29) My heart was pounding so loud and so fast that I thought it might jump right out of my chest. 30) What was I thinking? 31) I was "Miss Quiet and Shy," right? 32) But I thought somebody had to stand up to this guy. 33) I opened my mouth and blurted out, "I said it." 34) Everyone looked around and stared at me with looks of horror. 35) I wanted to crawl underneath my

23) 突然、私は思わず「ふん！」と言ってしまった。24) バーンズ先生の顔がさっと上がった。

25) 彼は教室を見まわして、「『ふん』と言ったのは誰かね」と尋ねた。26) 誰も一言も言わなかつた。27) 静まりかえっていたので、初めて壁の時計がチクタクと音を立てているのが聞こえた。28) 両頬まで血が駆け上っていくにつれて顔がほてつてくるのを感じられた。29) 心臓がとても大きな音でとても速くどきんどきんしていたので、胸から飛び出すのではないかと思ったほどだった。30) 私は何を考えているのかしら。31) 私は「無口で内気なお嬢さん」ではないの? 32) でも、誰かがこの男に立ち向かわなければならぬと私は思った。33) 私は口を開いて、衝動的に「私が言いました」と言った。34) 皆はあたりを

desk.

見回し、恐怖の表情で私を見つめた。35) 私は机の下にもぐり込みたいと思った。

- 27) • so ... that S V ~ 「たいへん…ので～」を用いた表現。  
• It is, その場の状況を表す。  
• I heard the clock on the wall ticking は, hear O *doing* 「Oが…しているのを聞く」を用いた表現。
- 28) • I could feel my face getting hotter は, feel O *doing* 「Oが…しているのを感じる」を用いた表現。  
• as は, 「…つれて」という意味の比例を表す接続詞。
- 29) • so ... that S V ~ 「たいへん…ので～」を用いた表現。
- 30) • 筆者が心の中で思ったこと。第31)文も同じ。
- 31) • .... right? の right は, 「そうよね」という意味で, 念を押したり, 確認を求めるときに用いる定型表現。
- 32) • this guy 「この男」は, Mr. Barnes のこと。

- Hmm 「(驚き・不同意・不信などを表して)ふん」
- jerk up 「(顔などが)さっと上がる」
- tick 「(時計などが)チクタクと鳴る」
- for the first time ever 「(これまで)初めて」
- blood 「血」
- rush 「勢いよく流れる」
- cheek 「頬」
- pound 「(心臓が)どきんどきんする」
- chest 「胸部」
- stand up to A 「Aに敢然と立ち向かう」
- stare at A 「Aを(じっと)見つめる」
- look of horror 「恐怖の表情」
- crawl underneath A 「Aの下にもぐり込む」

#### [第 6 ~ 8 段落]

- 36) Mr. Barnes glared at me and said, "Do you have something you'd like to say?"  
37) "Yes ... I ... do," I choked out. 38) "I think your comments are stereotypical and rude. They are ... um ... inappropriate, sir," I stammered.  
39) "Well," he said, "I'm sorry you feel that way. Thank you for your comments, Miss Westbrook."

- 36) バーンズ先生は私をにらみつけて、「何か言いたいことがあるのかね」と言った。  
37) 「はい。あっ、あります」と私は絞り出すように言った。38) 「先生の発言は、型にはまって失礼だと思います。あのー、不適切です。先生」と、どもりながら言った。  
39) 「ああ、君がそのように感じているのは申し訳ない。ミス・ウェストブルック、言ってくれてありがとう」と彼は言った。

- 36) • you'd like to say は, something を先行詞とする関係代名詞節。直前に目的格の関係代名詞が省略されている。  
38) • sir は, 男性への呼びかけ・敬称。  
39) • I'm sorry you feel that way. は, you feel that way の直前に接続詞 that が省略されている。that way は, 「そのように」という意味の副詞句。

- choke out ... 「…と絞り出すよう言う」
- rude 「無礼な / 失礼な」
- stammer ... 「…とどもりながら言う」
- Thank you for A. 「Aをありがとう」

#### [第 9 ~ 10 段落]

- 40) I couldn't believe what I had just done.  
41) Was that my voice I had heard? 42) Did Mr. Barnes really just thank me for my

- 40) 私は自分が今したばかりのことを信じられなかった。41) 私が耳にしたのは自分の声なの?  
42) バーンズ先生は本当に私の発言に対して単に

comments? 43) When the bell rang, I grabbed my stuff and ran down the hall to my locker.

44) By the end of the day, the entire school had heard what had happened. 45) People I didn't even know were coming up to me and patting me on the back. 46) All of the girls were so glad that someone had finally stood up to him. 47) I just couldn't believe that it had been me!

感謝しているだけなの? 43) ベルが鳴ると、私は持ち物をつかみ、廊下を走って自分のロッカーヘと向かった。

44) 夕方までには、学校中が何があったかを聞いていた。45) 私の知り合いでない人でさえやって来は、私の背中をポンとたたくのだった。46) 女子生徒のすべては、ついに誰かがあの男に立ち向かったことでとても喜んでいた。47) その誰かというものが自分であったということを私はとても信じられなかった。

40) · what I had just done は、believe の目的語となる関係代名詞節。

41) · Was (V) that (S) my voice (C) ...? の構造。I had heard は、that を先行詞とする関係代名詞節で、直前に目的格の関係代名詞が省略されている。

· この文は、第42)文とともに筆者が心の中で思ったこと。

44) · the end of the day は、ここでは「夕方」の意味。

· what had happened は、heard の目的語となる疑問詞節。

45) · I didn't even know は、People を先行詞とする関係代名詞節。直前に目的格の関係代名詞が省略されている。

46) · be glad that S V ... 「…でうれしい」を用いた表現。

47) · it は、someone を指す。

· thank A for B 「BのことでAに感謝する」

· grab O 「Oをつかむ」

· stuff 「持ち物」

· hall 「廊下」

· the entire A 「A全体」

· pat O on the back 「Oの背中をポンとたたく」

· finally 「ついに」

### [第11~12段落]

48) For the rest of the year, Mr. Barnes toned down his comments, at least in my class. 49) He still told some jokes, but they were no longer degrading.

50) When I handed in my final exam, Mr. Barnes looked me in the eye and said, "You, Miss Westbrook, will go far in life. We need more leaders and fewer followers. Good luck next year." 51) I was shocked — it seemed like he actually respected me for standing up to him. 52) I smiled and felt proud. 53) Who would have thought that "Miss Quiet and Shy" would have ended up being the boldest girl in class?

48) その年の残りの間ずっと、バーンズ先生は少なくとも私のクラスでは発言がおとなしくなった。49) 彼は依然としてジョークを言っていたが、それらはもはや侮辱的なものではなかった。

50) 私が最終試験を提出したとき、バーンズ先生は私の目を見つめて言った。「ミス・ウェストブルック、君は人生で成功するよ。私たちはより多くの指導者が必要であり、追随者はそんなに要らないんだ。来年もがんばってくれたまえ」51) 私は衝撃を受けた。どうやら彼は私が彼に立ち向かったことで本当に私に敬意を払っているようだったのだ。52) 私は微笑み、誇らしく感じた。53) 「無口で内気なお嬢さん」が最後にはクラスで最も大胆な少女になってしまうだろうなんて、いったい誰が思つただろうか。

51) · it seemed like ... up to him は、it seems like S V ... 「どうやら…のようだ」を用いた表現。筆者は、第42)文で Did Mr. Barnes really just thank me for my comments?

· rest 「残り」

· tone O down / tone down O 「O(語気など)を和らげる[トーンダ

「バーンズ先生は本当に私の発言に対して単に感謝しているだけなの？」という疑問を抱いたが、ここではバーンズ先生がどうやら本当に感謝しているようだと述べているのである。

- 53) • Who would have thought ...? は、修辞疑問文で、「誰が...と思っただろうか(誰も思いはしなかったんだろう)」という意味。would have ended ... の would は、時制の一致で will が would になったもの。

ウンする]」

- at least 「少なくとも」
- no longer 「もはや…ない」
- hand O in / hand in O 「Oを提出する」
- final exam 「最終試験」
- look O in the eye 「Oの目を見つめる」
- go far 「出世する / 成功する」
- leader 「指導者」
- follower 「追随者」
- Good luck. 「成功を祈ります / がんばってください」
- actually 「実際に」
- respect O 「Oを尊敬する / Oに敬意を払う」
- proud 「誇りを持っている」
- end up *doing* 「最後には…することになる」
- bold 「大胆な」

### 【出典】

Christy Westbrook: *The Boldest Girl in Class*

模試を受験された後の学習のために、自宅で「リスニング問題」の音声を聞くことができます。以下の Kei-Net ホームページをご参照ください。

<http://www.keinet.ne.jp/onsei.html>

※お聴きいただくには、Kei-Net 会員の登録(無料)が必要です。

# 【数学】

解答の理解に役立つように、

右欄に

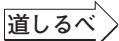
枠囲み

… 解答で用いた公式、



… 解答を読む上で参考になる式、考え方、式の変形、図

解答の途中に



… 解答の糸口

を載せています。

さらに、

【ポイントチェック】 … 復習して、理解したことを定着させるための練習問題

があります。

## 1 【数学 I・A 小問集合】

次の  にあてはまる数や式を求めよ。

(1)  $\frac{\sqrt{2}}{\sqrt{5}-\sqrt{2}}$  の分母を有理化すると、

となる。

(2)  $x^4 - 5x^2 + 4$  を因数分解すると、

となる。

(3) 連立不等式

$$\begin{cases} |3x+1| < 4, \\ 2x+1 < 0 \end{cases}$$

の解は、

である。

(4)  $0^\circ < \theta < 90^\circ$  とする。  $\tan \theta = 2$  のとき、  
 $\sin(90^\circ - \theta) = \boxed{\phantom{00}}$

である。

(5) 1つのサイコロを 2 回振るとき、出た目の数の積が 3 の倍数となる確率は、

である。

(6)  $U = \{x \mid x \text{は } 200 \text{以下の自然数}\}$  を全体集合とし,  $U$  の部分集合

$$A = \{x \mid x \text{は } 3 \text{の倍数}, x \in U\},$$

$$B = \{x \mid x \text{は } 5 \text{の倍数}, x \in U\}$$

を考える。集合  $\overline{A} \cap \overline{B}$  の要素の個数は,



である。

● ● ● 配点 (30点) ● ● ● ●

- (1) 5点 (2) 5点 (3) 5点 (4) 5点 (5) 5点 (6) 5点

● ● ● 問題のレベル ● ● ●

(1)から(6)まで、すべて基本。

解 答

(1)	$\frac{\sqrt{10}+2}{3}$	(2)	$(x+1)(x-1)(x+2)(x-2)$	(3)	$-\frac{5}{3} < x < -\frac{1}{2}$
(4)	$\frac{1}{\sqrt{5}}$	(5)	$\frac{5}{9}$	(6)	107

$$(1) \quad \frac{\sqrt{2}}{\sqrt{5}-\sqrt{2}} = \frac{\sqrt{2}(\sqrt{5}+\sqrt{2})}{(\sqrt{5}-\sqrt{2})(\sqrt{5}+\sqrt{2})} \\ = \frac{\sqrt{10}+2}{5-2} \\ = \frac{\sqrt{10}+2}{3}. \quad \dots (\text{答})$$

$$\begin{aligned} \blacklozenge \quad & a>0, b>0, a \neq b \text{ のとき,} \\ & \frac{c}{\sqrt{a}-\sqrt{b}} = \frac{c(\sqrt{a}+\sqrt{b})}{(\sqrt{a}-\sqrt{b})(\sqrt{a}+\sqrt{b})} \\ & = \frac{c(\sqrt{a}+\sqrt{b})}{a-b}. \end{aligned}$$

$$(2) \quad x^4 - 5x^2 + 4 = (x^2)^2 - 5x^2 + 4 \\ = (x^2 - 1)(x^2 - 4) \\ = (x+1)(x-1)(x+2)(x-2). \quad \dots (\text{答})$$

$$\begin{aligned} \blacklozenge \quad & x^2 = A \text{ とおくと,} \\ & x^4 - 5x^2 + 4 = A^2 - 5A + 4 \\ & = (A-1)(A-4). \end{aligned}$$

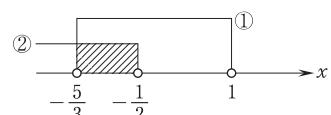
$$(3) \quad \begin{cases} |3x+1| < 4, \\ 2x+1 < 0. \end{cases} \quad \dots (1) \quad \dots (2)$$

$$\blacklozenge \quad x^2 - y^2 = (x+y)(x-y).$$

①より,

$$\begin{aligned} -4 &< 3x+1 < 4. \\ -5 &< 3x < 3. \\ -\frac{5}{3} &< x < 1. \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \blacklozenge \quad & \text{正の定数 } a \text{ に対して,} \\ & |x| < a \iff -a < x < a. \\ \blacklozenge \quad & ① \text{ と } ② \text{ の範囲を数直線上に表すと,} \\ & \text{次のようになる.} \end{aligned}$$



②より,

$$x < -\frac{1}{2}.$$

よって、連立不等式①かつ②の解は、

$$-\frac{5}{3} < x < -\frac{1}{2}. \quad \cdots(\text{答})$$

◆ (3)の①を解く別解が後にあります。

(4)  $1 + \tan^2 \theta = \frac{1}{\cos^2 \theta}$  であるから、 $\tan \theta = 2$  のとき、

$$\begin{aligned}\cos^2 \theta &= \frac{1}{1 + \tan^2 \theta} \\ &= \frac{1}{1 + 2^2} \\ &= \frac{1}{5}.\end{aligned}$$

$0^\circ < \theta < 90^\circ$  より  $\cos \theta > 0$  であるから、

$$\cos \theta = \frac{1}{\sqrt{5}}.$$

よって、

$$\begin{aligned}\sin(90^\circ - \theta) &= \cos \theta \\ &= \frac{1}{\sqrt{5}}. \quad \cdots(\text{答})\end{aligned}$$

◆  $1 + \tan^2 \theta = \frac{\cos^2 \theta + \sin^2 \theta}{\cos^2 \theta} = \frac{1}{\cos^2 \theta}$ .

(5) 出た目の数の積が3の倍数となるのは、2回のうち少なくとも1回3または6の目が出る場合である。この事象の余事象は、2回とも3と6以外の目が出ることであり、その確率は、

$$\left(\frac{4}{6}\right)^2 = \frac{4}{9}.$$

よって、求める確率は、

$$1 - \frac{4}{9} = \frac{5}{9}. \quad \cdots(\text{答})$$

◆  $\sin(90^\circ - \theta) = \cos \theta$ .

◆ (4)の別解が後にあります。

#### 余事象の確率

事象Aの余事象を $\bar{A}$ とすると、  
 $P(A) = 1 - P(\bar{A})$

である。

(6) 集合Aの要素の個数を $n(A)$ のように表すことにすると、

$$\begin{aligned}n(\bar{A} \cap \bar{B}) &= n(\bar{A} \cup \bar{B}) \\ &= n(U) - n(A \cup B) \\ &= n(U) - \{n(A) + n(B) - n(A \cap B)\}.\end{aligned}$$

$$A \cap B = \{x \mid x \text{は } 15 \text{の倍数}, x \in U\}$$

であり、

$$\begin{cases} 200 \text{を } 3 \text{で割った商が } 66 \text{より, } n(A) = 66. \\ 200 \text{を } 5 \text{で割った商が } 40 \text{より, } n(B) = 40. \\ 200 \text{を } 15 \text{で割った商が } 13 \text{より, } n(A \cap B) = 13. \end{cases}$$

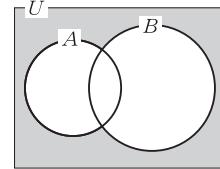
また、 $n(U) = 200$ より、

$$\begin{aligned}n(\bar{A} \cap \bar{B}) &= n(U) - \{n(A) + n(B) - n(A \cap B)\} \\ &= 200 - (66 + 40 - 13) \\ &= 107. \quad \cdots(\text{答})\end{aligned}$$

◆ (5)の別解が後にあります。

#### ド・モルガンの法則

$$\bar{A} \cap \bar{B} = \bar{A} \cup \bar{B}.$$



◆  $n(A \cup B) = n(A) + n(B) - n(A \cap B)$ .

$$\◆ 200 = 3 \cdot \underline{66} + 2$$

から、

Aの要素は、

$$3 \cdot 1, 3 \cdot 2, 3 \cdot 3, \dots, 3 \cdot \underline{66}$$

であり、

$$n(A) = \underline{66}$$

とわかる。

【(3) の ① を解く別解】

$$|3x+1| < 4. \quad \cdots \textcircled{1}$$

(ア)  $3x+1 \geq 0$ , すなわち  $x \geq -\frac{1}{3}$  のとき

$$|3x+1| < 4$$

より,

$$3x+1 < 4.$$

$$3x < 3.$$

$$x < 1.$$

$x \geq -\frac{1}{3}$  より

$$-\frac{1}{3} \leq x < 1.$$

(イ)  $3x+1 < 0$ , すなわち  $x < -\frac{1}{3}$  のとき

$$|3x+1| < 4$$

より,

$$-(3x+1) < 4.$$

$$-3x < 5.$$

$$x > -\frac{5}{3}.$$

$x < -\frac{1}{3}$  より

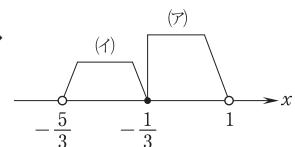
$$-\frac{5}{3} < x < -\frac{1}{3}.$$

(ア), (イ) より, ①の解は,

$$-\frac{5}{3} < x < 1.$$

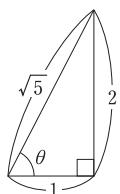
((3) の ① を解く別解終り)

◆  $X \geq 0$  のとき,  
 $|X| = X.$   
 $X < 0$  のとき,  
 $|X| = -X.$



【(4) の別解】

$\theta$  は次図の角である。



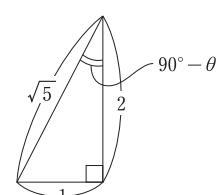
$$\tan \theta = 2 \quad (0^\circ < \theta < 90^\circ)$$

よって,

$$\sin(90^\circ - \theta) = \cos \theta$$

$$= \frac{1}{\sqrt{5}}.$$

((4) の別解終り)



---

【(5) の別解】

事象  $E, F$  を

$E$  : 「1回目に 3 または 6 の目が出る」,

$F$  : 「2回目に 3 または 6 の目が出る」

とすると、求める確率は、

$$\begin{aligned} P(E \cup F) &= P(E) + P(F) - P(E \cap F) \\ &= \frac{2}{6} + \frac{2}{6} - \left(\frac{2}{6}\right)^2 \\ &= \frac{1}{3} + \frac{1}{3} - \frac{1}{9} \\ &= \frac{5}{9}. \end{aligned}$$

((5) の別解終り)

---

———— ポイントチェック ————

- (1)  $\frac{1}{\sqrt{3}+1}$  の分母を有理化せよ.
- (2)  $x^4 - 10x^2 + 9$  を因数分解せよ.
- (3) 不等式  $|2x+1| < 1$  を解け.
- (4)  $0^\circ < \theta < 90^\circ$  とする.  $\tan \theta = 3$  のとき  $\cos \theta$  の値を求めよ.
- (5) 1つのサイコロを 2 回振るとき、出た目の数の積が 2 の倍数となる確率を求めよ.
- (6)  $U = \{x \mid x \text{ は } 100 \text{ 以下の自然数}\}$  を全体集合とし、 $U$  の部分集合  
 $A = \{x \mid x \text{ は } 2 \text{ の倍数}, x \in U\},$   
 $B = \{x \mid x \text{ は } 7 \text{ の倍数}, x \in U\}$   
を考える。集合  $A \cup B$  の要素の個数を求めよ。

(答)

- (1)  $\frac{\sqrt{3}-1}{2}.$
- (2)  $(x+1)(x-1)(x+3)(x-3).$
- (3)  $-1 < x < 0.$
- (4)  $\frac{1}{\sqrt{10}}.$
- (5)  $\frac{3}{4}.$
- (6) 57.

## 2 【数学A 場合の数 / 数学I 三角比】

[1] 箱の中にカードが12枚あり、それぞれに数字が1つずつ色インクで書かれている。各カードに書かれている数字は、

赤の1, 赤の2, 赤の3,

青の1, 青の2, 青の3, 青の4,

白の1, 白の2, 白の3, 白の4, 白の5

である。

この箱の中から同時に3枚のカードを取り出す。

- (1) 取り出し方は何通りあるか。
- (2) 3枚とも同じ色の数字が書かれたカードである取り出し方は何通りあるか。
- (3) 3枚に書かれた数の和が6である取り出し方は何通りあるか。

[2] 三角形ABCがあり、

$$AB = 4, CA = 5, \cos \angle BAC = -\frac{1}{5}$$

である。

- (1) 辺BCの長さを求めよ。
- (2)  $\sin \angle BAC$ の値と、三角形ABCの面積を求めよ。
- (3) 三角形ABCの外接円のAを含まない方の弧BC上に、点Dを、線分BD, CDの長さの比が  $BD:CD=2:5$ となるようにとる。三角形BDCの内接円の半径を求めよ。

● ● ○ 配点 (70点) [1] 35点 [2] 35点 ○ ○ ●

[1] (1) 8点 (2) 12点 (3) 15点 [2] (1) 8点 (2) 12点 (3) 15点

● ● ○ 問題のレベル ○ ○ ●

[1] (1) 基本 (2) 標準 (3) 応用 [2] (1) 基本 (2) 基本 (3) 応用

解 答

[1] 赤の1が書かれたカードを「赤1」のように表すことにする。

箱の中には、次の12枚のカードがある。

赤1	赤2	赤3		
青1	青2	青3		
白1	白2	白3	白4	白5

(1) 異なる12枚のカードから異なる3枚のカードを取り出すので、

$$\begin{aligned} {}_{12}C_3 &= \frac{12 \cdot 11 \cdot 10}{3 \cdot 2 \cdot 1} \\ &= 220 \text{ (通り).} \end{aligned} \quad \dots \text{(答)}$$

組合せ

異なるn個のものからr個を取り出でできる組合せの総数は、

$${}_nC_r = \frac{n(n-1)\cdots(n-r+1)}{r(r-1)\cdots2 \cdot 1}.$$

(2) 3枚とも同じ色の数字のカードであるのは,

赤のカードを3枚取り出す,

または

青のカードを3枚取り出す,

または

白のカードを3枚取り出す

のいずれかの場合であるから、求める場合の数は

$$\begin{aligned} {}_3C_3 + {}_4C_3 + {}_5C_3 &= 1 + 4 + 10 \\ &= 15 \text{ (通り).} \end{aligned} \quad \cdots(\text{答})$$

(3) 3枚のカードに書かれた数の和が6となるような3つの数の組合せは,

- (ア) {1, 1, 4}, (イ) {1, 2, 3}, (ウ) {2, 2, 2}

である。

(ア)のとき,

赤1 [ 青1 ] [ 白1 ] の3枚から2枚を,

[ 青4 ] [ 白4 ] の2枚から1枚を取り出す

場合であるから,

$${}_3C_2 \cdot {}_2C_1 = 3 \cdot 2 = 6 \text{ (通り)}$$

ある。

(イ)のとき,

赤1 [ 青1 ] [ 白1 ] の3枚から1枚を,

赤2 [ 青2 ] [ 白2 ] の3枚から1枚を,

赤3 [ 青3 ] [ 白3 ] の3枚から1枚を取り出す

場合であるから,

$${}_3C_1 \cdot {}_3C_1 \cdot {}_3C_1 = 3^3 = 27 \text{ (通り)}$$

ある。

(ウ)のとき,

赤2 [ 青2 ] [ 白2 ] の3枚から3枚を取り出す

場合であるから,

$${}_3C_3 = 1 \text{ (通り)}$$

ある。

以上より、求める場合の数は

$$6 + 27 + 1 = 34 \text{ (通り).} \quad \cdots(\text{答})$$

### — 和の法則 —

2つの事柄 A, B について、これらは同時に起こらないとする。A の起こり方が  $m$  通り、B の起こり方が  $n$  通りあるとき、A または B の起こる場合の数は、

$$m+n \text{ 通り}$$

である。

### — 積の法則 —

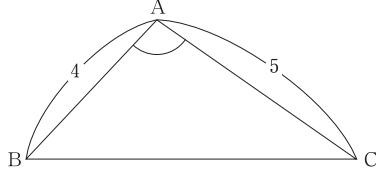
事柄 A の起こり方が  $m$  通りあり、そのおののの場合について、事柄 B の起こり方が  $n$  通りあるとき、A と B がともに起こる場合の数は、

$$mn \text{ 通り}$$

である。

[ 2 ]

(1)



三角形 ABC において、余弦定理より

$$\begin{aligned} BC^2 &= AB^2 + CA^2 - 2AB \cdot CA \cos \angle BAC \\ &= 4^2 + 5^2 - 2 \cdot 4 \cdot 5 \left( -\frac{1}{5} \right) \\ &= 49. \end{aligned}$$

よって、

$$BC = 7. \quad \cdots(\text{答})$$

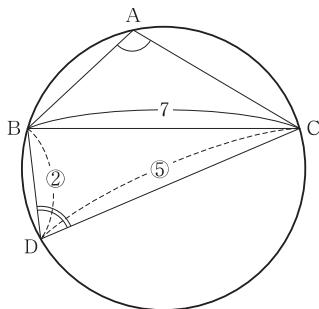
(2)  $\sin \angle BAC > 0$  であるから、

$$\begin{aligned} \sin \angle BAC &= \sqrt{1 - \cos^2 \angle BAC} \\ &= \sqrt{1 - \left( -\frac{1}{5} \right)^2} \\ &= \frac{2\sqrt{6}}{5}. \end{aligned} \quad \cdots(\text{答})$$

また、三角形 ABC の面積は

$$\begin{aligned} \frac{1}{2} AB \cdot CA \sin \angle BAC &= \frac{1}{2} \cdot 4 \cdot 5 \cdot \frac{2\sqrt{6}}{5} \\ &= 4\sqrt{6}. \end{aligned} \quad \cdots(\text{答})$$

(3)



四角形 ABCD は円に内接するので、

$$\angle BAC + \angle BDC = 180^\circ.$$

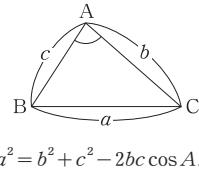
よって、

$$\begin{aligned} \cos \angle BDC &= \cos(180^\circ - \angle BAC) \\ &= -\cos \angle BAC \\ &= -\frac{1}{5}. \end{aligned}$$

また、 $BD : CD = 2 : 5$  より、

$$BD = 2x, \quad CD = 5x \quad (x > 0)$$

余弦定理

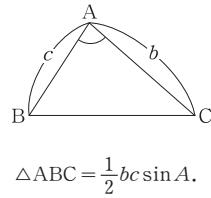


$$a^2 = b^2 + c^2 - 2bc \cos A.$$

◆  $0^\circ < \angle BAC < 180^\circ$  より、  
 $\sin \angle BAC > 0$ .

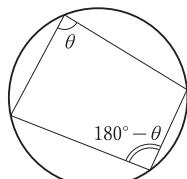
◆  $\sin^2 \theta + \cos^2 \theta = 1$ .

三角形の面積



$$\triangle ABC = \frac{1}{2} bc \sin A.$$

円に内接する四角形



四角形が円に内接しているとき、  
対角の和は  $180^\circ$  である。

◆  $\cos(180^\circ - \theta) = -\cos \theta$ .

とおくと、三角形 BDCにおいて、余弦定理より

$$BC^2 = BD^2 + CD^2 - 2 \cdot BD \cdot CD \cos \angle BDC.$$

$$7^2 = (2x)^2 + (5x)^2 - 2 \cdot 2x \cdot 5x \cdot \frac{1}{5}.$$

$$49 = 25x^2.$$

$$x^2 = \frac{49}{25}.$$

$x > 0$  より、

$$x = \frac{7}{5}.$$

よって、

$$BD = \frac{14}{5}, \quad CD = 7.$$

さらに、

$$\begin{aligned} \sin \angle BDC &= \sin(180^\circ - \angle BAC) \\ &= \sin \angle BAC \\ &= \frac{2\sqrt{6}}{5} \end{aligned}$$

◆  $\sin(180^\circ - \theta) = \sin \theta.$

であり、三角形 BDC の面積を  $S$  とすると、

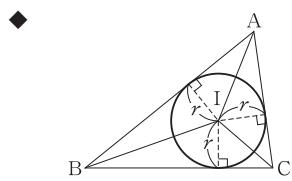
$$\begin{aligned} S &= \frac{1}{2} BD \cdot CD \sin \angle BDC \\ &= \frac{1}{2} \cdot \frac{14}{5} \cdot 7 \cdot \frac{2\sqrt{6}}{5} \\ &= \frac{98}{25} \sqrt{6}. \end{aligned}$$

三角形 BDC の内接円の半径を  $r$  とすると、

$$\frac{1}{2}(BC + BD + CD)r = S$$

より、

$$\begin{aligned} \frac{1}{2} \left( 7 + \frac{14}{5} + 7 \right) r &= \frac{98}{25} \sqrt{6}. \\ r &= \frac{7\sqrt{6}}{15}. \end{aligned} \quad \dots (\text{答})$$



三角形 ABC の内接円の中心を I,

半径を  $r$  とするとき、

$$\begin{aligned} \triangle ABC &= \triangle IAB + \triangle IBC + \triangle ICA \\ &= \frac{1}{2} AB \cdot r + \frac{1}{2} BC \cdot r + \frac{1}{2} CA \cdot r \\ &= \frac{1}{2} (AB + BC + CA) r. \end{aligned}$$

———— ポイントチェック ———

[1] 箱の中にカードが9枚あり、それぞれに数字が1つずつ色印で書かれている。各カードに書かれている数字は、

赤の1, 赤の2,  
青の1, 青の2, 青の3,  
白の1, 白の2, 白の3, 白の4

である。

この箱の中から同時に3枚のカードを取り出す。

- (1) 取り出し方は何通りあるか。
- (2) 3枚とも同じ色の数字が書かれたカードである取り出し方は何通りあるか。
- (3) 3枚に書かれた数の和が5である取り出し方は何通りあるか。

[2] 三角形ABCがあり、

$$AB = 2, CA = 3, \cos \angle BAC = -\frac{1}{4}$$

である。

- (1) 辺BCの長さを求めよ。
- (2)  $\sin \angle BAC$ の値と、三角形ABCの面積を求めよ。

(答)

[1]

- (1) 84通り。
- (2) 5通り。
- (3) 15通り。

[2]

- (1) 4.
- (2)  $\sin \angle BAC = \frac{\sqrt{15}}{4}$ ,  
 $\triangle ABC = \frac{3\sqrt{15}}{4}$ .

### 3 【数学 I 2 次関数】

$a$  を正の定数とし,  $xy$  平面上に

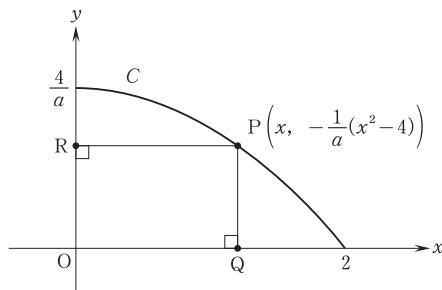
$$\text{曲線 } C : y = -\frac{1}{a}(x^2 - 4) \quad (0 \leq x \leq 2)$$

がある.

$C$  上を動く点  $P\left(x, -\frac{1}{a}(x^2 - 4)\right)$  に対して,  $P$  から  $x$  軸に下ろした垂線と  $x$  軸の交点を  $Q$ ,  $P$  から  $y$  軸に下ろした垂線と  $y$  軸の交点を  $R$  とし,

$$L(x) = PQ + PR \quad (0 \leq x \leq 2)$$

とする.



- (1)  $a=1$  のとき,  $L(x)$  を  $x$  の式で表し,  $L(x)$  のとり得る値の範囲を求めよ.
- (2)  $L(x)$  の最大値  $M$  を求めよ.
- (3)  $L(x)$  の最小値  $m$  を求めよ.
- (4) (2) の  $M$ , (3) の  $m$  に対して,  $M-m=\frac{3}{2}$  となる  $a$  の値を求めよ.

● ● ○ 配 点 (50 点) ○ ○ ●

- (1) 13 点 (2) 15 点 (3) 12 点 (4) 10 点

● ● ○ 問題のレベル ○ ○ ●

- (1) 基本 (2) 標準 (3) 応用 (4) 発展

解 答

- (1)  $a=1$  のとき,

$$P(x, -x^2 + 4)$$

であるから,

$$PQ = -x^2 + 4, \quad PR = x.$$

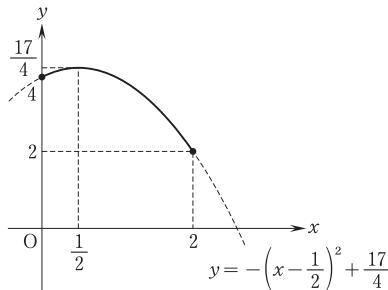
よって,

$$\begin{aligned}
 L(x) &= PQ + PR \\
 &= (-x^2 + 4) + x \\
 &= -x^2 + x + 4. \quad \cdots(\text{答})
 \end{aligned}$$

これより,

$$L(x) = -\left(x - \frac{1}{2}\right)^2 + \frac{17}{4} \quad (0 \leq x \leq 2)$$

であるから,  $y = L(x)$  のグラフは次の図の太線部である.



よって,  $L(x)$  のとり得る値の範囲は,

$$2 \leq L(x) \leq \frac{17}{4}. \quad \cdots(\text{答})$$

(2)

道しるべ

放物線  $y = -\frac{1}{a}x^2 + x + \frac{4}{a}$  の軸が  $a$  の値により変わるので,  $L(x)$  の最大値を求めるためには, 軸の位置での場合分けが必要となる. (3)で最小値を求めるときも同じ.

$$PQ = -\frac{1}{a}(x^2 - 4), \quad PR = x$$

であるから,

$$\begin{aligned}
 L(x) &= PQ + PR \\
 &= -\frac{1}{a}(x^2 - 4) + x \\
 &= -\frac{1}{a}x^2 + x + \frac{4}{a} \\
 &= -\frac{1}{a}\left(x - \frac{a}{2}\right)^2 + \frac{a}{4} + \frac{4}{a}. \quad (0 \leq x \leq 2)
 \end{aligned}$$

◆ 2次関数

$$y = a(x - p)^2 + q$$

のグラフは放物線であり,

頂点は点  $(p, q)$ ,

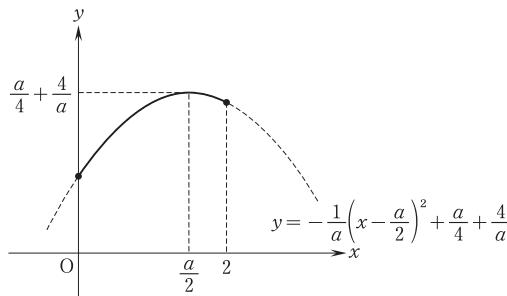
軸は直線  $x = p$

である.

$$\blacklozenge \quad L(2) = -2^2 + 2 + 4 = 2.$$

(ア)  $0 < \frac{a}{2} \leq 2$ , すなわち  $0 < a \leq 4$  のとき

$y = L(x)$  のグラフは, 次の図の太線部である.

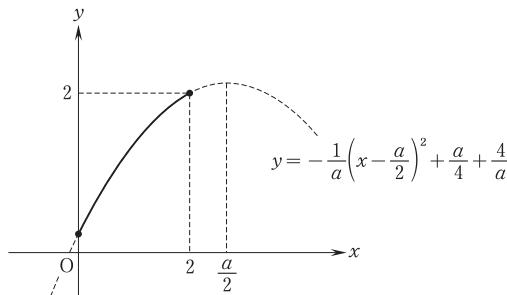


よって,  $L(x)$  の最大値  $M$  は,

$$M = L\left(\frac{a}{2}\right) = \frac{a}{4} + \frac{4}{a}.$$

(イ)  $2 < \frac{a}{2}$ , すなわち  $4 < a$  のとき

$y = L(x)$  のグラフは, 次の図の太線部である.



よって,  $L(x)$  の最大値  $M$  は,

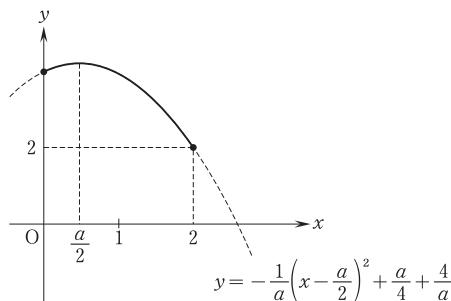
$$M = L(2) = 2.$$

(ア), (イ) より,

$$M = \begin{cases} \frac{a}{4} + \frac{4}{a} & (0 < a \leq 4 \text{ のとき}), \\ 2 & (4 < a \text{ のとき}). \end{cases} \quad \dots \text{(答)}$$

(3)(ウ)  $0 < \frac{a}{2} \leq 1$ , すなわち  $0 < a \leq 2$  のとき

$y = L(x)$  のグラフは, 次の図の太線部である.



◆ 放物線の軸  $x = \frac{a}{2}$  が,  $0 \leq x \leq 2$

の範囲に含まれる場合である.

◆ 放物線の軸  $x = \frac{a}{2}$  が,  $0 \leq x \leq 2$

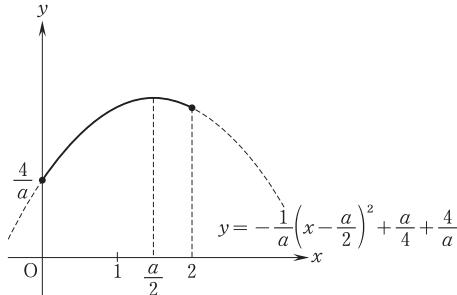
の範囲に含まれない場合である.

よって,  $L(x)$  の最小値  $m$  は,

$$m = L(2) = 2.$$

(エ)  $1 < \frac{a}{2}$ , すなわち  $2 < a$  のとき

$y = L(x)$  のグラフは, 次の図の太線部である.



よって,  $L(x)$  の最小値  $m$  は,

$$m = L(0) = \frac{4}{a}.$$

(イ), (エ) より,

$$m = \begin{cases} 2 & (0 < a \leq 2 \text{ のとき}), \\ \frac{4}{a} & (2 < a \text{ のとき}). \end{cases} \quad \dots(\text{答})$$

(4) 道しるべ

(2) と (3) の結果より,  $M - m$  は,  $0 < a \leq 2$ ,  $2 < a \leq 4$ ,  $4 < a$  の 3 つの場合に分けて考える.

(オ)  $0 < a \leq 2$  のとき

$$M = \frac{a}{4} + \frac{4}{a}, \quad m = 2$$

である. これらを

$$M - m = \frac{3}{2}$$

に代入して,

$$\left( \frac{a}{4} + \frac{4}{a} \right) - 2 = \frac{3}{2}.$$

$$\frac{a}{4} + \frac{4}{a} - \frac{7}{2} = 0.$$

$$a^2 - 14a + 16 = 0.$$

$$a = 7 \pm \sqrt{33}.$$

$0 < a \leq 2$  より,

$$a = 7 - \sqrt{33}.$$

(カ)  $2 < a \leq 4$  のとき

$$M = \frac{a}{4} + \frac{4}{a}, \quad m = \frac{4}{a}$$

◆ 放物線の軸  $x = \frac{a}{2}$  が,  $0 \leq x \leq 2$  の

範囲の中央 ( $x = 1$ ) より右側にある場合である.

2 次方程式の解の公式

2 次方程式

$$ax^2 + 2b'x + c = 0$$

( $a, b', c$  は実数の定数)

の解は,

$$x = \frac{-b' \pm \sqrt{b'^2 - ac}}{a}.$$

◆  $5 < \sqrt{33} < 6$  より,

$$1 < 7 - \sqrt{33} < 2$$

である.

である。これらを

$$M - m = \frac{3}{2}$$

に代入して、

$$\left(\frac{a}{4} + \frac{4}{a}\right) - \frac{4}{a} = \frac{3}{2}.$$

$$\frac{a}{4} = \frac{3}{2}.$$

$$a = 6.$$

これは、 $2 < a \leq 4$  を満たさず不適。

(キ)  $4 < a$  のとき

$$M = 2, \quad m = \frac{4}{a}$$

である。これらを

$$M - m = \frac{3}{2}$$

に代入して、

$$2 - \frac{4}{a} = \frac{3}{2}.$$

$$\frac{1}{2} = \frac{4}{a}.$$

$$a = 8.$$

( $4 < a$  を満たす。)

(オ), (カ), (キ) より、求める  $a$  の値は、

$$a = 7 - \sqrt{33}, \quad 8. \quad \cdots \text{(答)}$$

### ポイントチェック

$a$  は正の定数とする。2次関数

$$f(x) = x^2 - 2ax + a + 1 \quad (0 \leq x \leq 2)$$

がある。

- (1)  $a = \frac{1}{2}$  のとき、 $f(x)$  のとり得る値の範囲を求めよ。
- (2)  $f(x)$  の最小値を求めよ。
- (3)  $f(x)$  の最大値を求めよ。

(答)

(1)  $\frac{5}{4} \leq f(x) \leq \frac{7}{2}.$

(2)  $\begin{cases} 0 < a \leq 2 \text{ のとき, } -a^2 + a + 1, \\ 2 < a \text{ のとき, } -3a + 5. \end{cases}$

(3)  $\begin{cases} 0 < a \leq 1 \text{ のとき, } -3a + 5, \\ 1 < a \text{ のとき, } a + 1. \end{cases}$

## 4 【数学Ⅱ 複素数と方程式、式と証明】

$k$  を実数の定数とし、 $x$  の 2 次方程式

$$x^2 + 3kx + 3k^2 - 4 = 0 \quad \cdots (*)$$

の 2 解を  $\alpha, \beta$  とする。

(1)  $k = -3$  のとき、(\*) を解け。

(2)(i)  $\alpha + \beta, \alpha\beta$  を  $k$  を用いて表せ。

(ii)  $\alpha, \beta$  が異なる正の数であるような  $k$  の値の範囲を求めよ。

(3)  $k$  が(2)(ii)で求めた範囲を変化するとき、 $\alpha^2 + \beta^2 + \frac{4}{\alpha\beta}$  の最小値と、そのときの  $k$  の値を求めよ。

### ● ● ○ 配点 (50 点)

- (1) 7 点 (2)(i) 10 点 (ii) 15 点 (3) 18 点

### ● ● ○ 問題のレベル

- (1) 基本 (2)(i) 基本 (ii) 応用 (3) 発展

## 解 答

- (1)  $k = -3$  のとき、(\*) は、

$$x^2 - 9x + 23 = 0.$$

これを解いて、

$$\begin{aligned} x &= \frac{9 \pm \sqrt{(-9)^2 - 4 \cdot 1 \cdot 23}}{2} \\ &= \frac{9 \pm \sqrt{11}i}{2}. \end{aligned} \quad \cdots (\text{答})$$

- (2)(i)  $x^2 + 3kx + 3k^2 - 4 = 0. \quad \cdots (*)$

(\*) の 2 解が  $\alpha, \beta$  であるから、解と係数の関係より、

$$\begin{cases} \alpha + \beta = -3k, \\ \alpha\beta = 3k^2 - 4. \end{cases} \quad \cdots (\text{答})$$

(ii) 道しるべ

2 次方程式が異なる正の 2 解  $\alpha, \beta$  をもつための条件は、  
(判別式)  $> 0$ , かつ  $\alpha + \beta > 0$ , かつ  $\alpha\beta > 0$   
である。

(\*) の 2 解  $\alpha, \beta$  が異なる正の数であるための条件は、(\*) の判別式を  $D$  として、

### 2 次方程式の解の公式

2 次方程式  $ax^2 + bx + c = 0$

( $a, b, c$  は実数の定数)

の解は、

$$x = \frac{-b \pm \sqrt{b^2 - 4ac}}{2a}.$$

◆  $a > 0$  のとき、

$\sqrt{-a} = \sqrt{a}i$ . ( $i$  は虚数単位)

### 2 次方程式の解と係数の関係

2 次方程式  $ax^2 + bx + c = 0$

の 2 解を  $\alpha, \beta$  とすると、

$$\begin{cases} \alpha + \beta = -\frac{b}{a}, \\ \alpha\beta = \frac{c}{a} \end{cases}$$

が成り立つ。

$$\begin{cases} D > 0, \\ \alpha + \beta > 0, \\ \alpha\beta > 0 \end{cases} \quad \begin{array}{l} \cdots(1) \\ \cdots(2) \\ \cdots(3) \end{array}$$

が成り立つことである。

$$\begin{aligned} D &= (3k)^2 - 4(3k^2 - 4) \\ &= -3k^2 + 16 \end{aligned}$$

であるから、(1)より、

$$-3k^2 + 16 > 0.$$

$$k^2 < \frac{16}{3}.$$

$$-\frac{4}{\sqrt{3}} < k < \frac{4}{\sqrt{3}}. \quad \cdots(1')$$

また、(2)(i)の結果より、(2)は、

$$-3k > 0.$$

$$k < 0. \quad \cdots(2)'$$

(3)は、

$$3k^2 - 4 > 0. \quad \cdots(3)'$$

$$k^2 > \frac{4}{3}.$$

$$k < -\frac{2}{\sqrt{3}}, \quad \frac{2}{\sqrt{3}} < k. \quad \cdots(3)''$$

(1)'かつ(2)'かつ(3)''より、求める $k$ の値の範囲は、

$$-\frac{4}{\sqrt{3}} < k < -\frac{2}{\sqrt{3}}. \quad \cdots(\text{答})$$

(3)

道しるべ

$\alpha^2 + \beta^2 + \frac{4}{\alpha\beta}$ は、 $\alpha, \beta$ についての対称式であるから、

(2)(i)の結果を用いて、 $\alpha^2 + \beta^2 + \frac{4}{\alpha\beta}$ を $k$ で表してみる。

(2)(i)の結果を用いて、

$$\begin{aligned} \alpha^2 + \beta^2 + \frac{4}{\alpha\beta} &= (\alpha + \beta)^2 - 2\alpha\beta + \frac{4}{\alpha\beta} \\ &= (-3k)^2 - 2(3k^2 - 4) + \frac{4}{3k^2 - 4} \\ &= 3k^2 + 8 + \frac{4}{3k^2 - 4} \\ &= 3k^2 - 4 + \frac{4}{3k^2 - 4} + 12. \end{aligned}$$

ここで、(3)'より、

$$3k^2 - 4 > 0, \quad \frac{4}{3k^2 - 4} > 0$$

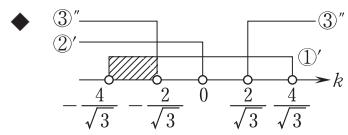
解の判別

2次方程式  
 $ax^2 + bx + c = 0$   
 $(a, b, c$ は実数の定数)  
 について、 $D = b^2 - 4ac$ とおくと、  
 この方程式は、

$D > 0$ のとき、異なる2個の実数解、 $D = 0$ のとき、(実数の)重解、 $D < 0$ のとき、異なる2個の虚数解	をもつ。また、 $D$ をこの方程式の判別式とよぶ。
---	----------------------------

◆  $\alpha + \beta = -3k$ .

◆  $\alpha\beta = 3k^2 - 4$ .



◆ (2)(ii)の別解が後にあります。

◆  $(\alpha + \beta)^2 = \alpha^2 + \beta^2 + 2\alpha\beta$ より、  
 $\alpha^2 + \beta^2 = (\alpha + \beta)^2 - 2\alpha\beta$ .

◆ 相加平均と相乗平均の大小関係を利用して最小値が求められるように、  
 $3k^2 + 8 = (3k^2 - 4) + 12$ とした。

であるから、相加平均と相乗平均の大小関係を用いて、

$$\begin{aligned} 3k^2 - 4 + \frac{4}{3k^2 - 4} + 12 &\geq 2\sqrt{(3k^2 - 4) \cdot \frac{4}{3k^2 - 4}} + 12 \\ &= 2 \cdot 2 + 12 \\ &= 16. \end{aligned}$$

したがって、

$$\alpha^2 + \beta^2 + \frac{4}{\alpha\beta} \geq 16.$$

等号が成り立つのは、

$$3k^2 - 4 = \frac{4}{3k^2 - 4}$$

のときであり、これより、

$$(3k^2 - 4)^2 = 4.$$

$3k^2 - 4 > 0$  より、

$$3k^2 - 4 = 2.$$

$$k^2 = 2.$$

$$k = \pm\sqrt{2}.$$

(2)(ii) の結果の  $-\frac{4}{\sqrt{3}} < k < -\frac{2}{\sqrt{3}}$  より、

$$k = -\sqrt{2}.$$

よって、 $\alpha^2 + \beta^2 + \frac{4}{\alpha\beta}$  の最小値は、

16.

…(答)

そのときの  $k$  の値は、

$$k = -\sqrt{2}.$$

…(答)

### 【(2)(ii) の別解】

$$x^2 + 3kx + 3k^2 - 4 = 0. \quad \dots (*)$$

(\*) の左辺を

$$f(x) = x^2 + 3kx + 3k^2 - 4$$

とおくと、

$$f(x) = \left(x + \frac{3k}{2}\right)^2 + \frac{3}{4}k^2 - 4.$$

(\*) の 2 解  $\alpha, \beta$  が異なる正の数であるための条件は、下に凸である放物線  $y = f(x)$  について、

$$\begin{cases} \text{頂点の } y \text{ 座標: } \frac{3}{4}k^2 - 4 < 0, & \dots (4) \\ \text{軸: } -\frac{3k}{2} > 0, & \dots (5) \\ \text{端点: } f(0) > 0 & \dots (6) \end{cases}$$

が成り立つことである。

### 相加平均と相乗平均の大小関係

$a > 0, b > 0$  のとき、

$$\frac{a+b}{2} \geq \sqrt{ab}$$

すなわち、

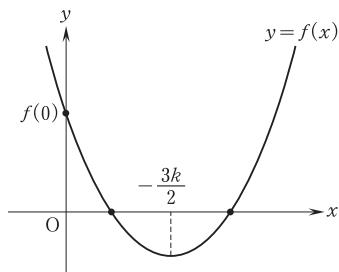
$$a+b \geq 2\sqrt{ab}$$

が成り立つ。

等号が成り立つのは、

$$a=b$$

のときである。



④ より,

$$k^2 < \frac{16}{3}.$$

$$-\frac{4}{\sqrt{3}} < k < \frac{4}{\sqrt{3}}. \quad \cdots (4')$$

⑤ より,

$$k < 0. \quad \cdots (5')$$

⑥ より,

$$3k^2 - 4 > 0.$$

$$k^2 > \frac{4}{3}.$$

$$k < -\frac{2}{\sqrt{3}}, \quad \frac{2}{\sqrt{3}} < k. \quad \cdots (6')$$

④'かつ⑤'かつ⑥'より、求める  $k$  の値の範囲は、

$$-\frac{4}{\sqrt{3}} < k < -\frac{2}{\sqrt{3}}.$$

((2)(ii) の別解終り)

(答)

$$(1) \quad x = \frac{3 \pm \sqrt{3}i}{2}.$$

$$(2)(i) \quad \begin{cases} \alpha + \beta = k, \\ \alpha\beta = k^2 - 6. \end{cases}$$

$$(ii) \quad \sqrt{6} < k < 2\sqrt{2}.$$

———— ポイントチェック ————

$k$  を実数の定数とし、 $x$  の 2 次方程式

$$x^2 - kx + k^2 - 6 = 0 \quad \cdots (*)$$

の 2 解を  $\alpha, \beta$  とする。

(1)  $k = 3$  のとき、(\*)を解け。

(2)(i)  $\alpha + \beta, \alpha\beta$  を  $k$  を用いて表せ。

(ii)  $\alpha, \beta$  が異なる正の数であるような  $k$  の値の範囲を求めよ。

## 5 【数学A 整数の性質】

- (1) 170 の正の約数の個数を求めよ.  
 (2)  $a$  は整数とする. 整数  $a^2+2a+2$  を 3 で割った余りを,  $a$  を 3 で割った余りで分類して求めよ.  
 (3) 等式

$$(a^2+2a+2)(a+3b)=170 \cdot 3^3$$

を満たす自然数  $a, b$  の組  $(a, b)$  をすべて求めよ.

● ● ● 配点 (50点) ● ● ●

- (1) 10点 (2) 18点 (3) 22点

● ● ● 問題のレベル ● ● ●

- (1) 基本 (2) 標準から応用 (3) 発展

解 答

- (1) 170 を素因数分解すると,

$$170 = 2 \cdot 5 \cdot 17$$

となる. よって, 170 の正の約数は,

$$2^p \cdot 5^q \cdot 17^r \quad (p, q, r \text{ は}, 0 \text{ または } 1)$$

の形で表せるから, 170 の正の約数の個数は,

$$2 \times 2 \times 2 = 8. \quad \dots \text{(答)}$$

- (2)  $k$  は整数とする.

- (ア)  $a=3k$  のとき

$$\begin{aligned} a^2 + 2a + 2 &= (3k)^2 + 2 \cdot 3k + 2 \\ &= 3(3k^2 + 2k) + 2 \quad (3k^2 + 2k \text{ は整数}) \end{aligned}$$

となるので,  $a^2 + 2a + 2$  を 3 で割った余りは 2 である.

- (イ)  $a=3k+1$  のとき

$$\begin{aligned} a^2 + 2a + 2 &= (3k+1)^2 + 2(3k+1) + 2 \\ &= 9k^2 + 12k + 5 \\ &= 3(3k^2 + 4k + 1) + 2 \quad (3k^2 + 4k + 1 \text{ は整数}) \end{aligned}$$

となるので,  $a^2 + 2a + 2$  を 3 で割った余りは 2 である.

- (ウ)  $a=3k+2$  のとき

$$\begin{aligned} a^2 + 2a + 2 &= (3k+2)^2 + 2(3k+2) + 2 \\ &= 9k^2 + 18k + 10 \\ &= 3(3k^2 + 6k + 3) + 1 \quad (3k^2 + 6k + 3 \text{ は整数}) \end{aligned}$$

となるので,  $a^2 + 2a + 2$  を 3 で割った余りは 1 である.

### 正の約数の個数

$N = a^p b^q c^r$  ( $a, b, c$  は異なる素数) と素因数分解できるとき,  $N$  の正の約数の個数は,  
 $(p+1)(q+1)(r+1)$  である.

- ◆ 170 の正の約数は,

$$\begin{aligned} 1, 2, 5, 17, \\ 2 \cdot 5, 2 \cdot 17, 5 \cdot 17, \\ 2 \cdot 5 \cdot 17 \end{aligned}$$

の 8 個である.

$$(1, 2, 5, 10, 17, 34, 85, 170)$$

- ◆ (イ) では,  $a$  を 3 で割った余りが 1 の場合を考えている.  $a=3k-2$  としてよい.

- ◆ (ウ) では,  $a$  を 3 で割った余りが 2 の場合を考えている.  $a=3k-1$  としてよい.

(ア), (イ), (ウ) より,  $a^2 + 2a + 2$  を 3 で割った余りは,

$$\begin{cases} 2 & (a \text{ を } 3 \text{ で割った余りが } 0, 1 \text{ のとき}), \\ 1 & (a \text{ を } 3 \text{ で割った余りが } 2 \text{ のとき}). \end{cases} \quad \dots(\text{答})$$

(3)

道しるべ

$$(a^2 + 2a + 2)(a + 3b) = 170 \cdot 3^3$$

より,  $a^2 + 2a + 2$  は  $170 \cdot 3^3$  の正の約数であるが, (2) の結果から,  $a^2 + 2a + 2$  は 3 で割り切れない. よって,  
 $a^2 + 2a + 2$  が  $170$  の正の約数である場合を考えればよい.

$a, b$  が自然数で,

$$(a^2 + 2a + 2)(a + 3b) = 170 \cdot 3^3 \quad \dots(1)$$

より,  $a^2 + 2a + 2$  は  $170 \cdot 3^3$  の正の約数である.

(2) の結果より,  $a^2 + 2a + 2$  は 3 で割り切れないから,  $170$  の約数であり,  $a \geq 1$  より  $a^2 + 2a + 2 \geq 5$  であるから,

$$a^2 + 2a + 2 = 5, 10, 17, 34, 85, 170. \quad \dots(2)$$

一方,  $a + 3b$  は  $3^3$  で割り切れることになり,

$$a + 3b = 3^3 n \quad (n \text{ は整数})$$

とおけるから,

$$a = 3(9n - b) \quad (9n - b \text{ は整数})$$

となる. これより  $a$  は 3 で割り切れ, (2) (ア) の結果より,

$$a^2 + 2a + 2 \text{ を } 3 \text{ で割った余りは } 2. \quad \dots(3)$$

②, ③ と,  $a \geq 3$  より,

$$a^2 + 2a + 2 = 17, 170.$$

(イ)  $a^2 + 2a + 2 = 17$  のとき

$$a^2 + 2a - 15 = 0.$$

$$(a+5)(a-3) = 0.$$

$a$  は自然数であるから,  $a = 3$  となり, ① より,

$$17(3+3b) = 170 \cdot 3^3.$$

$$1+b = 10 \cdot 3^2 (= 90).$$

$$b = 89.$$

(オ)  $a^2 + 2a + 2 = 170$  のとき

$$a^2 + 2a - 168 = 0.$$

$$(a+14)(a-12) = 0.$$

$a$  は自然数であるから,  $a = 12$  となり, ① より,

$$170(12+3b) = 170 \cdot 3^3$$

$$4+b = 3^2 (= 9).$$

$$b = 5.$$

(イ), (オ) より, ① を満たす自然数  $a, b$  の組  $(a, b)$  は,

$$(a, b) = (3, 89), (12, 5). \quad \dots(\text{答})$$

◆  $P, Q, R$  が整数で,

$$PQ = R$$

が成り立っているとき,  $P, Q$  は  $R$  の約数である.

◆  $a \geq 1$  より,

$$\begin{aligned} a^2 + 2a + 2 &\geq 1^2 + 2 \cdot 1 + 2 \\ &= 5. \end{aligned}$$

◆  $a$  は 3 で割り切れる自然数なので 3 以上であり,

$$\begin{aligned} a^2 + 2a + 2 &\geq 3^2 + 2 \cdot 3 + 2 \\ &= 17. \end{aligned}$$

【(3) の参考】

③を利用せず、②の6つの場合について調べると、次のようになる。

・ $a^2+2a+2=5$  のとき、 $a^2+2a-3=0$  より  $a=1$ .

①より、

$$1+3b=34 \cdot 3^3.$$

$$b=34 \cdot 3^2 - \frac{1}{3}. \quad (\text{不適})$$

・ $a^2+2a+2=10$  のとき、 $a^2+2a-8=0$  より  $a=2$ .

①より、

$$2+3b=17 \cdot 3^3.$$

$$b=17 \cdot 3^2 - \frac{2}{3}. \quad (\text{不適})$$

・ $a^2+2a+2=17$  のとき、 $a=3$ ,  $b=89$  が得られる。

・ $a^2+2a+2=34$  のとき、 $a^2+2a-32=0$  より

$$a = -1 \pm \sqrt{33}. \quad (\text{不適})$$

・ $a^2+2a+2=85$  のとき、 $a^2+2a-83=0$  より

$$a = -1 \pm 2\sqrt{21}. \quad (\text{不適})$$

・ $a^2+2a+2=170$  のとき、 $a=12$ ,  $b=5$  が得られる。

(3) の参考終り)

◆  $(a^2+2a+2)(a+3b)=170 \cdot 3^3$ .

…①

$a^2+2a+2=5, 10, 17, 34, 85, 170$ .

…②

$a^2+2a+2$  を 3 で割った余りは 2.

…③

———— ポイントチェック ————

(1) 180 の正の約数の個数を求めよ。

(2)  $a$  は整数とする。整数  $a^2+a+1$  を 3 で割った余りを、 $a$  を 3 で割った余りで分類して求めよ。

(答)

(1) 18.

(2)  $\begin{cases} 0 (a \text{ を } 3 \text{ で割った余りが } 1 \text{ のとき}), \\ 1 (a \text{ を } 3 \text{ で割った余りが } 0, 2 \text{ のとき}). \end{cases}$

## 6 【数学B 数列】

等差数列  $\{a_n\}$  ( $n=1, 2, 3, \dots$ ) があり,

$$a_1 = 1, \quad a_4 = 3$$

である。また、公比が実数である等比数列  $\{b_n\}$  ( $n=1, 2, 3, \dots$ ) があり,

$$b_1 + b_2 + b_3 = -\frac{2}{3}, \quad b_4 + b_5 + b_6 = \frac{2}{3}$$

である。

- (1) 一般項  $a_n$  を求めよ。
- (2) 一般項  $b_n$  を求めよ。
- (3) 数列  $\{a_n\}$  の項のうち整数でないものを、小さい順に並べてできる数列を  $\{c_n\}$  ( $n=1, 2, 3, \dots$ ) とし、数列  $\{d_n\}$  を

$$d_n = b_n + c_n \quad (n=1, 2, 3, \dots)$$

で定める。

- (i)  $d_{100}$  を求めよ。
- (ii) 数列  $\{d_n\}$  の初項から第  $n$  項までの和を  $S_n$  とする。 $S_n$  を求めよ。

● ● ○ 配点 (50点) ○ ○ ●

- (1) 8点 (2) 14点 (3)(i) 14点 (ii) 14点

● ● ○ 問題のレベル ○ ○ ●

- (1) 基本 (2) 標準 (3)(i) 応用 (ii) 発展

解 答

- (1) 等差数列  $\{a_n\}$  の公差を  $d$  とすると、 $a_1 = 1$  より、

$$a_n = 1 + (n-1)d.$$

$a_4 = 3$  より、

$$1 + 3d = 3.$$

$$d = \frac{2}{3}.$$

よって、

$$\begin{aligned} a_n &= 1 + (n-1) \cdot \frac{2}{3} \\ &= \frac{2}{3}n + \frac{1}{3}. \end{aligned} \quad \cdots (\text{答})$$

- (2) 等比数列  $\{b_n\}$  の公比を  $r$  とすると、

$$b_n = b_1 r^{n-1}.$$

$$b_1 + b_2 + b_3 = -\frac{2}{3}, \quad b_4 + b_5 + b_6 = \frac{2}{3} \text{ より,}$$

等差数列の一般項

初項  $a$ 、公差  $d$  の等差数列  $\{a_n\}$  の一般項  $a_n$  は、

$$a_n = a + (n-1)d.$$

等比数列の一般項

初項  $b$ 、公比  $r$  の等比数列  $\{b_n\}$  の一般項  $b_n$  は、

$$b_n = br^{n-1}.$$

$$\begin{cases} b_1 + b_1 r + b_1 r^2 = -\frac{2}{3}, \\ b_1 r^3 + b_1 r^4 + b_1 r^5 = \frac{2}{3} \end{cases}$$

すなわち,

$$\begin{cases} b_1(1+r+r^2) = -\frac{2}{3}, & \cdots ① \\ b_1(1+r+r^2)r^3 = \frac{2}{3}. & \cdots ② \end{cases}$$

①, ② より,

$$-\frac{2}{3}r^3 = \frac{2}{3}.$$

$$r^3 = -1.$$

$r$  は実数であるから,

$$r = -1.$$

① より,

$$b_1\{1+(-1)+(-1)^2\} = -\frac{2}{3}.$$

$$b_1 = -\frac{2}{3}.$$

よって,

$$b_n = -\frac{2}{3}(-1)^{n-1}. \quad \cdots (\text{答})$$

◆  $r^3 = -1$  を解くと,

$$r^3 + 1 = 0.$$

$$(r+1)(r^2 - r + 1) = 0.$$

$$r = -1, \quad \frac{1 \pm \sqrt{3}i}{2}.$$

◆  $b_n = \frac{2}{3}(-1)^n$  でもよい.

(3)(i) 道しるべ

$a_n = \frac{2}{3}n + \frac{1}{3} \left( = \frac{2n+1}{3} \right)$  が整数にならないための条件を求めるために,  $n$  を 3 で割った余りで分類する。

(1) の結果より,

$$a_n = \frac{2}{3}n + \frac{1}{3}.$$

以下,  $k$  を自然数とする.

(ア)  $n = 3k - 2$  のとき

$$\begin{aligned} a_n &= a_{3k-2} \\ &= \frac{2}{3}(3k-2) + \frac{1}{3} \\ &= 2k-1. \end{aligned}$$

◆ 自然数  $n$  は, 3 で割った余りで分類すると,

$$\begin{cases} n = 3k-2 & (k=1, 2, 3, \dots), \\ n = 3k-1 & (k=1, 2, 3, \dots), \\ n = 3k & (k=1, 2, 3, \dots) \end{cases}$$

と表される.

$k$  は自然数であるから,  $a_n$  は整数である.

(イ)  $n = 3k - 1$  のとき

$$\begin{aligned} a_n &= a_{3k-1} \\ &= \frac{2}{3}(3k-1) + \frac{1}{3} \\ &= 2k - \frac{1}{3}. \end{aligned}$$

$k$  は自然数であるから,  $a_n$  は整数でない。

(ウ)  $n = 3k$  のとき

$$\begin{aligned}a_n &= a_{3k} \\&= \frac{2}{3} \cdot 3k + \frac{1}{3} \\&= 2k + \frac{1}{3}.\end{aligned}$$

$k$  は自然数であるから,  $a_n$  は整数でない。

$\{a_n\}$  は公差が正の等差数列であるから,

$$a_n < a_{n+1} \quad (n = 1, 2, 3, \dots)$$

であり, (ア), (イ), (ウ) のうち,  $a_n$  が整数でないのは(イ), (ウ) であるから,

$$\begin{aligned}c_{2k-1} &= a_{3k-1} \\&= 2k - \frac{1}{3} \quad (k = 1, 2, 3, \dots),\end{aligned}$$

$$\begin{aligned}c_{2k} &= a_{3k} \\&= 2k + \frac{1}{3} \quad (k = 1, 2, 3, \dots)\end{aligned}$$

となる。よって,

$$\begin{aligned}d_{2k-1} &= b_{2k-1} + c_{2k-1} \\&= -\frac{2}{3}(-1)^{2k-2} + \left(2k - \frac{1}{3}\right) \\&= -\frac{2}{3} + \left(2k - \frac{1}{3}\right) \\&= 2k - 1, \quad \cdots(3)\end{aligned}$$

$$\begin{aligned}d_{2k} &= b_{2k} + c_{2k} \\&= -\frac{2}{3}(-1)^{2k-1} + \left(2k + \frac{1}{3}\right) \\&= \frac{2}{3} + \left(2k + \frac{1}{3}\right) \\&= 2k + 1 \quad \cdots(4)\end{aligned}$$

である。

$100 = 2 \cdot 50$  より, ④ から

$$\begin{aligned}d_{100} &= d_{2 \cdot 50} \\&= 2 \cdot 50 + 1 \\&= 101. \quad \cdots(\text{答})\end{aligned}$$

◆  $a_n$  が整数でないのは(イ), (ウ)の場合

であり,  $\{c_n\}$  の奇数番目は(イ)の  $a_n$ , 偶数番目は(ウ)の  $a_n$  である。

$$\begin{array}{ccccccccc}c_1, & c_2, & c_3, & c_4, & c_5, & c_6, & \dots \\|| & || & || & || & || & || & \dots \\a_2 & a_3 & a_5 & a_6 & a_8 & a_9 & \dots \\(\text{イ}) & (\text{ウ}) & (\text{イ}) & (\text{ウ}) & (\text{イ}) & (\text{ウ}) & \dots\end{array}$$

◆  $b_{2k-1} = -\frac{2}{3}(-1)^{2k-1-1} = -\frac{2}{3}(-1)^{2k-2}$ .

◆  $100 = 2 \cdot 50$  であるから,  $d_{100}$  は④で  $k = 50$  として求める。

(ii) 

$\{d_n\}$  の一般項を表す式は, 偶数番目と奇数番目で異なるので,  $S_n$  も「 $n$  が偶数のとき」と「 $n$  が奇数のとき」に分けて求める。

③, ④ より

$$\begin{cases} d_{2n-1} = 2n-1 & (n=1, 2, 3, \dots), \\ d_{2n} = 2n+1 & (n=1, 2, 3, \dots). \end{cases}$$

ここで,

$$p_n = d_{2n-1} + d_{2n} \quad (n=1, 2, 3, \dots)$$

とおくと,

$$\begin{aligned} p_n &= (2n-1) + (2n+1) \\ &= 4n \end{aligned}$$

より, 数列  $\{p_n\}$  は等差数列である.

以下,  $m$  を自然数とする.

$$S_{2m} = (d_1 + d_2) + (d_3 + d_4) + (d_5 + d_6) + \cdots + (d_{2m-1} + d_{2m})$$

$$= p_1 + p_2 + p_3 + \cdots + p_m$$

$$= \frac{m}{2}(p_1 + p_m)$$

$$= \frac{m}{2}(4 + 4m)$$

$$= 2m(m+1).$$

(イ)  $n$  が偶数のとき

$n = 2m$  と表せる.

$$\begin{aligned} S_n &= S_{2m} \\ &= 2m(m+1) \\ &= n\left(\frac{n}{2} + 1\right). \\ &= \frac{n^2 + 2n}{2}. \end{aligned}$$

(オ)  $n$  が奇数のとき

$n = 2m-1$  と表せる.

$$\begin{aligned} S_n &= S_{2m-1} \\ &= S_{2m} - d_{2m} \\ &= 2m(m+1) - (2m+1) \\ &= 2m^2 - 1 \\ &= 2\left(\frac{n+1}{2}\right)^2 - 1 \\ &= \frac{n^2 + 2n - 1}{2}. \end{aligned}$$

(イ), (オ) より,

$$S_n = \begin{cases} \frac{n^2 + 2n}{2} & (n \text{ が偶数のとき}), \\ \frac{n^2 + 2n - 1}{2} & (n \text{ が奇数のとき}). \end{cases} \quad \cdots (\text{答})$$

### 等差数列の和

等差数列  $\{a_n\}$  の初項から第  $n$  項までの和を  $S_n$  とすると,

$$S_n = \frac{n}{2}(a_1 + a_n).$$

◆  $n = 2m$  より,  $m = \frac{n}{2}$ .

◆  $S_{2m} = S_{2m-1} + d_{2m}$  より,

$$S_{2m-1} = S_{2m} - d_{2m}.$$

◆  $n = 2m-1$  より,  $m = \frac{n+1}{2}$ .

---

———— ポイントチェック ————

等差数列  $\{a_n\}$  ( $n = 1, 2, 3, \dots$ ) があり,

$$a_1 = 5, \quad a_7 = -19$$

である。また、公比が負の数である等比数列  $\{b_n\}$  ( $n = 1, 2, 3, \dots$ ) があり,

$$b_1 + b_2 = -8, \quad b_3 + b_4 = -72$$

である。

(1) 一般項  $a_n$  を求めよ。

(2) 一般項  $b_n$  を求めよ。

(答)

$$(1) \quad a_n = -4n + 9.$$

$$(2) \quad b_n = 4(-3)^{n-1}.$$

## 問五

### 解釈の問題

#### －ポイント－

基本句形の意味に即して訳すとともに、文脈から文意を正しく判断して動作の対象や目的語を補つて解釈する。

「不<sup>レ</sup>可<sup>レ</sup>不<sup>二</sup>——」の二重否定がポイント。傍線部は「不<sup>レ</sup>可<sup>ラ</sup>不<sup>二</sup>——」と「以<sup>テ</sup>」が入っているが、「不<sup>レ</sup>可<sup>ラ</sup>不<sup>二</sup>——」とほぼ同じで、「——しなければならない」という意味である。

つぎに「禁止する」対象を文脈から判断する。傍線部は「豫章の民」が「みこ」に惑わされて病氣にかかっても薬を飲まないと医者から聞いた夏英公（夏竦）が発した言葉であり、その発言の直後に「遂<sup>ニシテ</sup>下令捕<sup>ヲヘテ</sup>為<sup>シム</sup>巫<sup>ヲ</sup>者<sup>セシム</sup>杖<sup>ヲ</sup>之<sup>ヲ</sup>（こうして命令を下して神の言葉を取り次ぐみこたちを捕らえて棒でたたく刑に処した）とあるので、「禁止」の対象は「神の言葉を取り次ぐみこ」である。

アは「禁止しなければならない」は正しいが「医者が薬を作ることを」が誤り。イ、ウは二重否定の解釈が誤り。エは「みこが民を惑わすことを」は正しいが「全く禁止するつもりはない」が誤り。オ「みこが民を惑わすことを禁止しなければならない」が正解。

## 問六

### 目的説明の問題

#### －ポイント－

傍線部の前後の文脈を正しく読み取り、本文中に解答の根拠となる箇所を求め、設問の意図にかなう内容を制限字数内で過不足なくまとめる。

まず夏英公（夏竦）がはじめにやろうとしたことを確認してみよう。それは、夏英公が治める豫章で疫病が大流行し、医者に薬を作らせて民に分け与えようとしたことである。夏英公は疫病にかかった人びとを救おうとしたのである。ところが民に薬を与えてもむだだと医者に言わ

れ、その理由を問うと、江西地方では民が鬼神を尊崇し神の言葉を取り次ぐみこを信じて病氣にかかっても薬を飲まない、すなわちみこが民の心を惑わしているのだぞ知らされる。そこでつぎに夏英公がとった行動が、傍線部の「下<sup>レ</sup>令捕<sup>ヲヘテ</sup>為<sup>シム</sup>巫<sup>ヲ</sup>者<sup>セシム</sup>杖<sup>ヲ</sup>之<sup>ヲ</sup>」であり、これは病氣にかかっても民が薬を飲まない原因を取り除こうとしたのである。以上から、夏英公が「巫を為す者」を取り締まつた目的は次の二点に集約できる。

- ・薬を飲ませて疫病を鎮める（本来の目的）
- ・豫章の民に鬼神やみこを信じることをやめさせる（直接の目的）

である。この二つのポイントを踏まえて、解答としては、「豫章の民に鬼神やみこを信じることをやめさせ、薬を飲ませて疫病を鎮めるため」とまとめればよい。

### 問三 現代語訳の問題

#### ポイント

基本語の意味や句形に即して訳すとともに、指示語の指示する内容を明示する。

ポイントは「雖モト」と「付ス」の意味、そして「之ス」の指示内容である。まず「付ス」の意味と「之ス」の指示内容を押さえてみる。直前の地の文に「製シナ薬分ク給セシム居ス民ニ（薬を作り住民に分け与えさせた）」とあるので、医者の言葉にある「付ス」は地の文の「分給」と対応し、また「給付」という熟語からもわかるように「与える」という意味である。「之ス」は「居民」を指しており、内容を明示するには場所も加えて「豫章（江西）の民」となる。

つぎに「雖モト」の意味。「雖モト」は「——といへども」と読んで、逆接の条件節になる。(1)「たとえ——であつても」(仮定条件)と(2)「——であるけれども」(確定条件)の意味がある。ここは医者が夏英公(夏竦)の命令通りに豫章の民に薬を与えた場合を想定して述べた部分であり、傍線部の後半が「恐ラクハ亦虚設タラン」とあって「恐らくは人(多分)——だらう」の推量の表現になっているので、「雖モ」は(1)「たとえ——であつても」という意味になる。「藥雖モ付ス之ニ」は直訳すると「薬をたとえこれに与えたとしても」となるが、指示語の内容を明示すると「薬を豫章の民に与えたとしても」となる。

後半の「恐ラクハ亦虚設タラン」は「虚設」に「むだになる」と(注)があるので「多分むだになるだろう」と解釈する。全体では「薬を豫章の民に与えたとしても、多分むだになるでしょう」となる。

### 問四 書き下し文の問題

#### ポイント

再読文字や重要語の読みを押さえるとともに、語順に注意して送り仮名を考える。

まず、「未」と「嘗」がポイントである。「未ミ——」は再読文字で「まだ——ず」と読んで「まだ——しない」という意味。「嘗」は「かつて」と読んで「以前・ある時」という意味。「未嘗——」となると「いまだかつて——ず」と読んで「これまで——したことはない」という意味になる。

つぎに「親ヤクシ藥餌ヤクエ」の語順は「動詞+目的語」なので、「親」は動詞として「したしむ」と読んで「なじむ・身近に接する」という意味。「藥餌」は目的語なので「を」や「に」と格助詞を付けるが、動詞が「したしむ」なので「に」と格助詞を付けて「藥餌に親しむ」と読む。句末の「也」は断定の助動詞「なり」なので「ず」は「ざる」と連体形にすること。

「未嘗親藥餌也」は「これまで薬になじむことはなかつた」、すなわち「これまで薬を服用したことはない」という意味で「未だ嘗て藥餌に親しまざるなり」と書き下す。ただし、句末の「也(なり)」は読まなくても問題はないので、「未だ嘗て藥餌に親しまず」と書き下してもよい。また傍線部を含む会話文は「何故」(どうしてなのか)という訳を尋ねる夏英公(夏竦)の問い合わせに対する医者の答えであるから、「——からである」という意味を明確にするために文末を「…親しまざればなり」と書き下すこともできる。

## 【設問解説】

### 問一 語の読みの問題

#### ・ポイント

重要語の知識は、漢文の読解の基礎となるものなので、必ず学習すること。多様な読みを持つ語については、文脈にふさわしい読みを選ぶ練習を日頃から心がけよう。

⑦「如レ此」は「かくの「ごとし」と読んで「このようである」という意味。ここは「如<sup>クバ</sup>此」と送り仮名が付いてるので「かくの「ごとくんば」と読んで「このようであれば」という意味である。ちなみにここは「如レ此」の後に条件を承ける「則」があるので「如<sup>クバ</sup>此則」と順接の条件を示す「ば」を付けて読んでいる。

①「自」には、(1)「おのづから」と読んで「自然と・ひとりでに」という意味、(2)「みづから」と読んで「自分で・自分から・自分で自分で自分を」という意味、(3)「より」と読んで「——から」という意味がある。ここは「自<sup>ク</sup>此」と送り仮名「リ」が付いているので「より」と読む。また「より」と読む場合は返読するが、「おのづから」「みづから」と読む場合には返読しないということも覚えておいてもらいたい。

②「ホイント」  
複数の意味を持つ漢字（多義語）が問われる所以、漢字の文脈上の意味を把握したうえで、選択肢に含まれる漢字の意味を考える。

③「命」には、(1)「いのち」、(2)「言いつける・指示」、(3)「めぐりあわせ」、(4)「名づける」などの意味がある。ア「命令」の「命」は(2)「言いつける・指示」の意味、イ「命題」は「題目をつける」という意味で、「命」は(4)「名づける」の意味である。ウ「延命」は「いのちを延ばす」という意味で、「命」は(1)「いのち」の意味である。エ「運命」

の「命」は(3)「めぐりあわせ」の意味、オ「生命」の「命」は(1)「いのち」の意味である。

ここは、江西地方の風俗は鬼神を尊崇して神の言葉を取り次ぐ「みこ」を信じるために病気になつても薬を飲まないだろう、という医者の言葉に對して、夏英公（夏竦）が「如<sup>クバ</sup>此則民死<sup>チ</sup>於非命<sup>ニスル</sup>者多<sup>カラン</sup>矣」と発言しており、「如<sup>クバ</sup>此」の「このようであれば」とは「病氣にかかるても薬を飲まないのであれば」の意味である。それを承けて「民死<sup>ノスル</sup>於非命<sup>ニスル</sup>者多<sup>カラン</sup>矣」とは「（薬を飲めば助かるのに）民はめぐりあわせではない死に方をするものが多いだろう」という意味である。「命」は「めぐりあわせ・天命」の意味なので、正解はエである。ちなみに「非命」という熟語は「天命ではない」という意味で、思いがけない災難、すなわち予期しない災難で死ぬことに用いられる。

④「息」には、(1)「いき・いきをする」、(2)「いきる」、(3)「休む」、(4)「おわる・やめる・つきる」、(5)「ふえる・ふやす」、(6)「ますこ」などの意味がある。ア「安息」は「安らかに休む」の意味で、「息」は(3)「休む」の意味である。イ「終息」の「息」は(4)「おわる」の意味である。ウ「生息」の「息」は(2)「いきる」の意味、ただし「生息」には「生んでふやす」という意味もあり、この場合の「息」は(5)「ふえる・ふやす」の意味である。エ「令息」は「立派なむすこ（手紙などで相手・他人の息子を呼ぶとき用いる敬称）」という意味で、「息」は(6)「むすこ」の意味である。オ「利息」は「利益がふえる」という意味で、「息」は(5)「ふえる」の意味である。

ここは「息」と送り仮名「ム」が付いているので、「やむ」と読んで、「おわる・つきる」の意味である。正解はイである。「息<sup>ム</sup>」を含む「江西自<sup>ク</sup>此淫巫遂<sup>ム</sup>息」は「江西地方ではこれ以後、邪惡なみことはこうしていなくなつた」と訳す。

## 【全文解釈】

夏竦が江西地方の洪州の長官であった頃、当時、豫章で疫病が大流行した。夏竦は医者に命令して薬を作り住民に分け与えさせた。医者が願い出で言つた、「薬を豫章の民に与えたとしても、多分むだになるでしょう」と。

夏竦は言つた、「どうしてなのか」と。医者は答えて言つた、「江西地方の風俗は鬼神を尊崇し、みこを信じていますので、病気にかかつても、これまで薬を服用したことではないのです」と。夏竦は言つた、「このようであれば民は天命によることなく（＝予期しない災難によつて）命を落とすものが多いことだろう。（みこが民を惑わすことを）禁止しなければならない」と。こうして命令を下して神の言葉を取り次ぐみこたちを捕らえて棒でたたく刑に処した。その中で世間によく知られている者は入れ墨の刑に処して他の州に追放した。一年後には、管轄内の一千九百戸余りを（みこの幻惑から解き放ち）正常な状態にもどした。江西地方ではこれ以後、邪悪なみこはこうしていなくなつた。

## 【重要語・基本句形】

○(1) 重要語  
○雖（す）——ト  
|| ①たとえ——であつても（逆接の仮定条件）

②——であるけれども（逆接の確定条件）  
↓ 【設問解説】問三参考

○恐（おぞラクハ）  
|| 多分（おそらく）——だろう（推量形）  
↓ 【設問解説】問三参考

○尚（たつとブ）  
|| 尊崇する・尊重する  
↓ 【設問解説】問一参考

○如（ごとシカク）  
|| このようである  
↓ 【設問解説】問一参考

○則（すなはチ）  
|| ①——則  
↓ 【設問解説】問一参考

○則（ハチ）  
|| ②——則  
↓ 【設問解説】問一参考

|| 仮定条件・確定条件を承ける  
↓ 【設問解説】問一参考

|| 主語などを示す  
↓ 【設問解説】問一参考

↓ 【設問解説】問一参考

↓ 【設問解説】問二参考

↓ 【設問解説】問二参考

↓ 【設問解説】問二参考

↓ 【設問解説】問二参考

↓ 【設問解説】問四参考

↓ 【設問解説】問五参考

○(2) 基本句形  
○命（めいジ）  
○命（めいレ）  
○何（なんノ）  
○故（ゆゑノ）  
○息（ゆふ）  
○遂（つひニ）  
○命（めい）  
○命（めいレ）

（即（すなはチ）  
|| ただちに・すぐに、便（すなはチ）  
|| すぐ・たやすく、乃（すなはチ）  
|| そこで・やつと・かえつて・なんと、輒（すなはチ）  
|| そのたびごとに・すぐに）  
|| 天命・めぐりあわせ  
|| こうして・その結果・そのまま・結局  
|| ——から  
|| おわる・やめる・つくる  
|| Aに命じて——させる（使役形）  
|| どうしてか（疑問形）  
|| これまで——したことはない（再読文字）  
↓ 【設問解説】問四参考  
↓ 【設問解説】問五参考

○不（ず）  
○可（べカラ）  
○以（テ）  
○不（ズ）  
↓ 【設問解説】問五参考

四 漢文  
【解答】

- 問一 ⑦ かく（の）ごと（くんば） ① よ（り）  
問二 ④ 工 ⑤ イ  
問三 薬を豫章の民に与えたとしても、多分むだになるでしょう。  
問四 未だ嘗て薬餌に親しまざるなり（と）。  
問五 オ  
問六 豫章の民に鬼神やみこを信じることをやめさせ、薬を飲ませて疫病を鎮めるため。（37字）

【配点】（四十点）  
問一 3点×2 問二 3点×2 問三 7点 問四 6点  
問五 5点 問六 10点

【出典】  
『独醒雜志』全十巻。南宋の曾敏行（一一八一一七五）の撰。五代末から南宋初めまでの史実や人物の逸話などを記した隨筆である。曾敏行は幼い頃から学問を積んだが、二十歳の時病気のために科挙を受けることができず、それ以来仕官を断念し、在野の身で学問に励んで見識を広めた。書名は曾敏行が「独醒道人」と号したことによる。

【本文解説】  
本文は北宋時代に江西地方の洪州の長官となつた夏竦が、民を惑わす「みこ（リシャーマン）」を取り締まつた話である。洪州の豫章で疫病が大流行し、夏竦は医者に命じて薬を作らせ、民に分け与えようとした。ところが医者は薬はむだになるだろうと夏竦に言つた。そこでわけを尋ねると、この地方の民は鬼神に対する信仰が厚く、その神の言葉を取り締まることにした。みこを捕らえて棒でたたく刑に処し、特に世間によく知られたみこには入れ墨を入れ、他の州に追放した。その結果一年で一千九百戸余りの民をみこの幻惑から解き放ち正常な状態にもどした。これ以後、江西地方では民を惑わす邪悪なみこの活動は終息した、といつのである。いつの時代にも神の名をかたつて人びとを惑わし、騙して利益を得ようとする悪人がいるのである。

【書き下し文】

かみこにあはれて豫章に帥たるの日、時に豫章大いに疫す。公医に命じて薬を製して居民に分給せしむ。医請ひて曰く、「薬之に付すと雖も、恐らくは亦虛設たらん」と。公曰く、「何の故ぞ」と。医曰く、「江西の俗鬼を尚び巫を信すれば、疾病有りと毎も、未だ嘗て薬餌に親しまざるなり」と。公曰く、「此のごとくんば則ち民の非命に死する者多からん。以て禁止せざるべからず」と。遂に令を下して巫を為す者を捕へて之を杖せしむ。其の著聞なる者は驛して他州に隸はしむ。一歳にして、部内共に治むること一千九百余家。江西此れより淫巫遂に息む。

### ① 入道が家には、……落ちかかり候ひつるに

康頼は、今朝小さな蜘蛛を見かけたので、何か吉事があるのでないかと思われた（注4参照）。

### ② 権現の御利生にて、……思ひて候ひつるなり

熊野信仰の御利益として、成経が帰京する機会に康頼自身も都へ帰れるのではないかと考えた。

### ③ さても、……おぼえ候ふ

康頼と成経の二人は帰京できるのではと考える一方で、康頼は「残りとどまる人」がいるのではないかとも考える。それが葉の虫食いにあつた「帰雁」【三】の意味するところもある。

ちなみに、この③の内容について理解する際、「残りとどまる人候はんする」の「んする」が推量・意志の助動詞「んす」の連体形であると理解して、ここを「残りとどまる人がいるのでしょうか」と訳出できる必要がある。

傍線部「涙を流して」は感涙だと考えると、①・②の内容が理由になると考られるが、地の文にそのように読める根拠がなく、この傍線部が③の直後にあることを考えると、やはり傍線部の理由は、③で康頼が考えた、都へ帰れる自分たちがいる一方で、帰京できない人物がいることに思いをいたしたからだと考えられる。康頼は、その人物をあわれんだゆえに涙を流したのである。すると、その帰京できない人物とは、前書きから判断するに、流罪になつた三人のうちの康頼・成経を除く俊寛を置いて他にはない。以上の点から、解答には次の二点をまとめるこ

- ★都へ帰れるのは少将と自分の二人だけだ。
- ★島に残りとどまることになる俊寛へのあわれみ。

## 問八 文学史（選択式）

### ポイント

古典を読む場合には、その作品の成立した時代・ジャンル・作者（または編者）を知る必要がある。有名な作品については、その内容や特徴などについても知つておくと、読解には有効である。

**【出典】**に記したが、『平家物語』は軍記物語である。軍記物語は、合戦を中心とした歴史物語で、多くは鎌倉時代から室町時代にかけて作られた。

ア 『保元物語』は鎌倉時代前期に成立した軍記物語。作者未詳。保元の乱の顛末を和漢混淆文で記している。

イ 『義経記』は室町時代前期に成立した軍記物語。作者未詳。源平の合戦で活躍した源義経を主人公として物語っている。

ウ 『源氏物語』は平安時代中期に成立した作り物語。作者は紫式部。主人公光源氏の生涯を語る前編と、その子である薰の半生を語る後編からなる、全五十四帖の長編である。よつて、正解はウである。

エ 『太平記』は南北朝時代から室町時代にかけて成立した軍記物語。作者未詳。十四世紀の動乱を和漢混淆文で記している。

オ 『曾我物語』は南北朝時代に成立した軍記物語。作者未詳。曾我十郎・五郎兄弟の敵討ちを物語っている。その後、謡曲・浄瑠璃・歌舞伎などの芸能の題材となつた。

問六 理由説明（記述式）

ポイント

記述式でも選択式でも、説明問題では、文脈に注意しながら傍線部そのものをきちんと現代語訳することが必要である。問四でも述べたが、基本は品詞分解に注意した訳出である。それをふまえて、文脈をよく考慮した具体的な内容を理解すること。

あら／不思議／や

あら（感動詞）

① ああ／だなあ。ああ／なことよ。

\* 「あら+形容詞・形容動詞の語幹（+や）」で、詠嘆表現となる。「あら」のかわりに感動詞「あな」を用いることもある。

傍線部の逐語訳は次のようになる。

☆ ああ不思議なことよ。

傍線部直前には「少将取りて見て」とある。「ここに至る展開は次のとおり。二行めで「南木の葉二つ、康頼が膝に散りかかる」とあり、さらに、六行めで、康頼が成経（少将）に向って「これを御覧候へ」と言う。そして、その南木の葉を成経（少将）が手に取つて見て言つたのが「ああ不思議なことよ」だった。

注3から南木は熊野地方に多い木であるとわかり、康頼も「この島には南木は候はぬ（＝この島には南木はないません）」と言つている。

その南木の葉が落ちてきたことを「不思議なことよ」と言うのだから、解答には次の二点をまとめること。

★ 南木の葉が落ちてきしたこと。

★ 南木の木は熊野の神木であり、鬼界ヶ島にはない」と。

問七 理由説明（記述式）

ポイント

傍線部の現代語訳の大切さなど、基本的な姿勢は問六で述べたところである。今回は、傍線部の内容を正確に理解したうえで、その理由にあたる箇所をさがす必要がある。着眼点は、文法的なものとして已然形「ば」といった原因・理由を示す表現がないかに気を配つたり、傍線部前後にある人物の発言などに注意したりなどといったことがある。

涙／を／流し／て／下向せ／られ／けり

下向す（サ行変格活用動詞）

- ① 都から地方へ行く。  
② 神仏に参詣して帰る。

文章冒頭で、康頼と成経が、鬼界ヶ島のなかで熊野本宮に見たてた場所に参詣したとあった。「下向す」については、参詣を終えてのことだと考えられるから、②「神仏に参詣して帰る」として訳出される。この「帰る」主体は、設問から康頼ということがわかる。また、「下向せられ」の「られ」については、参詣した康頼が帰るという文脈であるから、ここは尊敬の助動詞として解するのがよい。よって、傍線部の逐語訳は次のようになる。

☆ 涙を流してお帰りになった。

さて、康頼が涙を流した理由については、そこまで康頼の会話文のなかにあると考えられるだろう。問五・六でも一部確認しているが、康頼が成経に語った内容はおおむね次の三点である。

問五 現代語訳——短語句の訳出（記述式）

一 ポイント

重要語句の習熟は、文章を読解するうえでの基本となる。最重要古語は約三百語程度だが、さらに五百～六百語程度までの語彙量があればかなり安心である。また、語だけではなく、重要な慣用句もあるので、そういった知識を受験期までに精力的に獲得していくことが必要である。

傍線部2  
たてまつる（八行四段活用動詞）

- ① さしあげる。※（「与ふ」謙譲語）  
② ～（し）申しあげる。※（謙譲語の補助動詞）  
③ おめしになる。※（「着る」尊敬語）  
④ お乗りになる。※（「乗る」尊敬語）  
⑤ めしあがる。※（「食ふ・飲む」尊敬語）

傍線部前には「康頼入道、「これを御覧候へ。この島には南木は候はぬに、この葉の出できたり候ふは」（＝これを御覧なさいませ。この島には南木はございませんのに、この（南木の）葉が出てきましたよ」とある。康頼は、「御覧候へ」と言いながら自分の膝の上に落ちてきた南木の葉を成経（少将）に「たてまつる」とあるので、この「たてまつる」は①「さしあげる」と訳出すればよい。

傍線部4  
あやしく／候へ

あやし（シク活用形容詞）

- ① 不思議だ。  
② 変だ。不審だ。  
③ 身分が低い。卑しい。

④ 粗末だ。みすぼらしい。

候ふ（八行四段活用動詞）

- ① お仕えする。伺候する。※（「仕ふ」謙譲語）  
② あります。います。「ございます。※（「あり・をり」丁寧語）  
③ ～ます。～です。～で～ざいます。※（丁寧語の補助動詞）

傍線部前には「さても、『帰雁』『二』と読まれて候ふ（＝それにしても、『帰雁』『二』と読みます」とあり、これは康頼から成経への会話文である。「帰雁」「二」というのは、南木の葉に虫食っていた部分のことでも、つまり、たんなる虫食いが「帰雁」「二」と読めると、康頼は言っている。よって、「あやし」は①「不思議だ」または②「変だ。不審だ」で訳出するのがよい。

次に、「候ふ」は、シク活用形容詞「あやし」の連用形「あやしく」に続いているので、③丁寧語の補助動詞として「～ます。～です。～でございます」で訳出するのがよい。この際、注意するのは、この「候ふ」が直前の係助詞「こそ」を受けて係り結びとして已然形「候へ」となっていることである。「候ふ」は、四段活用動詞なので、已然形と命令形とともに同じ「候へ」であるから、この「候へ」を命令形とまちがつて訳出しないようにしなければならない。

問四 解釈（選択式）

① ポイント

解釈とは、基本的に現代語訳であるが、たゞ逐語訳したものである。基本となる現代語訳は、傍線部を品詞分解して一語一語を正確に訳出し、前後の文脈をしっかりと理解したうえで、助動詞や助詞も見落とさないように心がける必要がある。

などか／都／へ／帰ら／ざる／べき

などか  
(副詞)

① どうして～か。  
② どうして～か、いや、～ない。

※ ①は疑問、②は反語。②の場合、多くは打消を伴い、よって、②は「どうして～でないか、いや、～だ」となることが多い。

べし（助動詞）

① ～（する）だろう。  
② ～（する）はずだ。～（し）なければならぬ。……当然・義務  
③ ～（し）よう。（する）つもり。……意志  
④ ～できる。……可能  
⑤ ～（する）のがよい。……推量  
⑥ ～（し）なさい。……命令

「などか」は、下に打消の助動詞「ず」の連体形「ざる」があるので、  
「どうして～でないか、いや、～だ」と訳出することが想定される。  
「べし」を、基本的な意味である①推量を用いて暫定的に逐語訳すると、  
傍線部の逐語訳は次のようになる。

☆どうして都へ帰らないだろうか、いや、帰るだろう。

さらに、傍線部を含む和歌の意味を上の句から再確認する。

② 頼む（マ行四段活用動詞）

① 頼る。頼りにする。  
② あてにする。期待する。

※ ちなみに、下二段活用の「頼む」は「あてにさせる」などの意味になる。

枕詞は通常訳さなくてよいので、二句めからの意味を考える。「斎垣」  
とは神社など神聖な場所の周囲にめぐらした垣のこと、「神の斎垣」  
で「神」そのものを表す。よって、「神の斎垣を頼む人」については、  
「頼む」を①「頼る。頼りにする」として、「神を頼りにする人」と訳出  
するのがよい。神を頼りにしているのは、前書きからわかるように、成  
経と康頼である。その二人が「どうして都へ帰らないだろうか、いや、  
帰るだろう」と、葉にあつた虫食いの文字から考えたこととしては、熊  
野の神を信仰する（＝頼りにする）成経と康頼であるから、御利益に  
よつて自分たちは都へ帰れるということであろう。このような意味から  
すると、「べし」は④可能で訳出るのがよいと思われ、ア～オでは、「  
都へ帰ることができる」としているアが正解として適當である。

ので、右列の「—く」であり、正解は「す—く」である。

ちなみに、「す—し」は「荒涼とした。寒々とした」といった意味の重要古語である。

### 問三

#### 和歌修辞

#### ポイント

知つておかなければならない和歌修辞は、枕詞・序詞・掛詞・縁語の四つ。それぞれにその性質を理解しておくこと。今回は特定の語句を導くはたらきがある枕詞を問題とした。主要な枕詞は一覧表などを利用して覚えておく必要がある。

各選択肢の枕詞と導かれる語句は次のとおり。

- |   |                   |
|---|-------------------|
| ア | あしひきの……山。         |
| イ | たらちねの……母。         |
| ウ | ひさかたの……天、雲、日、光、月。 |
| エ | ぬばたまの……黒、夜、闇、月、夢。 |
| オ | ちはやぶる……神。         |

Y

の下は「神」とあるので、正解はオである。

語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形
出で	こ	き	く	くる	くれ	こ(よ)

右の表より、正解の終止形は「出でく」である。また、この「出でき」は、直下に連用形接続の助動詞「たり」(完了)があるので、連用形だとわかる。

#### e 「祈念せ」

「祈念せ」は漢語「祈念」に「せ」がついた複合語。「祈念せ」の「せ」は、「覚える動詞」に入っているので、[7]サ行変格活用動詞とわかる。よって、活用表[7]から、正解の終止形は「祈念す」である。また、「祈念せ」は活用表から未然形だとわかる。

#### f 「おぼえ」

「おぼえ」は、「覚える動詞」に入っていないので、「見分ける動詞」[1][3][5]のいづれかになる。そこで、助動詞「ず」をつけると、「おぼえず」となり、未然形の語尾が二段音になるので、「おぼえ」は[5]下二段活用動詞とわかる。次に、この動詞の活用語尾「え」はア行ではなくヤ行である。ちなみに、ア行で活用する動詞は「得」とその複合語「心得」くらいしかない。よって、「おぼえ」はヤ行下二段活用動詞であり、この活用表は次のようになる。

語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形
おぼ	え	え	[ゆ]	ゆる	ゆれ	えよ

右の表より、正解の終止形は「おぼゆ」である。また、この「おぼえ」は、直下に用言(動詞)「候ふ」があるので、連用形だとわかる。

## 問二 文法——形容詞の活用

問一でも述べたように、用言の活用を理解することが文法の基本。

#### ポイント

用言に習熟することが、助動詞や助詞の意味用法を理解するうえで、役に立つことが多い。文法学習の基礎となるのが用言である。形容詞・形容動詞は、ともに物事の性質・状態・様子を表す。登場人物の心情や語り手(作者)の評価を表すことも多いため、古文読解上、重要な用語である。ここでは形容詞を問題とした。

形容詞には次の二種類がある。

#### ① ク活用

基本形	語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形
高し	高	(く)	く	し	き	けれ	命令形
		から	かり	○	かる	○	
		しかり		○	かかる	○	
				○	しけれ	○	
				○	しかれ	○	

#### ② シク活用

基本形	語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形
美し	美	(しく)	し	しき	しけれ	命令形	
		から	かり	○	かる	○	
		しかり		○	かかる	○	
				○	しけれ	○	
				○	しかれ	○	

\*各表の左列にあるカリ系列・シカリ系列は、原則として直下に助動詞が接続するときに行われる。

◆形容詞の活用の種類は、次のように、連用形の活用語尾で判別するといふ(動詞「なる」を接続させて調べる)。

- ① ク活用……くなる。 [例: 高くなる]
- ② シク活用……しくなる。 [例: 美しくなる]

これらのこと確認したうえで、Xに補う「すじし」の活用形を考えよう。ここに補う形容詞「すじし」は、動詞「なる」をつけると、「すごくなる」となる。よって、ク活用であることがわかる。次に、Xの直下を見ると、用言(動詞)「吹き下ろし」があるので、ここには連用形が入るとわかる。これは助動詞に接続させない連用形な

⑨ ラ行変格活用

基本形	語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形
あり	あ	ら	り	り	る	れ	れ

◆覚える動詞

先にあげた①～⑨の中には、四つの変格活用と、一部の正格活用など、所属語の少ないものが六種類があるので、それらをあらかじめ覚えておくとよい。

② 上一段活用動詞……「干る・射る・着る・似る・煮る・見る・居る・率る」など。

下一段活用動詞……「蹴る」のみ。

力行変格活用動詞……「来」と、複合語「詣で来・出で来」など。

サ行変格活用動詞……「す・おはす」と、複合語「奏す・信す」など。

ナ行変格活用動詞……「死ぬ・去(往)ぬ」のみ。

ラ行変格活用動詞……「あり・をり・侍り・いまそがり」など。

◆見分ける動詞

残りの三種類は、所属語が多いため、未然形の活用語尾によって判別するとよい（打消の助動詞「ず」を接続させて調べる）。

四段活用動詞……未然形がア段音になる。〔例：思はず〕

上二段活用動詞……未然形がイ段音になる。〔例：落ちず〕

下二段活用動詞……未然形がウ段音になる。〔例：失せづ〕

a 「あり」

「あり」は、「覚える動詞」に入っているので、⑨ラ行変格活用動詞とわかる。よって、活用表⑨から正解の終止形は「あり」である。ラ行変格活用動詞のみ終止形の語尾がイ段音となる。また、この「あり」は、直下に連用形接続の助動詞「けり」（過去）があるので、連用形だとわかる。

b 「銘じ」

「銘じ」は漢語「銘」に「し」がついた複合語。「銘」の語末がイという音であることから、「し」が「じ」と濁音になつた。「銘じ」の「じ」は「し」は、「覚える動詞」に入っているので、⑦サ行変格活用動詞とわかる。よって活用表⑦から、正解の終止形は「銘ず」である。また、「銘じ」は活用表から連用形だとわかる。

なお、今回のように、「し」が「じ」と濁音になつても、「ザ変」とは言わず、「サ变」と言う。ザ行の語尾を持つ他の動詞は、下二段活用動詞の「混(交)ず」「爆す」くらいしかない。また、サ行変格活用動詞は漢語を語幹とする複合語が多い。

c 「見れ」

「見れ」は、「覚える動詞」に入っているので、②上一段活用動詞とわかる。よって、活用表②から正解の終止形は「見る」である。また、「見れ」は活用表から已然形だとわかる。

ちなみに、「見」を含む動詞は、「見る」以外にも、下二段活用動詞「見す」「見ゆ」があるので注意が必要。

d 「出でき」

「出でき」の「き」は「來」であり、「來」は「覚える動詞」に入っているので、⑥力行変格活用動詞とわかる。「出でき」は、「出で」を語幹とする活用表⑥として次のようになる。

## 【設問解説】

### 問一 文法 — 動詞の活用

#### ① ポイント

用言（動詞・形容詞・形容動詞）の活用を理解することが文法の基本である。用言を正しく理解できていれば、文章を読解する際に、述語がわかりやすくなる。また、今後、助動詞を学習する際に、用言の理解が基本となり、それを応用した発展的理解へとつながっていく。

「用言」とは、活用する自立語で、単独で述語となることができるものである。動作や存在を表す動詞、物事の性質・状態・様子を表す形容詞と形容動詞の三つをいう。ここでは、動詞の活用について確認する。

動詞の場合、九種類の活用の種類があり、活用に規則性があるかないかにより二分される。規則的な活用をするものを正格活用、不規則な活用をするものを変格活用という。例語をあげてそれぞれの動詞を見ておく。

#### A 正格活用

##### ② 上一段活用

	見 る	基本形	思 ふ	基本形	語 幹
	○	語 幹	思 ふ	思	未然形
i	み	未然形	a	は	未然形
i	み	連用形	i	ひ	連用形
i	み る	終止形	u	ふ	終止形
i	み る	連体形	u	ふ	連体形
i	み れ	已然形	e	へ	已然形
i	み よ	命令形	e	へ	命令形

##### ① 四段活用

	思 ふ	基本形	思 ふ	基本形	語 幹
	思	未然形	思	未然形	連用形
a	は	連用形	i	ひ	連用形
i	ひ	終止形	u	ふ	終止形
u	ふ	連体形	u	ふ	連体形
e	へ	已然形	e	へ	已然形
e	へ	命令形	e	へ	命令形

### ③ 上二段活用

	落 つ	基本形	落	基本形	
	○	語 幹	○	語 幹	
i	ち	未然形	i	ち	連用形
i	ち	連用形	u	つ	終止形
u	つ	終止形	u	つ	連体形
u	つ	連体形	u	つ	已然形
u	つ	已然形	i	よ	命令形

### ④ 下二段活用

	蹴 る	基本形	失 す	基本形	
	○	語 幹	失	語 幹	
e	け	未然形	e	せ	未然形
e	け	連用形	e	せ	連用形
e	け	終止形	u	す	終止形
u	け	連体形	u	す	連体形
u	け	已然形	u	す	已然形
u	け	命令形	e	よ	命令形

### ⑤ 下二段活用

	蹴 る	基本形	失 す	基本形	
	○	語 幹	失	語 幹	
e	け	未然形	e	せ	未然形
e	け	連用形	e	せ	連用形
e	け	終止形	u	す	終止形
u	け	連体形	u	す	連体形
u	け	已然形	u	す	已然形
u	け	命令形	e	よ	命令形

### B 変格活用

	來 る	基本形	失 す	基本形	
	○	語 幹	失	語 幹	
e	こ	未然形	e	せ	未然形
e	こ	連用形	e	せ	連用形
e	こ	終止形	u	す	終止形
u	く	連体形	u	す	連体形
u	く	已然形	u	す	已然形
u	く	命令形	e	よ	命令形

### ⑥ 力行変格活用

	來 る	基本形	失 す	基本形	
	○	語 幹	失	語 幹	
e	こ	未然形	e	せ	未然形
e	こ	連用形	e	せ	連用形
e	こ	終止形	u	す	終止形
u	く	連体形	u	す	連体形
u	く	已然形	u	す	已然形
u	く	命令形	e	よ	命令形

### ⑦ サ行変格活用

	來 る	基本形	失 す	基本形	
	○	語 幹	失	語 幹	
e	せ	未然形	e	せ	未然形
e	せ	連用形	e	せ	連用形
e	せ	終止形	u	す	終止形
u	く	連体形	u	す	連体形
u	く	已然形	u	す	已然形
u	く	命令形	e	よ	命令形

### ⑧ ナ行変格活用

	死 ぬ	基本形	失 す	基本形	
	○	語 幹	失	語 幹	
死	な	未然形	死	な	未然形
死	な	連用形	死	な	連用形
死	な	終止形	死	な	終止形
死	な	連体形	死	な	連体形
死	な	已然形	死	な	已然形
死	な	命令形	死	な	命令形

## 【本文解説】

### ① 〔前提として知つておくとよい知識〕

俊寛

平安末期の真言宗の僧。藤原成親、藤原師光（西光）、藤原成経、平康頼らと、鹿ヶ谷の山荘に会して平氏討伐の謀議をめぐらした（鹿ヶ谷の陰謀）が、発覚。捕えられて、成経、康頼とともに鬼界ヶ島に流罪となる。その後、成経、康頼は許されて都に戻るが、俊寛だけは許されず、三年にわたる流罪生活を送ったのち島で亡くなつた。その配流生活が悲劇的だったことにより、能、歌舞伎などで作品化された。

### 熊野信仰

熊野三山（和歌山県にある本宮、新宮、那智）を中心とした信仰。平安時代後期、貴族は、現世と来世二世の安樂を願うようになる。それが鎌倉時代には、現世安穩や来世善所を願う、廷臣、武士、庶民にまで広がり、「蟻の熊野詣で」と呼ばれるほどににぎわつた。

### ② 〔本文の要点〕

- ◆ 配流地の鬼界ヶ島で、熊野本宮に見たてた場所を参詣する成経と康頼。
- ◆ 熊野にはあるが鬼界ヶ島にはない南木の葉が康頼の膝に落ちてくる。
- ◆ 二枚ある葉には、それぞれ「帰雁」〔ニ〕という文字が虫食つてある。また、よく見ると、葉には和歌も虫食つてある。
- ◆ 虫食いから、二人は、熊野信仰のご利益により都に戻れるところ。  
◆ 熊野を信仰しない俊寛は島に残らねばならないのだと、二人は涙した。

## 【全文解釈】

ある日、〔成経と康頼は〕本宮に参詣して、経や法文をひたすら唱え申しあげていたところ、いつもよりも信仰の思いを心に強くさせみつけ、全身に汗が出て鳥肌がたち、権現金剛童子のお姿も急に〔そこ〕にある心地がして、嵐が寒々しく吹き下ろして木の葉がそばから散つたとき、〔南木の葉が二枚、康頼の膝に散りかかったのを見ると、一枚には「帰雁」と虫食つて〕いる。一枚には「ニ」という文字を虫食つてある。また、よくよく見ると、歌を一首、虫食つているのを見つけた。

神を頼りにする人はどうして都へ帰らないことがあるうか、いや、きっと都へ帰ることができるはずだ。

康頼入道は、「これを御覧なさいませ。この島には南木はございませんのに、この〔南木の〕葉が出てきましたよ」と言って、少将にさしあげる。少将は〔この葉を手に〕取つて見て、「ああ不思議なことよ。今は、権現様の御利益をいただいて都へ帰るようなどは確實である」と言って、ますますお祈りなさつたところ、康頼入道が、申しあげたことは、「私入道の家には、蜘蛛でさえも下りてくると、昔からかならずお祝いをいたしますが、今朝の〔本宮へ来る〕途中に小さな蜘蛛が落ちかかりましたので、権現様の御利益で、少将殿が〔都へ〕呼び戻されなさるような機会に、私入道も都へ帰るのでしょうかと思っていたのです。それに対して、〔帰雁〕〔ニ〕と読めますのは、不思議でございます。きっと、〔島に〕残りとどまる人がいるのでしょうかと思われます」と言って、涙を流してお帰りになつた。

三 古文  
【解答】

問一 a あり b 銘す c 見る d 出でく e 祈念す

f おぼゆ

問二 すぐく

問三 オ

問四 ア さしあげる。 4 不思議でございます。

問五 2 鬼界ヶ島にはない熊野の神木である南木の葉が落ちてきたから。

問六 都へ帰ることができるのは少将と自分の二人だけで、俊寛はきっと島に残るのだろうとかわいそうに思つたから。

問七 ウ

【配点】(五十点)  
問一 2点×6 問二 2点 問三 3点 問四 5点  
問五 3点×2 問六 8点 問七 12点 問八 2点

【出典】

『平家物語』卷二

成立年代：鎌倉時代前期。

作者：未詳。『徒然草』に、作者として信濃前司行長の名があげられているが、諸説ある。

内容：平家一門の繁栄と没落を描いた作品である。「祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響きあり。沙羅双樹の花の色、盛者必衰の理をあらはす」という冒頭の一節は有名である。これは、誰もがみな「諸行無常」「盛者必衰」という道理からは逃れられないといった、仏教的無常観、因果応報の観念を表し、この思想が全編を通して流れている。

文体は漢文訓読体を交えた和漢混淆文でつづられている。また、「平曲」として琵琶法師によつて広く語られた。

本文は『長門本 平家物語』(勉誠出版)に拠る。ただし、出題にあたり、読解の便をはかり、一部表記を改めている。

## 問五

本文の内容と合致するものを選択肢の中から選ぶ問題

### ・ポイント

本文の内容合致問題は、一つ一つの選択肢の意味内容を正確に確認した上で、本文と丁寧に照らし合わせて、正誤を判断しよう。

順を追って、選択肢を検討していこう。

アは、「人間の行為がすべて幸福をめざしているという固定観念から解放されること」によって「幸福を享受することができる」という部分が誤り。そのような因果関係は本文のどこにも書かれていない。

イは、まず「ある種の快楽」を幸福と感じることもある」について、Iの③で「いざこの幸福が何であるかと問い合わせはじめる」と意見はちりぢりになる。「快樂だ、名譽だ、富だ、健康だ、というふうである」という叙述を踏まえた説明になっている。また、「幸福は他の快樂などの手段とならず、それ自体が目的だととらえる説もある」という部分も、Iの③で紹介されている（幸福それ自体が人生の究極目的であり、他のものそのための手段とはなりえない「自足した善」である）というアリストテレスの説を踏まえている。したがって、これが**一つ目の正解**。

ウは、「いざこの幸福が何であるかと問い合わせはじめる」と意見はちりぢりになる」（Iの③）、「幸福は感覚としては持続しない」（Iの⑤）、「このように見てくると、幸福に関するでは、内容からはどうも十全に規定できなさそうである」（Iの⑤）という叙述内容を踏まえている。したがって、この選択肢が**二つ目の正解**。

エは、「その（＝不快なもの）根源を元からすべて一掃するのも、現代人が取るべき一つの選択肢」という記述が誤り。このように「不快を一掃しようとすると」とことは、IIの⑦で藤田が批判していた「安樂」への全体主義」に他ならない。

オは、「小さな幸運であっても大切にする気持ちが重要である」という部分の内容が、本文と適合しない。IIの⑨では「社会システムが複雑

化していくなかで、幸福からの疎外という感情が人々の間に浸透するとともに、幸福への道筋を見透し難くなっていることが原因となつて、人々は幸福を偶然的ためぐりあわせとしか意識できず、その小さな「幸運」にめぐりあつたとき、「ハッピー」「ラッキー」と口走る」といったように、「小さな幸運」が本来の「幸福」とは異なる否定的なものとして捉えられていた。

カは、「幸福論」について「あえて邪悪なものに触れなければ、その正しさは人に伝わらない」と述べている点が誤り。「幸福論」に関してIIIの⑪で述べられたのは、「幸福」と裏腹の「不幸」を見据えなければ、「幸福論」は空虚なものとならざるをえない」ということであった。ここで言う「不幸」とは、IIの⑧で論じられていた「糺余曲折」にある。人生上の様々な困苦を意味する「糺余曲折」は、「邪悪な（＝心がねじ曲がって悪い）もの」ではない。むしろその克服の経験は、「喜び」として「幸福」感をもたらす「幸福」の〈養分〉とも言うべきである。

のありようと齟齬（そご）（＝食い違い）をきたしている。

工は、「職場や交友関係における満足感のみを幸福とみなす」と、「満足感」を「職場や交友関係における」ものだけに限定している点がおかしい。また、「孤立した個人が、自己の生活の満足に幸福のよりどころを求めるようになった」ことが、「擬似的な幸福論が広く受け入れられるようになつた」理由であるとは、本文から読み取れない。

オは、まず「届託のない気楽さに幸福を実感する」という部分が、誤り。「実感」とは、〈実際に感じている心底からの感情〉を意味するが、Ⅱの⑨で指摘されていたように、「幸福を実感する」のとは反対に、「幸福感の薄さ……が、今日、想像を超えて人びとのあいだに浸潤してきている」のである。

#### 問四 傍線部の内容を説明する記述問題

##### ポイント

傍線部に関する記述問題は、傍線部の前後の文脈と設問の要求を正しく理解し、それに対応する内容を過不足なく書く必要がある。解答は読み直して論理的でわかりやすい文章になるよう推敲しよう。

この設問では、傍線部の内容を説明することが求められている。まず傍線部を吟味して、解答のポイントになる表現を確認しよう。ここでは「この揺れと強度を欠いた幸福論」の「この揺れと強度」という表現が指している内容を的確に把握することがポイントとなる。「この揺れと強度」とは、直前の文の冒頭の「そのうえで」という言葉の指示内容も踏まえると、「不幸に浸る時間」を手放さずに、「幸福」という青空について語りつづけること」を指している。

では、「不幸に浸る時間」とともにある「幸福」という青空」とは、どのようなことを言っているのだろうか。本文から「幸福」についての筆者の考え方を読み取っていこう。「幸福」の本来のありようについて

て筆者が語っているのはⅡの⑦～⑩の箇所だ。⑦では、人々が不快のない「安楽」を求め、不快な状態との対決を避けていることが指摘されている。⑧では、⑦での藤田省三の考察をもとに〈幸福とは、糸余曲折に対する忍耐と克服の経験から生まれる「喜び」として享受されるものである〉ことが述べられている。「糸余曲折」は、⑦でいう「不快」という言葉に対応する。そこから〈人生のさまざまな不快や困苦〉などと説明すればわかりよいだろう。

##### a1 人生のさまざまな不快や困苦に対する忍耐と克服の経験

a2 幸福とはa1から生まれる喜びとして享受されるものである

また、⑩では、柳田國男や寺山修司の言葉を手がかりにして、〈幸福とは、他者とともに享受されるものである〉ことが述べられていた。

##### b 幸福とは、他者とともに享受されるものである

これらを踏まえれば、「幸福」という青空」という比喩的表現が〈人生の様々な困苦（＝憂天／「不幸」）に対する忍耐と克服の経験から生まれる喜び（＝「青空」）として他者とともに享受される〉という「幸福」のありようをたとえて言ったものであることが理解されるだろう。まとめれば、「この揺れと強度を欠いた幸福論」とは、

##### c 幸福がa1・a2・bであることへの自覚（認識）を欠いた幸福論

ということになる。

最後に、傍線部末尾の「絵空事で終わる」という表現についても説明しておこう。「絵空事」とは、〈大きさで現実にはあり得ないこと〉という意味である。

##### d 空虚な（＝内実を欠いた）ものになる

以上のポイントを制限字数の範囲内でわかりやすく組み立てよう。

らかじめ消去してしまう」となっている。「対面」とは〈顔を合わせること〉という意味。ここから、「そうした対面の〔C〕そのものをあらかじめ消去してしまう」とは、〈不快な事態と向き合う「場／時／契機」をあらかじめ消去してしまう〉という内容であることを読み取りたい。選択肢の中で「場／時／契機」といった意味に相当する語は「機会」である。したがって、**エが正解**。

〔D〕について。空欄を含む文脈を丁寧に読み解いていこう。この箇所で述べられているのは〈移行の感覚〉としてある「幸福」は、「さまざまの忍耐や工夫」の経験を介して、「生全体のあり方」が「喜び」として肯定的に享受されるときにもたらされる〉ということである。そこから、空欄には、「生全体のあり方」に対して〈その意義や価値を「喜び」として肯定的に認める〉という内容に適合する言葉を選べばよいとわかる。したがって、**正解はキである**。

〔E〕について。空欄を含む一文を精読すると、〈「幸福は他者との共作であるのだ（＝ひとりで幸福になろうとしても、それは無理）」とすれば、「幸福」がひとりだけで享受されるものであることを前提とした「あなたは幸福ですか」という問い自体が、現実味を欠いたものとなる〉ことが述べられている。ここから、空欄には〈現実味を欠いた／実際にはありえない〉といった意味を持つ言葉を選べばよい。したがって、**正解はアである**。

### 問三 傍線部の理由に関する説明を選択肢の中から選ぶ問題

#### ポイント

傍線部に関する選択肢問題は、傍線部の内容をよく確かめた上で、設問の要求と本文の文脈を理解し、選択肢を丁寧に吟味しよう。

設問では、「一見幸福論と見えるもののインフレーションが起りこつたあるその理由」についての筆者の考えを読み取ることが求められてい

る。「その理由」に関して直接的に筆者の考えが述べられているのは、IIの〔9〕である。そこでは、「幸福への問い合わせがインフレーションを起こしている」理由として、「幸福感の薄さ、ないしは（働き場や交友関係といった居場所を見いだせないという意味で）見棄てられて、いる」という感情が、今日、想像を超えて人びとのあいだに浸潤してきていること、そして「社会システムが異様に複雑化」してきたなかで、その「感情」がなにに由来するのか見透すことが困難になり、その結果「幸福への道筋が見えな」くなっていることが指摘されている。

#### a 社会システムが複雑化するなかで、幸福への道筋を見透し難くなっている

また、傍線部の後ろに続く〔7〕・〔8〕では、藤田省三の「安樂」への全體主義の議論を踏まえながら、傍線部の「一見幸福論と見えるもの」（＝「擬似的な幸福論」）の流行が、不快のない状態としての「安樂」を求める人々の傾向を背景にしたものであることが述べられている。

#### b 人々が不快のない状態としての「安樂」を追い求めている

最後に、「一見幸福論と見えるもの（＝「擬似的な幸福論」）とは、Iの〔1〕や傍線部を含む〔6〕で述べられている〈満足感を指標とするような幸福論〉を指していることを読み取つておきたい。

#### c 満足感を指標とする幸福論

したがって、以上のポイントを的確に踏まえている**ウが正解**である。アは、「国情に左右されない『幸福度』を評価軸とする」という部分が、明らかな誤り。Iの〔1〕に「国民総幸福度」は「国情、ないしは国家の発展を測る指標」であると述べられている。イは、「困難に耐え、前向きに努力することで幸福になると説く幸福論」という説明が、bの〈不快のない状態としての安樂を求める〉人々

## 【設問解説】

### 問一 語句の意味説明問題

#### 一、ポイント

言葉の知識は、文章を読解する上で基盤となる。辞書を引く習慣を身につけるなどして、語彙力をしっかりと養つておこう。

aの「人口に膾炙する」は（人々の話題に上ってもてはやされ、広く知れ渡る）という意味。したがって、ウが正解。  
bの「未曾有」は（今までに一度もなかつたこと。また、非常に珍しいこと）という意味。したがって、アが正解。「未曾有」は漢字の読み取り問題でもしばしば出題される。読みもしっかりと確認しておこう。  
cの「糺余曲折」は（物事が順調に運ばないで、こみいいた経過をたどること）という意味。したがって、エが正解。

### 問二 空欄に適切な語を補う問題

#### 二、ポイント

空欄補充問題では、空欄の前後の文脈を正しく読み取り、その文脈に適合する意味をもつ言葉を選択肢から選んでいこう。

まず、選択肢の言葉の意味を確認しておこう。

- ア 「虚構」……事実でないことを事実らしく作り上げること。作りごと。  
イ 「目的」……実現しようとしてめざす事柄。行動のねらい。  
ウ 「懷疑」……物事の意味・価値、また自他の存在や見解などについて疑いをもつこと。  
エ 「機会」……事をするに最も都合のよい時機。ちょうどよい折。  
オ 「逆説」……一見、真理にそむいているようにみえて、実は一面の真理を言い表している表現。矛盾を含んだ表現。

力 「主題」……中心となる題目・問題。  
キ 「評価」……事物や人物の、善悪・美醜などの価値を判断して決めること。また、ある事物や人物について、その意義・価値を認めること。

Aについて。空欄が直前の「そのような」という指示語によって形容されていることから、「そのような」が指している内容に適合する語を選択肢から選べばよい。「そのような」は、「だれもが幸福でありたいと願う」のに、「幸福と思っていたものを手に入れたとたんに幸福でなくなる、あるいは幸福でいつづけることはできない」という矛盾を含んだ内容を指している。選択肢の中で、〈矛盾を含んだ表現〉という意味を持つのは「逆説」である。したがって、オが正解。

Bについて。空欄を含む一文を確認すると、「二十世紀末になつて国際社会が、環境危機やエネルギー資源の枯渇、金融市場やそこでのマネーゲームがもたらす地域社会の崩壊や格差の拡大などの問題に直面する」という環境やエネルギー、経済をめぐるネガティブ（＝否定的）な状況が生起するなかで、「経済成長」が幸福の条件であるという神話へのBが生まれ」とある。つまり、さまざまなかたちの状況の変化によって、それまでの「経済成長」が幸福の条件であるという神話」が揺らぎだしたというわけである。以上から、空欄には否定的なニュアンスを持つ語が入ることを読み取ろう。候補としては、ア「虚構」とウ「懷疑」に絞りこめるが、「虚構」は、空欄直前にある「への」という（動作・作用の対象を示す）語とつながらない。また、Eについての解説でも確認するが、Eにア「虚構」が入ることも、ここでアが答にならない理由の一つである。空欄補充問題では、他の空欄とのかねあいで答が決まることもあると知つておこう。したがって、正解はウである。

Cについて。空欄を含む文脈は、「〔安樂〕への全体主義」は）不快な事態と対決するよりも、むしろそうした対面のCそのものがあ

義」と呼び、その背景には、人々が不快のない状態としての「安樂」を求

め、不快の源を消去する作業に神經症的にいそしんでいるという事態が伴つていることを論じた。なかでも藤田が憂えたのは、人々が不快な事態との対面を忌避することによって、糾余曲折（＝人生のさまざまな困苦）の克服から生まれる「喜び」という、生全体のあり方に関する「総合的感情」が失われてしまうことであった。「苦しみとも喜びとも結合しない享受の楽しみは、空しい同一感情の分断された反復にしか過ぎない」。藤田の議論が教えてくれるのは、幸福とは、順調には運はない人生における不快や困苦に対する忍耐と克服の経験から生まれる「喜び」として享受されるものであるということだ。（7・8）

社会システムが複雑化し多様に変化していくなかで、幸福からの疎外という感情が人々の間に浸透するとともに、幸福への道筋を見透し難くなっていることも、満足感を指標とする擬似的な幸福論の流行を生む一因となつてい。幸福への道筋を見出せないがゆえに、人々は幸福を偶然的なめぐりあわせとしか意識できず、その小さな「幸運」にめぐりあつたとき、「ハッピー」「ラッキー」と口走る。しかし、「めぐりあわせ」とは元来、「運」だけではなく他者とともにあることを意味してもらいた。たとえば、民俗学者の柳田國男は「めぐりあわせ」の喪失を、災害や不幸や貧困に共同で対処する「共同防貧」のしくみの喪失に重ねて、「孤立貧」と名づけている。つまり、「めぐりあわせ」という語には、他人が不幸でいるあいだはわたしは幸福であつてはならないという感覚が息づいてもいるのである。幸福とは、寺山修司も言うように、他者とともに享受されるものもあるのだ。（9・10）

### III 内実の伴つた幸福論であるために必要なこと（11）

いくら正しい徳目であつても、人間の影の部分とあわせて語らなければ、きれい事で終わり、人にはその眞実の意義を伝えることはできない。それと同様に、幸福が不幸からの移行としてある（＝「不幸」という雲間から見える「幸福」という青空）以上、人生につきまとう様々な困苦から目をそらして語られる幸福論は、内実を欠いた空虚なものとならざるをえない。（11）

### 本来の幸福

・人生の様々な困苦に対する忍耐と克服の経験から生まれる「喜び」として他者とともに享受されるもの

### III

福論

・人生につきまとう様々な困苦（「不幸」）から目をそらして語られる幸  
福論

←  
内実を欠いた空虚なものにならざるをえない

## 【本文要旨】

本文は、幸福とは何かを問い合わせながら、内実の伴った幸福論のあり方について考察しようとした文章である。以下、十一の形式段落からなる本文を便宜的に三つの部分に分け、それぞれの内容を確認していく。なお、形式段落は①～⑪で表記することとする。

### I 幸福を定義することの難しさ（①～⑤）

二十世紀を迎えた頃から、国民の満足感によって測られる「国民総幸福度」が、国の状況や発展のありさまを示す指標として広く知れ渡るようになり、幸福に関わる実証研究まで登場するようになった。（①）しかし、いざ幸福とは何かを定義しようとする段になると、ことはそれほど容易ではない。そもそも、何を満足とするかについて、意見の一一致を見ることがないという事情がある。また、ギリシアの哲人アリストテレスが言つように、幸福それ自体が人生の究極目的であり、他のもののための手段とはなりえない「自足した善」であるとしても、そうした幸福を個人の主観的な満足感や「安樂」という個人的な充足感だと単純に定義するわけにはいかない。（②～④）というのも、幸福は誰しもがそれを望みながら、幸福を手に入れたときはそれを幸福として意識することが難しく、また、たとえ幸福を感じたとしてもその感覚は長続きせず、さらにまた、幸福感につながる満足は思い違いからも生じる、といったように幸福そのものを捉えようとしても一筋縄ではいかないからである。このように見てくると、幸福をその内容において規定することは困難であると言うほかはない。（⑤）

### II 「擬似的な幸福論」の流行と「本来の幸福」のありよう（⑥～⑩）

二十世紀末になって、国際社会が環境危機や地域社会の崩壊、格差の拡大などの問題に直面するなかで、「経済成長」が幸福の条件であるという神话への懷疑が生じ、「国民総幸福度」や幸福に関わる実証研究といった擬似的な幸福論の隆盛をみるとよくなつた。では、こうした擬似的な幸福論が流行する理由は何だろうか。（⑥）

思想史家の藤田省三は、こうした擬似的な幸福論を「安樂」への全体主

## 読解のポイント・チェック

A 幸福を内容から規定することが難しい理由を読み取れたか。

B 満足度を指標とするような幸福論が流行している背景にある事を読み取れたか。

C 本来の幸福や幸福論のありようが読み取れたか。

## 【本文の見取図】

I

- ・幸福に結びつく満足のありようは、人によって異なる
- ・幸福の状態にあるとき、それを幸福として意識（対象化）するのが難しい
- ・幸福感は長続きしない一過性のものである
- ・幸福感につながる満足は思い違いからも生じる

幸福を内容から規定するのは困難

II

- ・人々が不快のない状態としての「安樂」を追い求める
- ・社会システムが複雑化するなかで、幸福への道筋を見透し難くなつている

擬似的な幸福論の流行

↔

## 二 現代文

### 【解答】

- 問一 a ウ b ア c エ  
問二 A オ B ウ C エ D キ E ア  
問三 ウ  
問四 幸福とは本来、人生の様々な困苦に対する忍耐と克服の経験から生まれる喜びとして他者とともに享受されるものであり、そのことへの自覚がなければ、幸福についての議論は空虚なものにならざるをえないということ。(99字)  
問五 イ・ウ(順不同)

### 【配点】(五十点)

問一 2点×3 問二 2点×5 問三 8点

問四 16点 問五 5点×2

### 【出典】

本文は、鷺田清一「幸福論の幸不不幸」の一節である。なお、問題作成の都合上、途中に一部省略した箇所がある。

### 【本文要約】

社会のシステムの複雑化や多様化にともない、幸福への道筋が見透しがたくなりつつあるなかで、人々が目先の安樂さを追い求め、満足感を幸福の指標とするような幸福論の隆盛を見るようになつたが、幸福とは本来その内容の安易な定義を許さないもので、人生の様々な困苦に対する忍耐と克服の経験から生まれる喜びとして他者とともに享受されるものであり、その自覚がなければ、幸福についての議論は空虚なものにならざるをえない。(200字)

### 【重要語句】

- ・人口に膾炙する……『膾（なます）と炙（あぶりにく）』とが、だれの口にもおいしく感じられるように』人々の話題に上つてもはやされ、広く知れ渡る。
- ・禍福は糾える縄の如し……この世の幸福と不幸は、より合わせた縄のようになに変転するということ。
- ・未曾有……今までに一度もなかったこと。また、非常に珍しいこと。
- ・逆説……一般的な見解に反しているようにみえて、一面の真理を表していれる考え方や表現。「急がば回れ」「負けるが勝ち」など。パラドックス。
- ・紆余曲折……物事が順調に運ばないで、こみいつた経過をたどること。
- ・エーツス……特定の社会集団・民族などを特徴づける気風・慣習・習俗。
- また、人間が行為の反復によって獲得する持続的な性格・習性。

り返しに過ぎないので省略できる。また、gの「可能な行為」という表現は、単に個々の可能な行為ばかりか、人々の制度への可能な関与や制度の多元化も含意する。

これらのポイントを制限字数に留意してまとめよう。

#### 問六 本文の内容に合致するものを選択肢の中から選ぶ問題

##### ポイント

内容合致の問題は、一つ一つの選択肢の意味を正確に理解し、本文と照らし合わせて吟味しよう。

選択肢を順に本文と比較対照させていこう。

アは、①の後半「行政は、建前の上では法を適用しているに過ぎない。つまり、行政は決められたことを肅々と実行する執行機関に過ぎないと見なされている」という内容を踏まえたものだが、「たとえ間違った法であっても」という条件は本文中からは読み取れない。したがつて間違いである。

イは、⑩の「社会というものは、多くの場合、法によって人々の行為を制限することで初めて成り立つと考えられてきた。人々は放つておくと何をしでかすか分からぬから、法によって縛り付けておかねばならない」というわけである。自然状態を戦争状態として考えたトマス・ホーブズの社会契約論がその典型である」という内容を踏まえたものである。したがつて、これが一つ目の正解である。なお、選択肢の中の「野蛮状態」という表現は「戦争状態」「放つておくと何をしでかすか分からぬ」を言い換えたものである。

ウの前半「所有制度に違反するものとして事後的に窃盗の罪が生まれた」は、⑫の「所有制度が作られたから盗みが起こることになり、それを禁止する法が必要になる」という表現に対応する。しかし、後半の「窃盗の撲滅のために所有制度を廃止すべきである」とまでは本文で述

べられていない。

エについて。⑧から「サン・ジュスト」が「フランス革命時の政治家」であることがわかる。また⑯の「サン・ジュスト」の議論から「市民制度」が「二つか三つか」ないことも言える。しかし「革命政府が專制的であると断じている」という内容は「サン・ジュスト」の議論からは確定できない。彼は「制度は君主制下では少なく、絶対專制下ではなお少ない。專制はたった一つの權力に牛耳られている」(⑯)と述べているだけで、「革命政府」が「專制」的だとは断定してはいない。したがつて間違い。

オは、後半の「民衆は行政に関わることができず」にいることの理由に前半の「近代民主主義において、選挙によって選ばれた代議士が政治を支配する」ことが挙げられているが、民衆が行政に関われない本当の理由は、㉚に「主権とは立法権であるという建前があるために、主権者たる民衆は行政による決定のプロセスから排除されている」とある通り、「主権とは立法権である」という建前があるためである。したがつて、この選択肢も間違い。

カは、⑯・⑰の「議会制は、すべての政治案件を議会に集約して処理することを目指す体制である。つまり、議会制は政治を二元的に処理することを理想としている。この理想は強固なものだ。……議会制を巡る議論(=政治改革)までもが、議会制の理想と同じく一元論的な発想になってしまふ理由は、おそらくここにある」という内容をまとめたものである。したがつて、これが二つの正解である。

問五

傍線部の内容を説明する記述問題

ポイント

傍線部に関する記述問題は、傍線部に関わる文脈と設問の要求を正しく理解し、それに対応する内容を過不足なく書く必要がある。自分の解答は必ず読み直して論理的でわかりやすい文章になるよう推敲しよう。

この設問では〈制度の増加による自由の拡大〉に関して、筆者の考えが問われているので、まず制度と自由の関係を考えることが重要である。加えて、設問の条件に「[法]と[制度]との違いに触れつつ」とあるため、「法」と「制度」の内容を本文で比較することも必要となる。

まず、「法」と「制度」の比較内容を本文から読み取ろう。

「法とは行為の制限である。……それに対し、制度とは行為のモデルである。」(9)

「社会」というものは、……、法によって人々の行為を制限することでも成り立つと考えられてきた。……この場合、社会の起源には、人々を縛り付け、行為を制約する法が見出されることになる。」(10)  
「それに対しドゥルーズは……複数の制度が組み合わさって構成されているのが社会だと考へた。……制度とは創意工夫によつてもたらされる手段のことであり……」(11)

「このように考へる時、法は社会の起源に見出されるものではなく、制度の後に来るものと考へられることになる。」(12)  
このうち、[9]、[11]、[12]の内容はドゥルーズの考へに基いたものであり、[10]はホップズの社会契約論に表れた考へ方であるが、[8]にあるように、筆者はドゥルーズの考へを「参考になる考へ方」として取りあげている。したがつて、[10]の内容と[12]の内容が矛盾しているように見えるが、筆者が[12]の内容の方を肯定していることは明らかである。

ここまで的内容を整理すると、

〈制度〉

- a 制度は社会を根源的に支える (11・12)  
b 制度は創意工夫によって生み出される (11)  
c 制度は人々の行為のモデルである (9)

⇒

〈法〉

- a 法はそうした制度を前提とする (12)  
e 法は人々の行為を制限する (9)

ということになる。

次に〈制度の増加が自由を拡大する〉ことについて、本文を確認する

と、

「法は行為の制限であるから、法が多ければ多いほど国家は専制的になる。それに対し、制度は行為のモデルであるから、制度が多ければ多いほど、国家は自由になる。制度があつて初めて可能になる行為の数がどんどん増えるからである」(13) とある。ここから

〈制度の増加〉

- c 制度は人々の行為のモデルである  
f そうした制度が多ければ多いほど  
⇒

〈自由の拡大〉

- g 人々の可能な行為も増大するから  
h 人々の生き方は自由となる

というポイントを導くことができる。なお、fやhは傍線部の表現の練

権の行使は立法権に部分的に関わること、すなわち選挙によって代議士を議会に送り出すことにはほぼ限定されている。……なぜそのような政治体制が『民主主義』と言われるのかと言えば、立法こそが主権を行使する場であると定義されているからである。／……行政は執行機関に過ぎないという前提があるため、主権者たる民衆はそこにアクセスできない。』

まとめると、

- a 主権は立法権にある
- b 主権者である民衆は行政に関与できない
- c 主権者は民衆である
- d 民衆は立法への関与が選挙という形で部分的になる

ということになる。**a・b**のポイントは重複するが、**c・d**のポイントは「近代民主主義理論」だけに関わるものである。したがって、傍線部の直前にあるからといって、「近代民主主義理論」にのみ当てはまる**c・d**の要素は解答に入れないとよい。つまり「民衆」「選挙」「立法に部分的に関与する」といった解答に不要な要素を書かないことが大事である。

#### 問四 傍線部についての内容説明を選択肢の中から選ぶ問題

「ポイント」傍線部に関する選択肢問題は、傍線部の前後の文脈と設問の要求を正しく理解し、加えて設問の条件を踏まえつつ、選択肢を丁寧に吟味しよう。

この設問では、「…こでいう『問題』」が「議会制」に関する問題であること、および「間違っているもの」を選ぶことの二点に注意する。

では、選択肢を確認していく前に、〈議会制に関する問題〉が指摘されている箇所を確認しておこう。

「近代の議会制民主主義については、一九世紀以来、多くの疑問が投げかけられてきた。**a**議会は一部の支配階層が牛耳っている（＝支配している）。**b**多数派の意見しか通らない。**c**民意を反映していない。**d**議会なのに少しも議論などしていない……。今も議会に対する批判は繰り返されている。確かに議会には問題がある。」（5）

「**c**民意がよりよく反映されるためにはどのような議会であるべきか、多くの人が真剣に考えてきた。」（16）

これらの**a～d**のポイントを踏まえて、選択肢を見ていくと、アは**a**や**c**を踏まえたものである。イは**b**を踏まえ、ウは**c**を踏まえ、オは**d**を踏まえている。

では、エはどうだろうか。確かに「議会が一元的に運営されている」点に関しては**a**を踏まえている。しかし、そのことに「象徴されているように、実際の政治は多元的に行われていない」という箇所がおかしい。「象徴」するとは「具体的なもので一般的・抽象的なものを示す」ことだから、〈議会の一元的運営〉という具体例が〈実際の政治の一元的運営〉という一般的なことを示すことになる。とすれば「実際の政治」とは議会に限らず、行政や司法を含む〈政治一般〉のことを意味する。ところが20に「実際の政治は一元的に決定されているわけではない。議会だけが決定を下すなどというのは嘘であって、役所や官庁や警察など、議会以外の様々な機関で政治や社会に関わる決定が下されている。つまり実際には多元的に決定されている」とあることから〈実際の政治は多元的である〉ということが読み取れる。さらに付言すれば、この設問はそもそも〈議会制に関する問題〉を問うてているのだから、この選択肢のように議会制を超えて「実際の政治」の問題を論じていること自体も間違いの理由となる。したがって、エが正解となる。

る。これを整理すると、

① 主権は立法権だという建前がある

② そのため、主権者たる民衆は立法ではない行政に関われない

③ 民衆が行政の決定に関与できる制度を作ればよい

④ 近代の政治理論の誤りを正せる

⑤ そうであれば、議会を根本的に変える（＝革命）は必要ない

ということになる。こうした文脈と本文論旨を踏まえつつ選択肢を確認していこう。

アの「立法権を弱め」るという内容は、本文論旨や行政に関与できる制度を創出しようという、①～⑤の文脈とは無関係である。イの「行政改革をしてはいけない」も、③の行政に関与できる制度の創出とは矛盾する。

ウの「制度を足していくべき」は、③の繰り返しであり、文脈との不整合はない。もちろん、筆者の主張とも合致している。

エの「自然の流れに従」うは、③の制度を作るという人々の主体的な嘗みと矛盾する。

オの「立法と行政を均衡させ」るという内容も、本文の内容や①～⑤の文脈とは無関係である。

以上の検討より、ウが正解となる。

### 問三 傍線部の内容を説明する記述問題

#### ・ポイント

傍線部に関する記述問題は、傍線部に関わる文脈と設問の要求を正しく理解し、それに対応する内容を過不足なく書く必要がある。解答は読み直して論理的でわかりやすい文章になるよう推敲しよう。

この設問で注意すべきことは二つ。一つは、傍線部を含む一文「では、この近代政治理論の欠陥に端を発する近代民主主義理論の欠陥を

う正していけばよいだろうか？」に、「近代政治理論の欠陥」とよく似た表現「近代民主主義理論の欠陥」があるため、両者を混同しないことである。もう一つは「四十字以内」と字数が限られていることである。

まず、「近代政治理論の欠陥」と「近代民主主義理論の欠陥」という表現の違いに注目しつつ、本文を確認すると、①が「近代政治理論」に関する説明であり、②・③が「近代民主主義理論」に関する説明だとわかる。無論、この二つの理論は傍線部を含む一文の「近代政治理論の欠陥」に端を発する（＝始まる）「近代民主主義理論の欠陥」という表現から理解できるとおり、重複する内容を持つが、やはり別物である。そうした違いを意識しつつ、それぞれの説明箇所から「近代政治理論の欠陥」を的確に読み取ろう。

#### 〈近代政治理論の欠陥〉（1）

「近代の政治理論は主権という概念を作り出すとともに、これを立法権として定義した。ところが、法の制定（＝立法）と法の適用の間には大きなギャップがある。……それ故、法の適用、すなわち行政に携わる行為者が実際の統治を率先して進めるという事態が発生した。しかも行政は、建前の上では法を適用しているに過ぎない。……この建前がある以上、主権を担う者がわざわざそこに首を突っ込む（＝関与する）必要はないことになる。」

これを整理すると、次のようになる。

- a 主権は立法権にある以上、
- b 主権者は立法ではない行政には関与できない

したがって、a・bの内容を制限字数内にまとめればよい。ちなみに、〈近代民主主義の欠陥〉の方も見ておくと、

「近代の民主主義の場合、主権の担い手……は民衆であるが、その主

#### 〈近代民主主義の欠陥〉（2・3）



複数の制度で構成されていると考えた。たとえば人々の私有に対する欲求を満足させるために所有制度が、労働を有効活用するために分業の制度が作られた。制度は時々の人々のニーズに従つて創造される。とすれば、ホップズとは異なり、法は社会の起源ではなく、制度の成立後に出現することになる。(8)～(12)

ドルーズはこの議論を国家の政治制度にも拡張する。行為の制限である法が多いほど国家は専制的であり、それに対し、行為のモデルである制度が多いほど国家は自由になる。制度があつて初めて可能になる行為の数がどんどん増えるからである。サン・ジュストも「この力（＝専制の力）を弱めるためには、制度を増やしてゆくしか道はない」と言う。ここからドルーズは、専制とは、多くの法とわずかな制度をもつ政体であり、民主主義とは、多くの制度とごくわずかの法をもつ政体であるとする。(13)～(15)

### III 民衆が関わる政治制度の多元化と自由 (16)～(22)

ドルーズの制度論から議会制民主主義を見直すと、制度の一つに過ぎない議会の改善よりも、制度を増やすべきだという考え方が可能になる。それなのに、なぜ議会制民主主義の改善をめざす議論は、議会の改善にしか向かわないのか。その理由は、すべての政治案件を議会に集約して一元的に処理することを理想とする議会制民主主義の考え方にある。しかし、実際には、役所や警察などの機関でも政治や社会に関わる決定が下されている。つまり現実の政治は多元的に決定されている。ならば、主権者である民衆が関わる政治制度も多元化すべきであろう。議会の改善も必要だが、それ以外の政治制度ももつと追加すればいい。「制度が多ければ多いほど、人は自由になつていく」のだから。(16)～(21)

主権とは立法権だという建前によつて、主権者たる民衆は行政から排除されている。ならば、立法府だけでなく、行政府にも主権者が関わる制度を作ればいい。制度を足していくことを通じて、私たちは、今よりずっと自由になれるのだ。(22)



#### ドルーズ

- ・制度は社会の源泉である
- ・制度は創意工夫によって作られる
- ・制度は行為のモデルを提供する
- ・制度は人々の可能な行為を増やす（＝自由にする）
- ・法は成立した制度を前提に作られる
- ・法は人々の行為を制限する（＝不自由にする）

#### III

##### 近代民主主義の改良

- ・立法（議会制）の以下の問題点を改善する
  - ×民意が立法に反映しにくい
  - ×一部の議員によって議会が支配されている
  - ×議会の多数派の意見が通りやすい
  - ×議会なのに議論をしない
- ⇒
  - ・政治制度を多元化する
  - 行為のモデルである制度を増やす
  - 民衆の行政への参加を増やす

## 【本文要旨】

本文は、ドゥルーズの制度と法の分析を参考しながら、近代政治理論の欠陥に端を発する近代民主主義の欠陥を、民衆が関わる政治制度の多元化によって解消することを提案した文章である。本文を三つに分けて、その内容を確認していく。なお 形式段落は①～②で表記することとする。

### I 近代政治理論と近代民主主義の欠陥

〔①～⑦〕

近代政治理論は主権（＝國家を統治する権利）を立法権（＝法を制定する権利）として定義した。しかし、法の制定とその適用には落差があり、法の制定（＝立法）だけでは法の適用（＝行政）を制御できないため、行政に携わる人が実質的に統治するという事態が発生した。しかも行政は法の適用の場でしかないという建前のため、主権者は行政に関われないという欠陥が生じた。〔①〕

近代民主主義の場合、主権は立法権だとする近代政治理論から民衆が主権者と見なされるが、立法には議員を選ぶという部分的な関わりしか持てず、行政は法の執行機関でしかない（立法機関ではない）という前提のために、主権者たる民衆は行政にも関与できないという欠陥がある。〔②・③〕

この近代政治理論の欠陥に端を発する（＝始まる）民主主義理論の欠陥を正すに当たり、この課題に対処する発想自体を問い合わせてみよう。〔④〕

議会制民主主義は、一九世紀以来、議会は一部の支配階層が牛耳っている、多数派の意見しか通らない、民意を反映していないなどと議会制度に関わる問題が指摘されてきたが、それを根本から変えるのは難しい。だから「根本から変えなければダメだ」という主張は「あきらめ」か、「革命への待望」に至る。要するに、どちらも「何もしない」ということだ。つまり、議会の改善という発想には限界がある。では、どんな発想があるのか。〔⑤～⑦〕

### II ドゥルーズによる法と制度の分析

〔⑧～⑯〕

哲学者ドゥルーズは、盗むなどと命じる法は行為を制限するが、結婚などの社会制度は行為のモデルとなると言う。社会は法による行為の制限で初めて成立するという考えが存在する。自然状態を戦争（＝無秩序）状態と考えたホップズの社会契約論がその典型だ。それに対しドゥルーズは、社会は

## 読解のポイント・チェック

- A 近代政治理論と近代民主主義の欠陥が読み取れたか。  
B ドゥルーズによる法と制度の分析が読み取れたか。  
C 民衆の関わる政治制度の多元化と自由の関係が読み取れたか。

## 【本文の見取り図】

I

近代政治理論の欠陥

- ・ 主権は立法権にある
- × 主権者は、立法ではない行政には関与できない

←

近代民主主義の欠陥

- ・ 主権は立法権にある
- ・ 主権者は民衆である
- × 民衆の立法への関与は、選挙という形で部分的になされるのみとなる
- × しかも民衆は、行政に関与できない

II

ホップズ

- ・ 法は社会の源泉である
- ・ 無秩序な自然状態（野蛮状態）

←  
法による、人々の行為の制限

秩序のある社会状態

# 【国語】

## 【本文要約】

主権を立法権とした近代政治理論から、法の執行機関である行政に民衆が関われないという近代民主主義の欠陥が生じた。ゆえに、立法制度だけを改善しても欠陥は解消しない。制度を前提に行為を制限する法とは異なり、社会を根源的に支え、人々の行為のモデルとなる制度を増大させることによって自由な社会が成立するというドゥルーズの分析を踏まえ、民衆が関わる政治制度を多元化することで、民主主義の欠陥を解消すべきである。(200字)

## 二 現代文 【解答】

- |    |   |      |      |      |      |
|----|---|------|------|------|------|
| 問一 | a 携   | b 率先 | c 依拠 | d 真剣 | e 是正 |
| 問二 | X ア   | Y ウ  |      |      |      |
| 問三 | 立法権を主権とする概念を作ることで、主権者が行政の決定と無関係になったこと。(38字) |      |      |      |      |

- 問四 工

社会を根源的に支える制度は、創意工夫によつて生み出される人々の行為のモデルであり、そうした制度を前提として人々の行為を制限する法とは異なり、その数が多いほど人々の可能な行為を増やすものだから。(96字)

- 問六 イ・カ (順不同)

- 【配点】 (六十点)  
問一 2点×5 問二 4点×2 問三 8点 問四 6点  
問五 16点 問六 6点×2

## 【出典】

本文は、國分功一郎(こくぶん・こういちろう)『来るべき民主主義』(幻冬舎新書、二〇一三年刊)の一節である。なお、問題作成の都合上、途中に一部省略した箇所がある。

## 【重要語句】

- ・ 主権……国家の政治を最終的に決定する権利。
- ・ 概念……物事の概括的な意味内容や、それを示す言葉。
- ・ 社会契約論……社会・国家はそれを構成する個人相互間の、自由意志に基づく契約によつて成立するという理論。
- ・ 専制(政治)……個人や特定の集団が、絶対的権力をもつて恣意的に支配する政治形態。
- ・ 一元的……様々な事物が根源を一つにしていると見えるさま。(↑多元的)

**MEMO**

**MEMO**

# 自己採点シート

## 第1回 全統高2模試

### 自己採点シートの使い方

#### ①まずは自己採点

「学習の手引き」の【解答】に従って自己採点してみましょう。論述問題配点が大きい問題については【設問解説】を読んでおよその点数を予想してみましょう。

#### ②設問ごとにチェック

満点に対してどれだけ得点できたか、得点率を計算し、設問ごとに比較してみましょう。得点率が最も低い設問には、「特に克服・補強すべき分野」として、☆に色を塗りましょう。

#### ③何ができるなかつたのか確認しよう

②でチェックした設問を中心に何ができるなかつたのか確認し、具体的に何をどの程度のペースで学習していくのか、「今後の課題と学習プラン」を記入してみましょう。

#### ④成績返却時には統計集を確認しよう

個人成績表と同時に返却されるANTENNA(成績統計資料)には「見直しシート」が付いています。自分の結果と比較して、ANTENNA(成績統計資料)に載っている「学習対策」を使って復習するともに、次回へ向けて具体的な目標得点を見てみましょう。

総合計

教科・科目	設問ごとの得点						合計	今後の課題と学習プラン
	1	2	3	4	5	6		
英語	リスニング /20 (得点率) % ☆	発音・アクセント /8 (得点率) % ☆	文法・語法・熟語 /32 (得点率) % ☆	整字作文・和文英訳 /40 (得点率) % ☆	長文総合 /55 (得点率) % ☆	長文総合 /45 (得点率) % ☆	/200 (例) 基本的な文法・語法の知識を整理をする。	
数学	数学Ⅰ-A 小問集合 /30 (得点率) % ☆	場合の数 数学Ⅰ 三角比 /70 (得点率) % ☆	数学Ⅰ 2次関数 /50 (得点率) % ☆	数学Ⅱ 複素数と方程式、 式と証明 /50 (得点率) % ☆	数学A 整数の性質 /50 (得点率) % ☆	数学B 数列 /50 (得点率) % ☆	/200 (例) 不得意分野・不安な分野を集中的に学習する。	
国語	現代文一評論 /60 (得点率) % ☆	現代文一隨筆 /50 (得点率) % ☆	古文一軍記 /50 (得点率) % ☆	漢文一隨筆 /40 (得点率) % ☆			/200 (例) 思つたより漢字が書けなかったので、ドリルで練習する。	

※選択問題のある教科において、選択していない設問の欄は空白にしておきましょう。

# 学力アップ・志望校合格のための復習法

効率よく学力を伸ばすうえで、受験した模試を繰り返し復習することは非常に大切です。全統模試受験後には学習の手引き（解答・解説集）を読むだけでなく、下記のアイテムを積極的に活用して学力アップ・志望校合格につなげましょう。

## STEP 1 模試受験後

### 【学習の手引き】

解答・解説をしっかりと読み、自己採点シート（巻末掲載）で克服・補強すべき分野を明確にしましょう。

### 【英語問題音声】

出題された音声問題の音源をダウンロードできます。繰り返し聴くことで、確実な復習を行いましょう。詳細はホームページをご参照ください。

<http://www.keinet.ne.jp/onsei.html>

※Kei-Net会員の登録（無料）が必要です。

## STEP 2 成績資料返却後

### 【個人成績表】

現在の自分の学力状況を確認し、弱点分野については学習アドバイスを参考に今後の学習に活かしましょう。

### 【ANTENNA（生徒用成績統計資料）】

個人成績表の見方や各データの確認とあわせて、見直しシートや学習対策（教科科目別）も利用しましょう。

- ・見直しシート

今回の反省点とこれからの課題をチェックし、今後の対策を立てましょう。

- ・学習対策（教科科目別）

総評・設問別講評・学習アドバイスなどを読み、復習のポイントをつかみましょう。

## STEP 3 長期休み中

STEP 1・2に再度必ず取り組み、確実な学力向上につなげましょう。